

第3回みえ県民1万人アンケート
《集計結果 報告書》

令和7年4月

三重県政策企画部

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
3 調査の内容	1
4 回収結果	1
5 報告書の見方	2
6 回答者の属性	3

II 集計結果

1 生活の満足度	5
2 14分野別の満足度	9
3 県が注力している取組に関すること	41
3.1 災害について	42
3.2 ジェンダーギャップの解消について	48
3.3 人材確保について	50
3.4 共生社会について	52
3.5 観光について	54
3.6 デジタルの活用について	56
3.7 公共交通について	60
3.8 公共ライドシェアについて	64
4 結婚や子ども・子育てについて	67
4.1 結婚について	68
4.2 子ども・子育て支援について	72

III その他	83
---------	----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

県政の推進には、広く県民の皆さんのご意見をおききすることが重要です。本調査は、県民の声をお聴きする貴重な機会であり、令和4（2022）年度に策定した「強じんな美し国ビジョンみえ」や「みえ元気プラン」の内容をふまえ、県民の皆さんの「生活の満足度」などを把握し、県政運営の推進に活用していきます。

第3回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の18歳以上の者
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送、郵送・インターネットによる回収
- (6) 調査期間 令和6年12月～令和7年1月
- (7) 調査主体 三重県政策企画部企画課
- (8) 調査委託機関 株式会社東京商工リサーチ津支店

3. 調査の内容

下記の調査項目により構成しています。

- (1) 生活の満足度
- (2) 県が注力している取組に関すること
「防災」「結婚」「子ども・子育て支援」「ジェンダーギャップの解消」「人材確保」「共生社会」「観光」「デジタル」「公共交通」「公共ライドシェア」
- (3) 回答者の属性に関すること
- (4) 自由意見 (質問総数42(※自由意見は除く))

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 4,592人(回収率 45.9%)
- (3) 有効回答数 4,592人(有効回答率 45.9%(郵送回答 64.5%、Web 回答 35.5%))
- (4) 無効回答数 0人

図表 1-4-1 有効回答率

	調査時期	有効回答率
第3回(今回)	令和6年12月～令和7年1月	45.9%
第2回(前回)	令和5年12月～令和6年1月	45.8%
第1回	令和5年1月～2月	47.4%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

調査地域	市町	標本数	有効 回答数	有効回答 率 (%)	構成比 (%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曽岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,689	2,148	45.8	46.8
伊賀地域	名張市、伊賀市	914	438	47.9	9.5
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,693	1,240	46.0	27.0
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,324	557	42.0	12.1
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	380	209	55.0	4.6
合 計		10,000	4,592	45.9	100.0

5. 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数(=有効回答数)を表しています。
- (2) 割合は全て百分率で表し、小数第二位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の割合は、サンプル数(n)に占める各回答数の割合となっており、各回答の割合の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現は、紙幅の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) 紙幅の都合上、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られないものや他調査から大きな変化が見られないものについては、記述を省略しています。
- (7) サンプル数(n)が50未満の属性項目、世帯構成の「その他」、世帯の年間収入の「わからない」等の属性項目については、記述を省略している場合があります。

6. 回答者の属性

- (1) 集計する際の基本的な属性は、性別、年齢、配偶関係、世帯類型、主な職業、共働き、世帯収入、地域の8つとしています。
- (2) 回答者属性の構成比について、第2回みえ県民1万人アンケート（以下、前回調査）との差における主な特徴は次のとおりです。
- ・性別では、「女性」の割合が前回調査より高くなっています。
 - ・年齢別では、「18歳から20歳代」、「30歳代」の割合が前回調査より高く、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」、「70歳以上」の割合が低くなっています。
 - ・配偶関係別では、「未婚」の割合が前回調査より高く、「有配偶」、「死別・離別」の割合が低くなっています。
 - ・世帯類型別では、「単身世帯」、「一世代世帯」の割合が前回調査より高く、「二世帯世帯」、「三世帯世帯」、「その他世帯」の割合が低くなっています。
 - ・主な職業別では、「パート・バイト・派遣」、「その他の職業」、「学生」、「無職」の割合が前回調査より高くなっています。
 - ・世帯収入別では、「～300万円未満」、「～400万円未満」、「～500万円未満」、「～800万円未満」の割合が前回調査より高くなっています。
 - ・地域別では、「北勢地域」、「伊勢志摩地域」、「東紀州地域」の割合が前回調査より高く、「伊賀地域」の割合が低くなっています。

図表 1-6-1 回答者の属性（地域を除く）

属性	属性項目	件数	構成比（％）		(前回差)
			今回	前回	
性別	男性	2,030	44.2	45.7	△ 1.5
	女性	2,496	54.4	52.9	1.5
	その他	14	0.3	0.3	△ 0.0
	不明	52	1.1	1.1	△ 0.0
年齢	18歳から20歳代	357	7.8	6.6	1.2
	30歳代	500	10.9	9.5	1.4
	40歳代	728	15.9	16.5	△ 0.6
	50歳代	899	19.6	20.4	△ 0.8
	60歳代	1,021	22.2	22.5	△ 0.3
	70歳以上	997	21.7	22.5	△ 0.8
	不明	90	2.0	1.9	0.1
配偶関係	未婚	761	16.6	14.7	1.9
	有配偶	3,298	71.8	74.2	△ 2.4
	死別・離別	427	9.3	9.5	△ 0.2
	不明	106	2.3	1.5	0.8
世帯類型	単身世帯	381	8.3	8.0	0.3
	一世代世帯	1,556	33.9	33.0	0.9
	二世帯世帯	2,202	48.0	48.5	△ 0.5
	三世帯世帯	367	8.0	8.4	△ 0.4
	その他世帯	28	0.6	1.0	△ 0.4
	不明	58	1.3	1.2	0.1
主な職業	農林水産業	82	1.8	1.9	△ 0.1
	自営業・自由業	373	8.1	8.5	△ 0.4
	正規職員	1,531	33.3	33.4	△ 0.1
	パート・バイト・派遣	1,013	22.1	20.8	1.3
	その他の職業	159	3.5	3.4	0.1
	学生	114	2.5	2.1	0.4
	専業主婦・主夫	464	10.1	11.4	△ 1.3
	無職	802	17.5	17.2	0.3
	不明	54	1.2	1.4	△ 0.2
共働き	している	1,963	42.7	41.5	-
	していない	2,495	54.3	55.4	-
	不明	134	2.9	3.1	-
世帯収入	100万円未満	160	3.5	4.1	△ 0.6
	～200万円未満	386	8.4	9.0	△ 0.6
	～300万円未満	674	14.7	13.3	1.4
	～400万円未満	599	13.0	12.0	1.0
	～500万円未満	482	10.5	9.7	0.8
	～600万円未満	416	9.1	9.4	△ 0.3
	～800万円未満	631	13.7	13.2	0.5
	～1,000万円未満	378	8.2	8.9	△ 0.7
	1,000万円以上	406	8.8	9.2	△ 0.4
	わからない	403	8.8	9.5	△ 0.7
	不明	57	1.2	1.6	△ 0.4
有効回答数		4,592	100.0	100.0	

図表 1-6-2 回答者の属性（地域）

属性	地域	属性項目	件数	構成比（％）			（前回差）
				今回 （市町別）	今回 （地域別）	前回	
市町	北勢地域	桑名市	393	8.6	46.7	46.6	0.1
		いなべ市	139	3.0			
		四日市市	784	17.1			
		鈴鹿市	479	10.4			
		亀山市	115	2.5			
		木曽岬町	11	0.2			
		東員町	61	1.3			
		菰野町	110	2.4			
		朝日町	29	0.6			
		川越町	27	0.6			
	伊賀地域	伊賀市	226	4.9	9.5	10.2	△ 0.7
		名張市	212	4.6			
	中南勢地域	津市	713	15.5	27.0	27.0	0.0
		松阪市	404	8.8			
		多気町	44	1.0			
		明和町	55	1.2			
		大台町	24	0.5			
	伊勢志摩地域	伊勢市	285	6.2	12.2	12.1	0.1
		鳥羽市	36	0.8			
		志摩市	123	2.7			
		玉城町	36	0.8			
		度会町	23	0.5			
		大紀町	24	0.5			
		南伊勢町	30	0.7			
	東紀州地域	尾鷲市	44	1.0	4.5	3.8	0.7
		熊野市	43	0.9			
		紀北町	37	0.8			
御浜町		17	0.4				
紀宝町		34	0.7				
不明		34	0.7				
有効回答数			4,592	100.0	100.0	100.0	

Ⅱ 集計結果

1. 生活の満足度

Ⅱ 集計結果

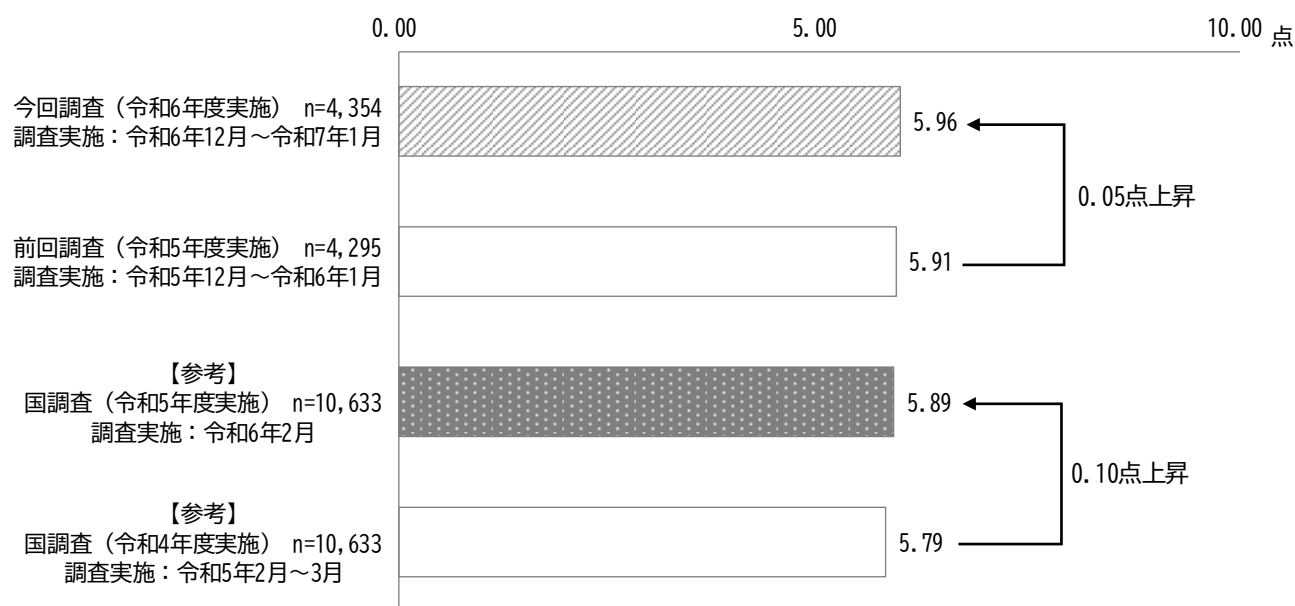
Ⅰ. 生活の満足度

問Ⅰ あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。
「非常に満足している」を 10 点、「全く満足していない」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。

➤ 生活の満足度

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10 点満点で質問したところ、平均値は 5.96 点で、前回調査より 0.05 点高くなっています。

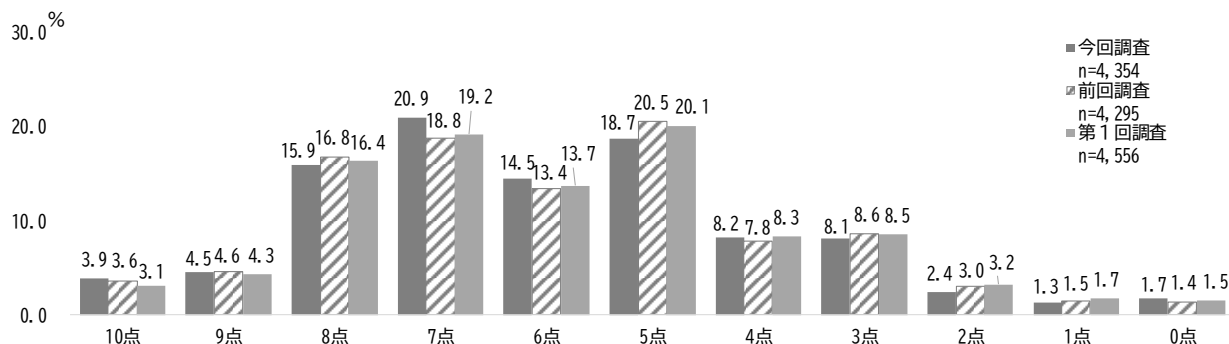
図表 2-1-1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、約 10,000 人へのインターネット調査（うち約 5,500 人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が20.9%と最も高く、次いで「5点」が18.7%、「8点」が15.9%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「7点」と「5点」の順位が入れ替わりました。

図表 2-1-2 生活の満足度の分布（過去調査との比較）

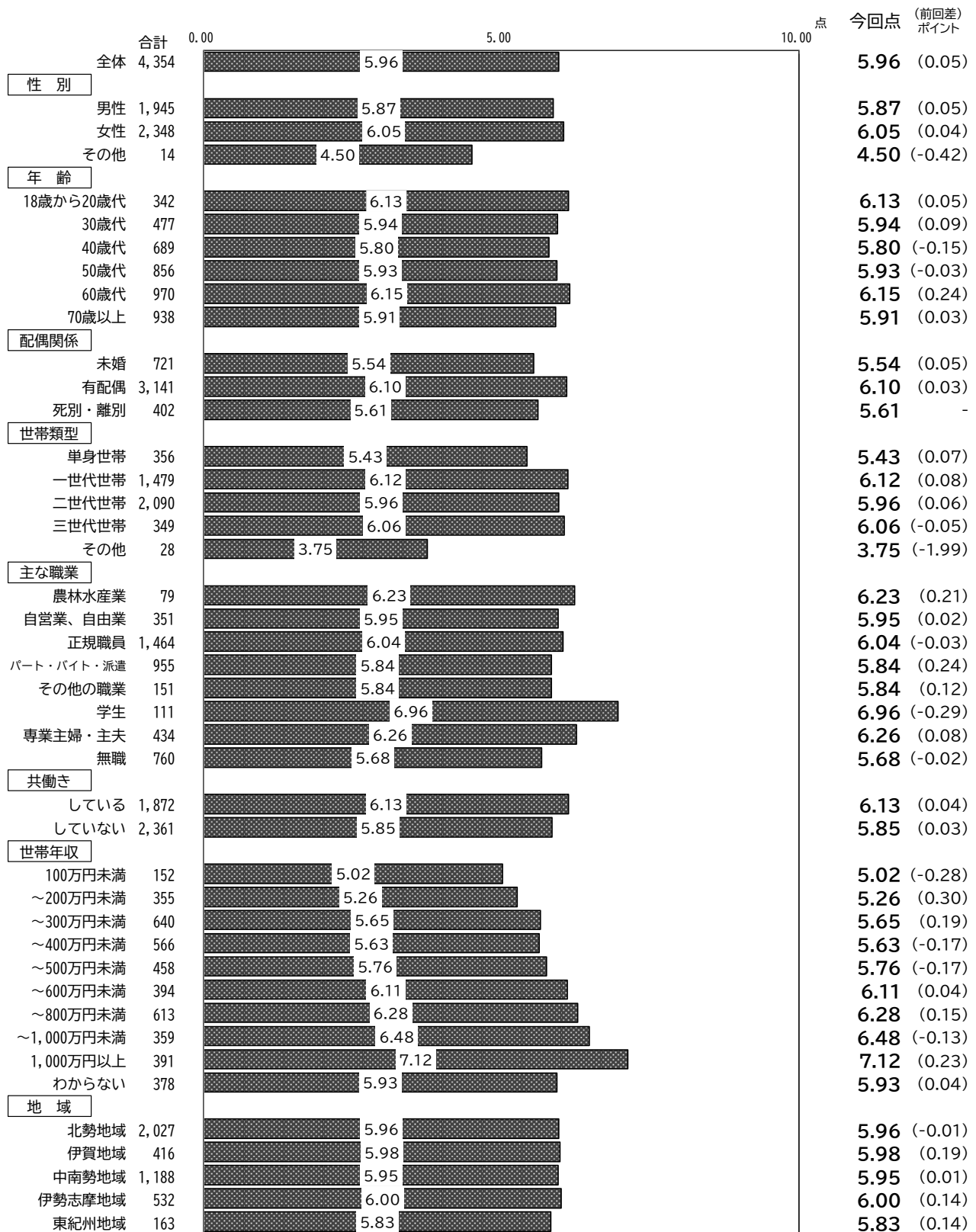


➤ 生活の満足度（属性別特徴）

- 性別で見ると、女性が6.05点で男性の5.87点より0.18点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.05点、女性は0.04点高くなっています。
- 年齢別で見ると、60歳代が6.15点で最も高く、次いで18歳から20歳代（6.13点）、30歳代（5.94点）の順となっています。前回調査と比較すると、60歳代では0.24点高く、40歳代では0.15点低くなっています。
- 配偶関係別で見ると、有配偶が6.10点で最も高く、次いで死別・離別（5.61点）、未婚（5.54点）の順となっています。前回調査と比較すると、未婚では0.05点、有配偶で0.03点高くなっています。
- 世帯類型別で見ると、一世代世帯が6.12点で最も高く、次いで三世代世帯（6.06点）、二世帯世帯（5.96点）の順となっています。前回調査と比較すると、三世代世帯では0.05点低くなっている一方で、単身世帯、一世代世帯、二世帯世帯では高くなっています。
- 主な職業別で見ると、学生が6.96点で最も高く、次いで専業主婦・主夫（6.26点）、農林水産業（6.23点）の順となっています。前回調査と比較すると学生で0.29点、正規職員で0.03点、無職で0.02点低くなっていますが、それ以外の全ての職業で高くなっています。
- 共働きで見ると、「している」が6.13点で、「していない」の5.85点より0.28点高くなっています。前回調査と比較すると、共働きをしている世帯で0.04点、共働きをしていない世帯で0.03点高くなっています。

- 世帯収入別で見ると、世帯収入 1,000 万円以上が 7.12 点で最も高く、次いで 800 万円以上～1,000 万円未満（6.48 点）、600 万円以上～800 万円未満（6.28 点）の順となっています。前回調査と比較すると、100 万円未満で 0.28 点、300 万円以上～400 万円未満、400 万円以上～500 万円未満で 0.17 点、800 万円以上～1,000 万円未満で 0.13 点低くなっていますが、それ以外の全ての世帯年収で高くなっています。
- 地域別で見ると、伊勢志摩地域が 6.00 点で最も高く、次いで伊賀地域（5.98 点）、北勢地域（5.96 点）の順となっています。前回調査と比較すると、北勢地域で 0.01 点低くなっていますが、それ以外の全ての地域で高くなっています。

図表 2-1-3 生活の満足度の平均値（属性別）



※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

Ⅱ 集計結果

2. 14 分野別の満足度

2. 14 分野別の満足度

「14 分野別の満足度」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる分野別の満足度を調べ、多角的に生活の満足度を把握します。

生活の幅広い範囲について包括的に評価できる総合的な主観満足度とは別に、生活に関連した 14 分野で設定した質問となっています。

14 分野	
①	家計と資産
②	あなた自身の給料や報酬・賃金
③	仕事のやりがいや生活とのバランス
④	健康状態
⑤	医療サービス
⑥	介護・福祉サービスの利用しやすさ
⑦	子育てのしやすさ
⑧	子どもの教育
⑨	交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
⑩	身のまわりの自然環境
⑪	自然災害への備え
⑫	交通安全・防犯など身のまわりの安全
⑬	文化・スポーツなどの趣味、生きがい
⑭	移動手段、交通の便利さ

問2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。

➤ 14 分野別の満足度（14 項目全体の集計結果）

【「満足している層」の割合】

- 14 分野別の満足度について、5 点満点で質問したところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が 34.8%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」（27.9%）、「⑤医療サービス」（23.9%）の順となっています。

○ 前回調査より改善された分野（「満足している層」の割合が上昇）

「①家計と資産」、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」、
「③仕事のやりがいや生活とのバランス」、「④健康状態」、「⑤医療サービス」、
「⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ」、「⑦子育てのしやすさ」、「⑧子どもの教育」、
「⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」、「⑩身のまわりの自然環境」、
「⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい」、「⑭移動手段、交通の便利さ」

○ 前回調査より悪化した分野（「満足している層」の割合が下降）

「⑪自然災害への備え」、「⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全」

【「満足していない層」の割合】

- 「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した「満足していない層」の割合は、「⑭移動手段、交通の便利さ」が 50.1%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」（41.2%）、「①家計と資産」（37.1%）の順となっています。

○ 前回調査より悪化した分野（「満足していない層」の割合が上昇）

「②あなた自身の給料や報酬・賃金」、「④健康状態」、「⑩身のまわりの自然環境」、
「⑪自然災害への備え」、「⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全」、
「⑭移動手段、交通の便利さ」

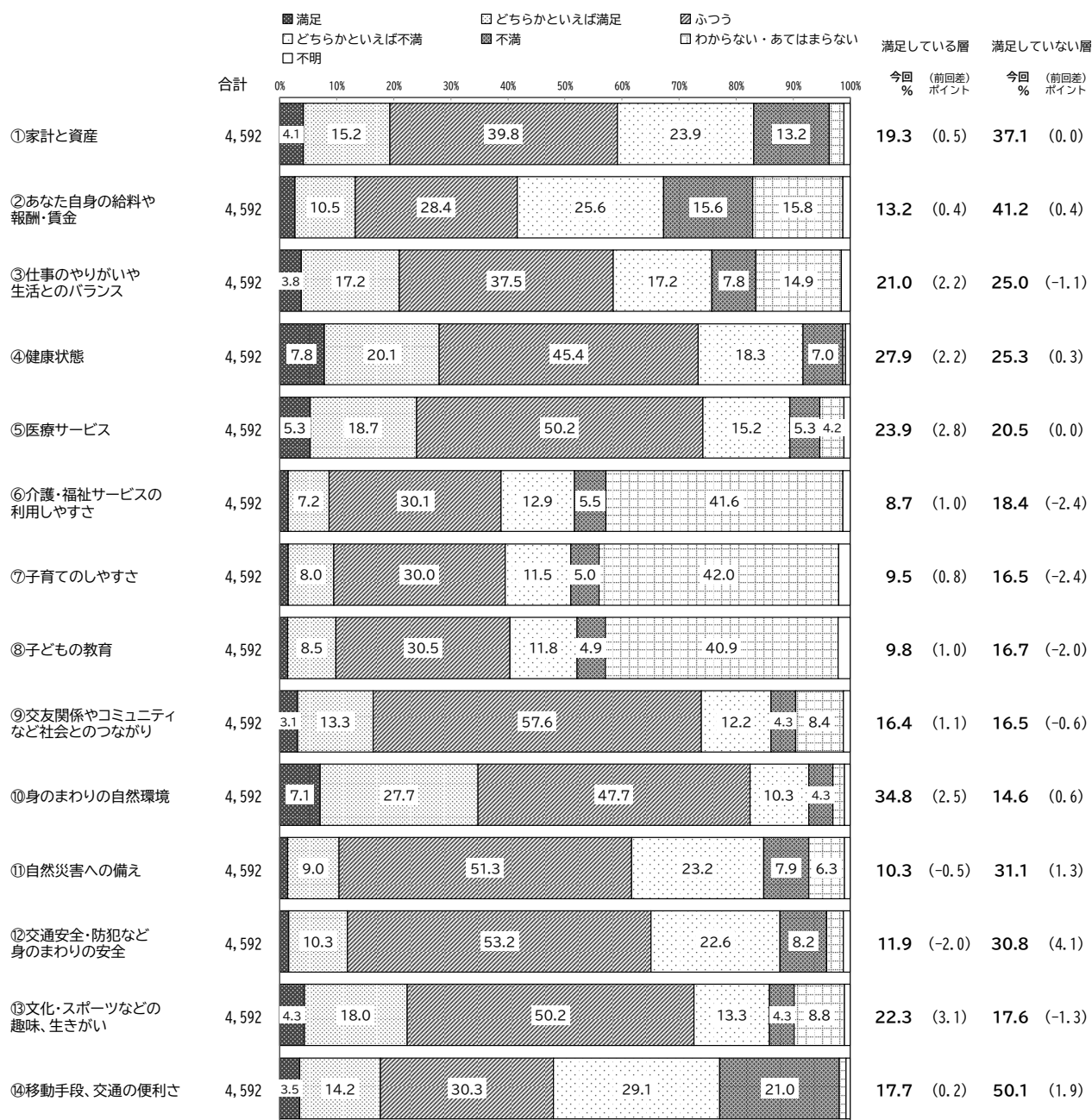
○ 前回調査と変化がなかった分野

「①家計と資産」、「⑤医療サービス」

○ 前回調査より改善された分野（「満足していない層」の割合が下降）

「③仕事のやりがいや生活とのバランス」、「⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ」、
「⑦子育てのしやすさ」、「⑧子どもの教育」、
「⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」、
「⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい」

図表 2-2-1 14 分野別の満足度（一覧）



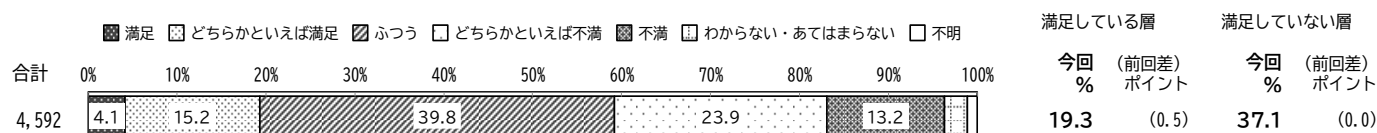
※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

➤ 14 分野別の満足度（項目ごとの集計結果）

○ 家計と資産の満足度について

- 「満足している層」の割合が19.3%で、「満足していない層」の割合（37.1%）より17.8ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.5ポイント高くなっていますが、「満足していない層」の割合は変化がありませんでした。

図表 2-2-2 家計と資産の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足している層」の割合が0.8ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、40歳代の「満足していない層」の割合（48.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると6.3ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（41.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.1ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯の「満足していない層」の割合（40.4%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると4.6ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（43.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、学生の「満足していない層」の割合が15.1ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が0.7ポイント高くなっています。

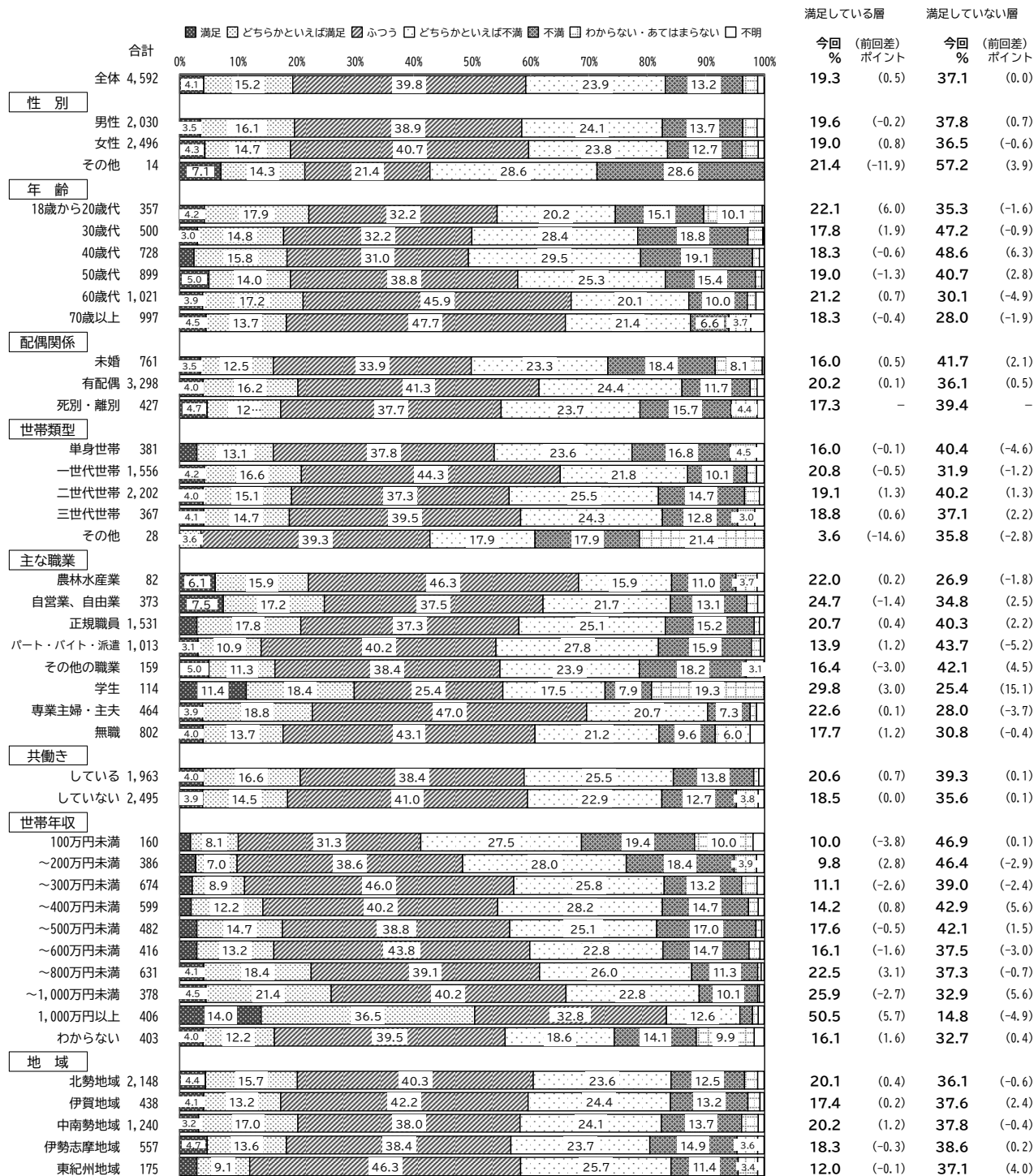
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円以上のみ「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、前回調査の割合と比較すると5.7ポイント高くなっています。

【地域別】

○ すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊勢志摩地域の「満足していない層」の割合（38.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると、東紀州地域の「満足していない層」の割合が4.0ポイント高くなっています。

図表 2-2-3 家計と資産の満足度（属性別）

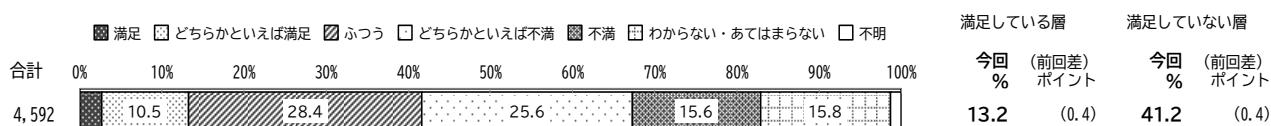


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度について

- 「満足している層」の割合が13.2%で、「満足していない層」の割合（41.2%）より28.0ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」、「満足していない層」の割合はともに0.4ポイント高くなっています。

表 2-2-4 あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が1.1ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合（50.4%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると4.1ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（52.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.5ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（44.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると、三世帯世帯の「満足している層」が3.7ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（53.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、学生の「満足していない層」の割合が7.0ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、共働きをしている世帯の「満足していない層」の割合（47.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.1ポイント高くなっています。

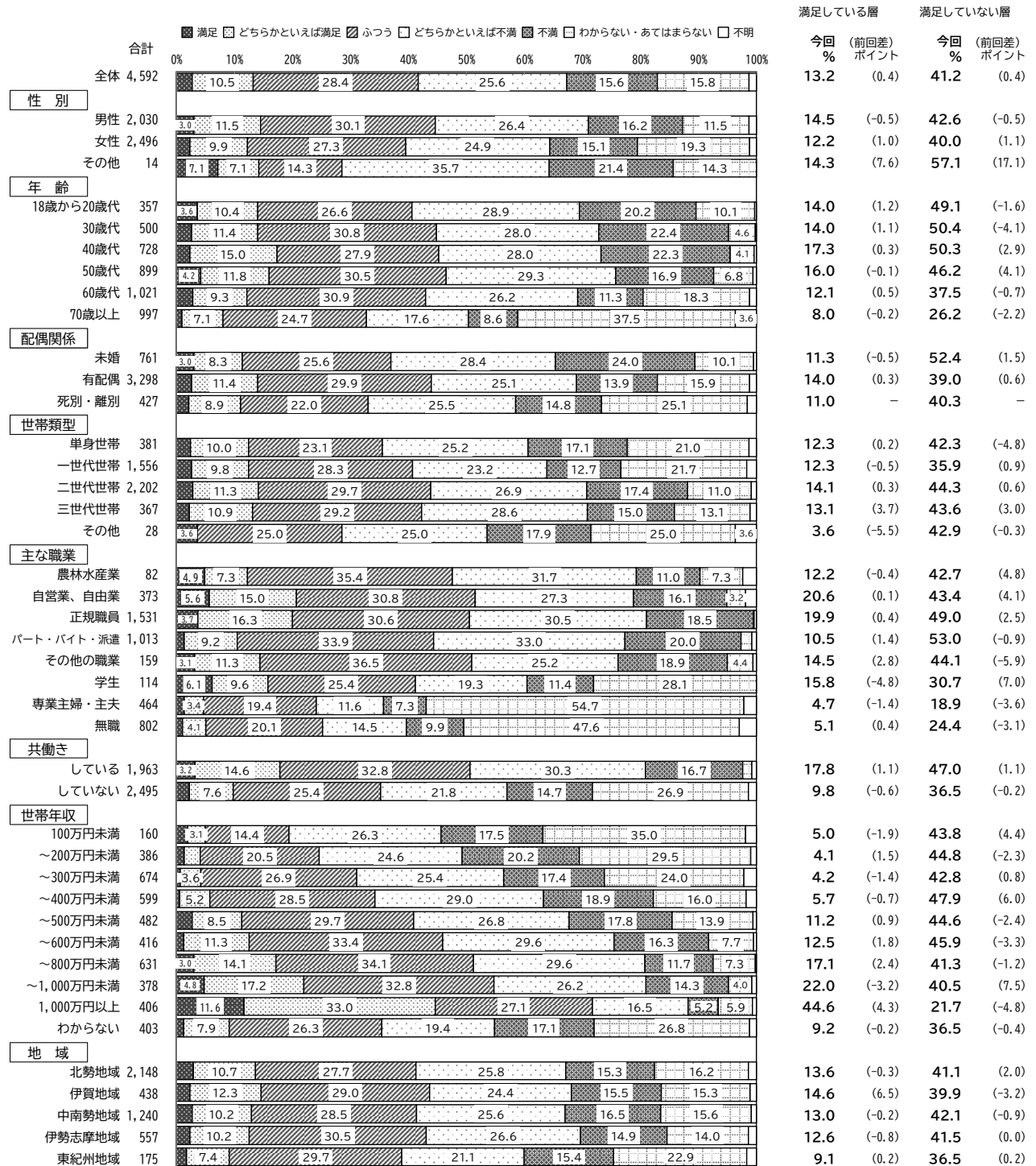
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円以上のみ「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、800万円以上1,000万円未満の「満足していない層」の割合が7.5ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、中南勢地域の「満足していない層」の割合（42.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると、伊賀地域の「満足している層」の割合が6.5ポイント高くなっています。

図表 2-2-5 あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度（属性別）

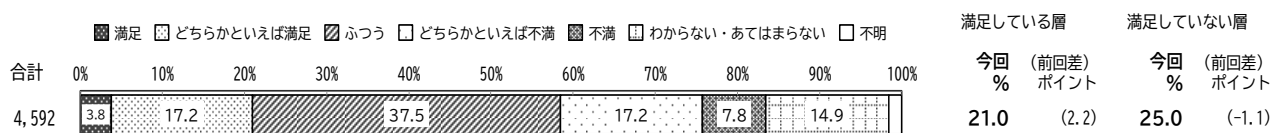


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度について

- 「満足している層」の割合が21.0%で、「満足していない層」の割合（25.0%）より4.0ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が2.2ポイント高く、「満足していない層」の割合が1.1ポイント低くなっています。

図表 2-2-6 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足している層」の割合が2.9ポイント高くなっています。

【年齢別】

- 60歳代未満の年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合（37.0%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると6.2ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（35.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足している層」の割合が2.8ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- 一世代世帯を除くすべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世代世帯の「満足していない層」の割合（28.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、三世代世帯の「満足している層」の割合が3.9ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業、自営業、自由業以外で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合（36.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、学生の「満足していない層」の割合が7.6ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が2.5ポイント高くなっています。

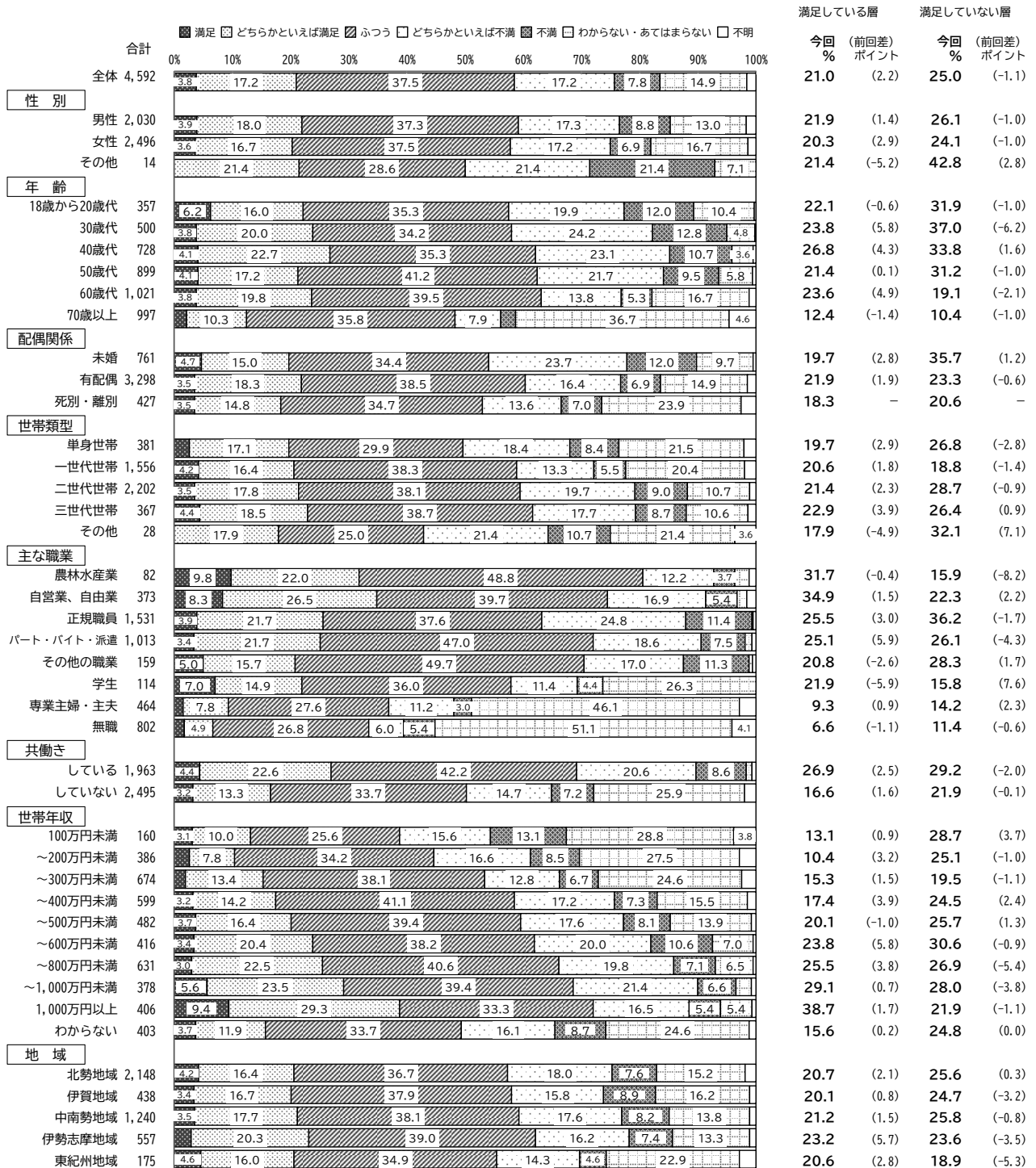
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が800万円以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、500万円以上600万円未満の「満足している層」の割合が5.8ポイント高くなっています。

【地域別】

- 東紀州地域を除くすべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、中南勢地域の「満足していない層」の割合（25.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、伊勢志摩地域の「満足している層」の割合が5.7ポイント高くなっています。

図表 2-2-7 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度（属性別）

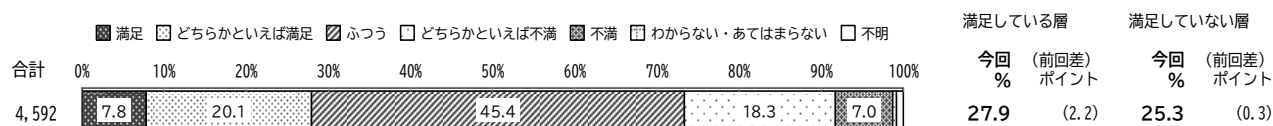


※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 健康状態の満足度について

- 「満足している層」の割合が 27.9%で、「満足していない層」の割合（25.3%）より 2.6 ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が 2.2 ポイント高く、「満足していない層」の割合が 0.3 ポイント高くなっています。

図表 2-2-8 健康状態の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が、男性では 2.2 ポイント、女性では 2.6 ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- 60 歳代未満の年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18 歳から 20 歳代の「満足している層」の割合（46.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、40 歳代の「満足している層」の割合が 3.8 ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- 未婚、有配偶で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足している層」の割合（32.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると 2.6 ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- 二世帯世帯、三世帯世帯で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足している層」の割合（30.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、4.0 ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業、自営業、自由業、正規職員、パート・バイト・派遣、学生で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（60.5%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると 8.6 ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が 4.0 ポイント高くなっています。

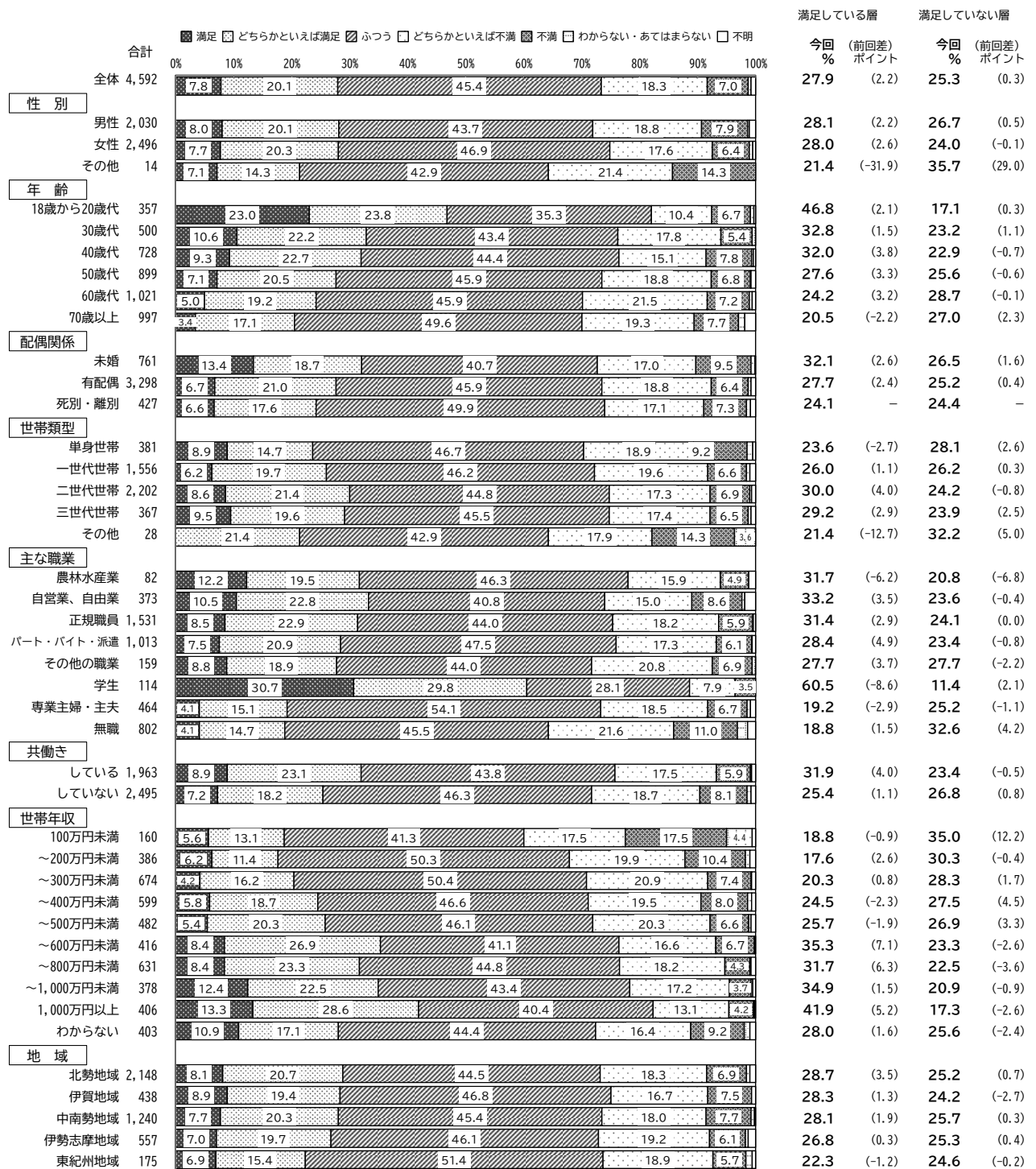
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が 500 万円以上、世帯収入がわからない世帯で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000 万円以上の「満足している層」の割合（41.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると、100 万円未満の「満足していない層」の割合が 12.2 ポイント高くなっています。

【地域別】

- 東紀州地域を除くすべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、北勢地域の「満足している層」の割合（28.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると 3.5 ポイント高くなっています。

図表 2-2-9 健康状態の満足度（属性別）

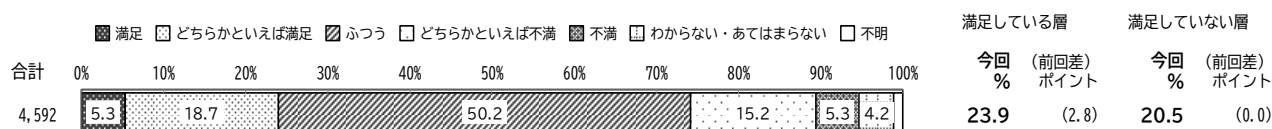


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 医療サービスの満足度について

- 「満足している層」の割合が 23.9%で、「満足していない層」の割合（20.5%）より 3.4 ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が 2.8 ポイント高くなっていますが、「満足していない層」の割合は変化がありませんでした。

図表 2-2-10 医療サービスの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が、男性では 0.5 ポイント、女性では 5.1 ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- 40 歳代以下、70 歳以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18 歳から 20 歳代の「満足している層」の割合（40.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると、40 歳代の「満足している層」の割合が 5.5 ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足している層」の割合（28.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると、有配偶の「満足している層」の割合が 3.3 ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足している層」の割合（26.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると、単身世帯の「満足している層」の割合が 5.2 ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業、自営業、自由業、正規職員、学生、無職で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（53.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると、農林水産業の「満足していない層」の割合が 7.0 ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が 4.2 ポイント高くなっています。

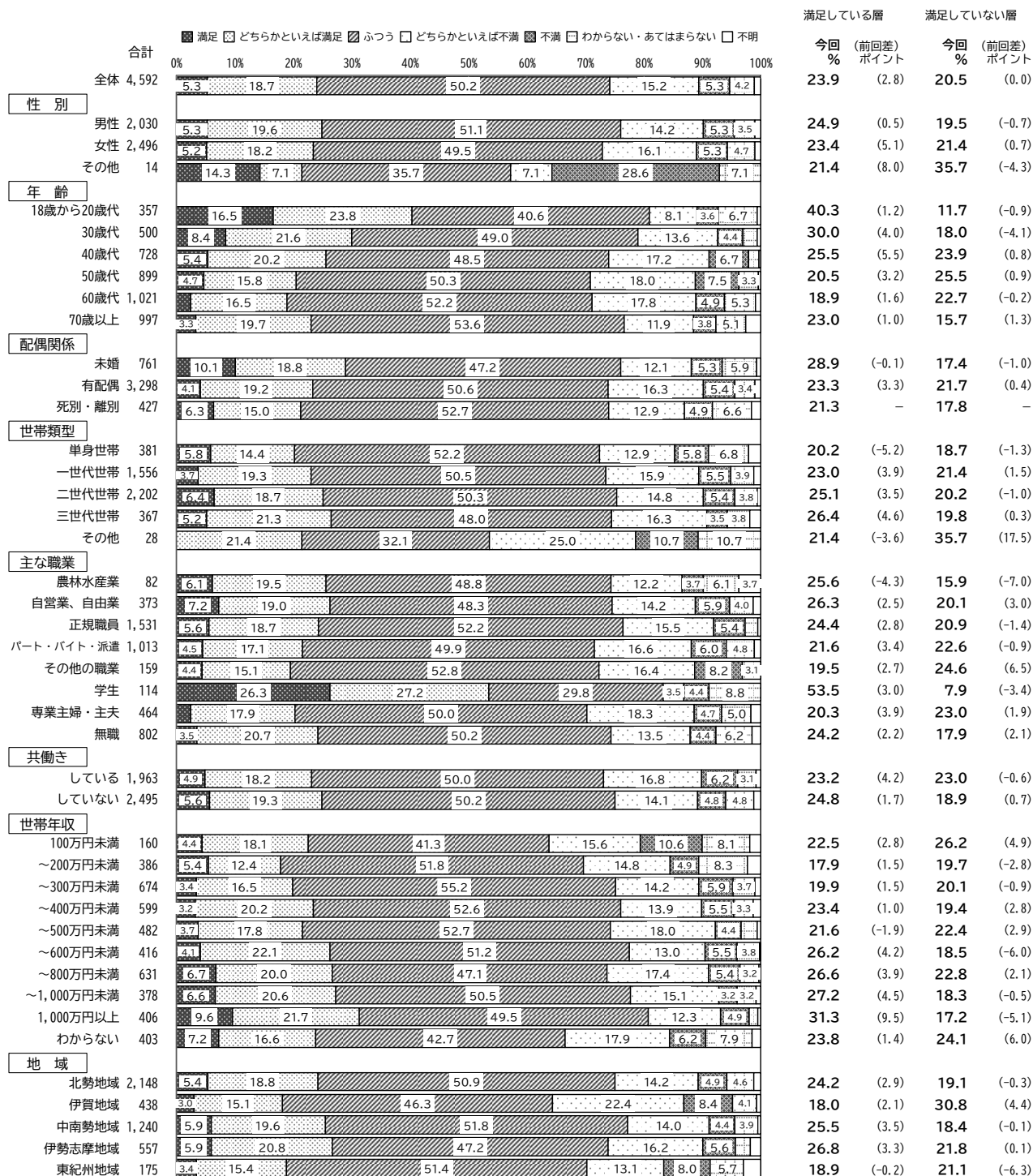
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が 300 万円以上 400 万円未満、500 万円以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000 万円以上の「満足している層」の割合（31.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると 9.5 ポイント高くなっています。

【地域別】

- 北勢地域、中南勢地域、伊勢志摩地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊勢志摩地域の「満足している層」の割合（26.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、東紀州地域の「満足していない層」の割合が6.3ポイント低くなっています。

図表 2-2-11 医療サービスの満足度（属性別）

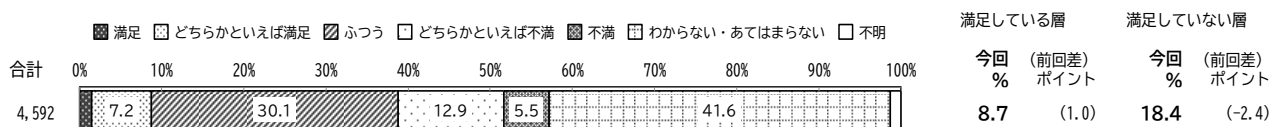


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 介護・福祉サービスの満足度について

- 「満足している層」の割合が8.7%で、「満足していない層」の割合（18.4%）より9.7ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.0ポイント高く、「満足していない層」の割合が2.4ポイント低くなっています。

図表 2-2-12 介護・福祉サービスの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では3.0ポイント、女性では1.4ポイント、それぞれ低くなっています。

【年齢別】

- 18歳から20歳代を除くすべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、50歳代の「満足していない層」の割合（25.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると、30歳代の「満足していない層」の割合が4.6ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、死別・離別の「満足していない層」の割合（20.4%）が高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（19.6%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると3.8ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、その他の職業の「満足していない層」の割合（22.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、農林水産業の「満足している層」の割合が8.5ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしていない世帯の「満足していない層」の割合が3.3ポイント低くなっています。

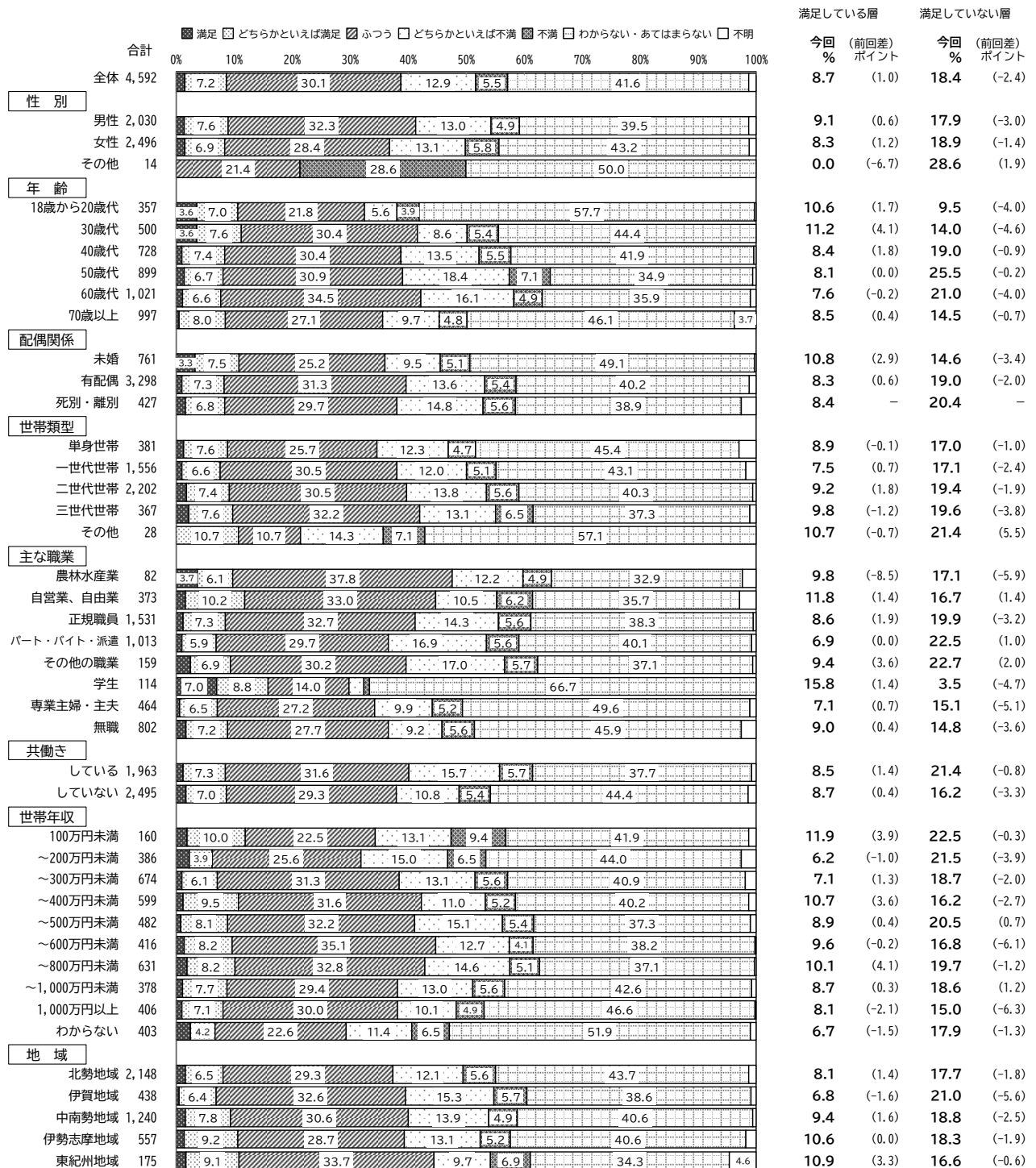
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、100万円未満の「満足していない層」の割合（22.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると、1,000万円以上の「満足していない層」の割合が6.3ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足していない層」の割合（21.0%）が高いものの、前回調査の割合と比較すると5.6ポイント低くなっています。

図表 2-2-13 介護・福祉サービスの満足度（属性別）

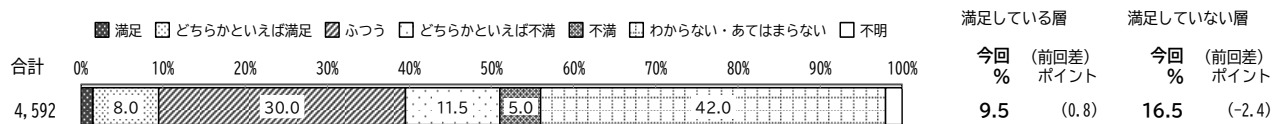


※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 子育てのしやすさの満足度について

- 「満足している層」の割合が9.5%で、「満足していない層」の割合（16.5%）より7.0ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.8ポイント高く、「満足していない層」の割合が2.4ポイント低くなっています。

図表 2-2-14 子育てのしやすさの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では2.4ポイント、女性では2.3ポイント、それぞれ低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、40歳代の「満足していない層」の割合（24.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると、30歳代の「満足していない層」の割合が8.1ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、有配偶の「満足していない層」の割合（19.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足していない層」の割合が3.6ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（20.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、二世帯世帯の「満足していない層」の割合が3.9ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合（21.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、農林水産業の「満足していない層」の割合が7.5ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしていない世帯の「満足していない層」の割合が3.0ポイント低くなっています。

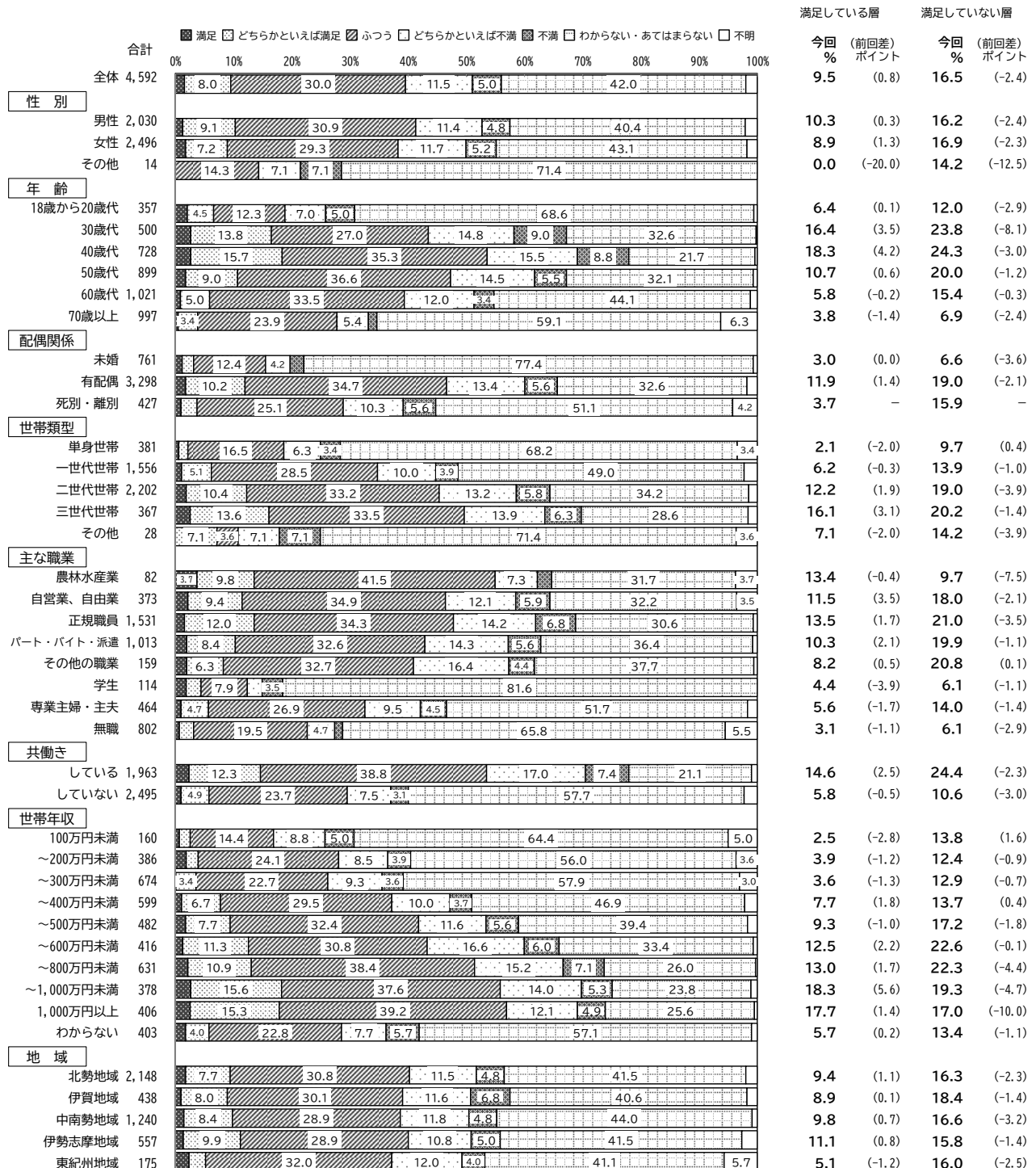
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円以上を除くすべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、500万円以上600万円未満の「満足していない層」の割合（22.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると、1,000万円以上の「満足していない層」の割合が10.0ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足していない層」の割合（18.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると、中南勢地域の「満足していない層」の割合が3.2ポイント低くなっています

図表 2-2-15 子育てのしやすさの満足度（属性別）

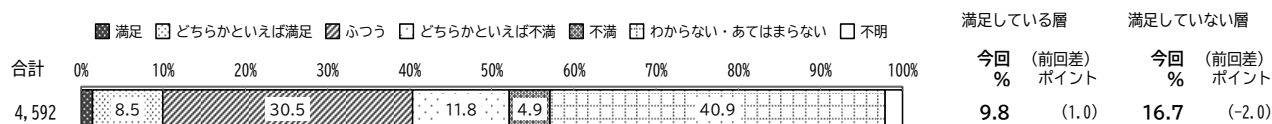


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 子どもの教育の満足度について

- 「満足している層」の割合が9.8%で、「満足していない層」の割合（16.7%）より6.9ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.0ポイント高く、「満足していない層」の割合が2.0ポイント低くなっています。

図表 2-2-16 子どもの教育の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では0.9ポイント、女性では2.9ポイント、それぞれ低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、40歳代の「満足していない層」の割合（25.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると30歳代の「満足していない層」の割合が8.6ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、有配偶の「満足していない層」の割合（18.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足していない層」の割合が3.7ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（19.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると、三世帯世帯の「満足している層」の割合が3.8ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合（22.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、自営業、自由業の「満足していない層」の割合が5.3ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が2.6ポイント高くなっています。

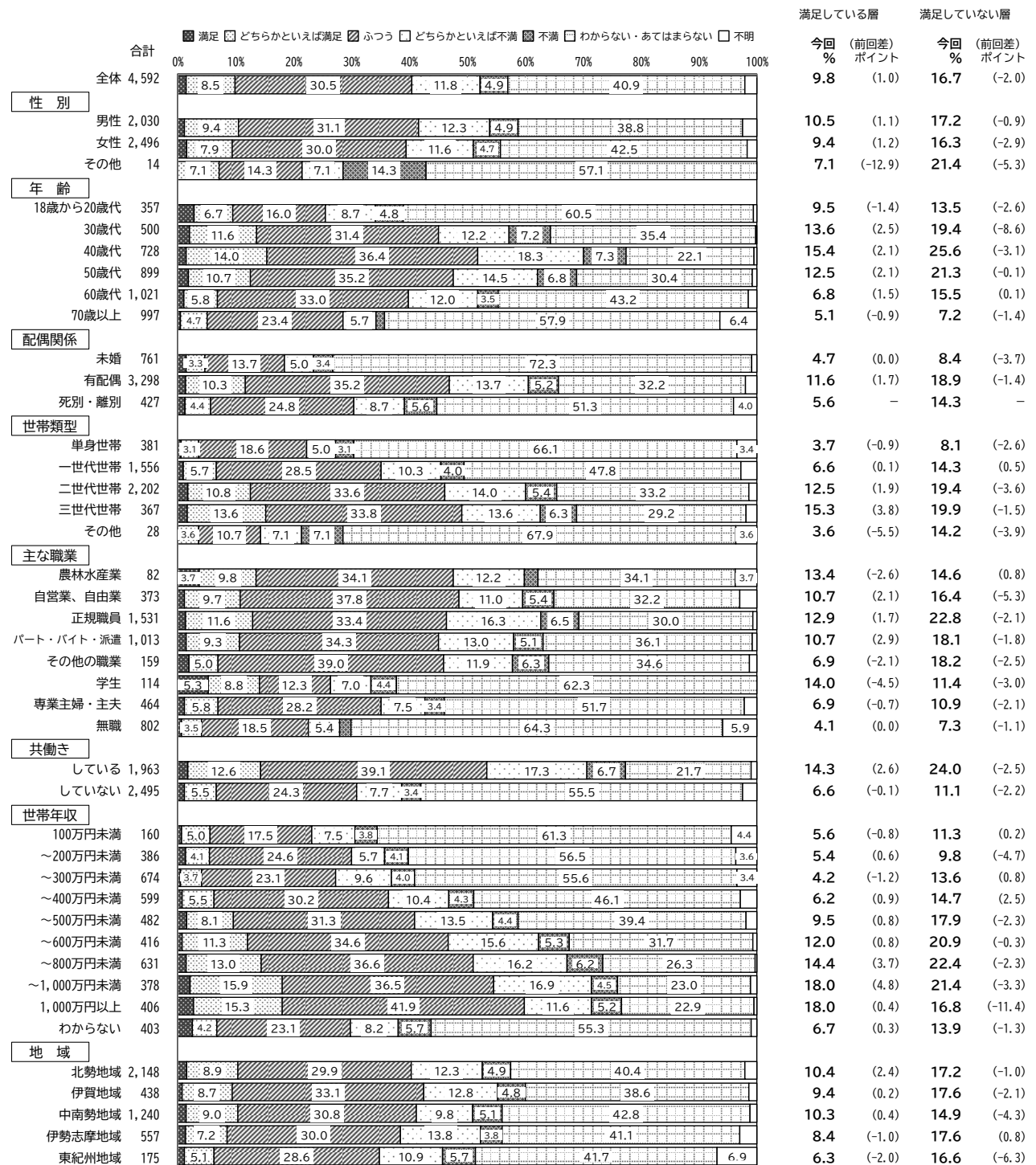
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円以上を除くすべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、600万円以上800万円未満の「満足していない層」の割合（22.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると、1,000万円以上の「満足していない層」の割合が11.4ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域、伊勢志摩地域の「満足していない層」の割合（17.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると、東紀州地域の「満足していない層」の割合が6.3ポイント低くなっています。

図表 2-2-17 子どもの教育の満足度（属性別）

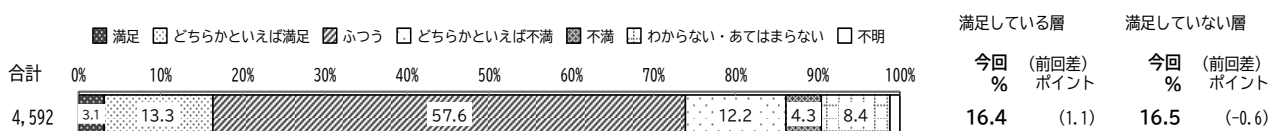


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度について

- 「満足している層」の割合が16.4%で、「満足していない層」の割合（16.5%）より0.1ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.1ポイント高く、「満足していない層」の割合が0.6ポイント低くなっています。

図表 2-2-18 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男性で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足していない層」の割合が2.3ポイント低くなっています。

【年齢別】

- 30歳代から60歳代の年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、50歳代の「満足していない層」の割合（18.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると、60歳代の「満足していない層」の割合が4.2ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- 未婚、死別・離別で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（18.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足している層」の割合が2.5ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- 単身世帯、一世代世帯で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯の「満足していない層」の割合（20.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.9ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 正規職員、専業主婦・主夫、無職を除くすべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（42.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると、農林水産業の「満足している層」の割合が13.9ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしていない世帯で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が1.3ポイント高くなっています。

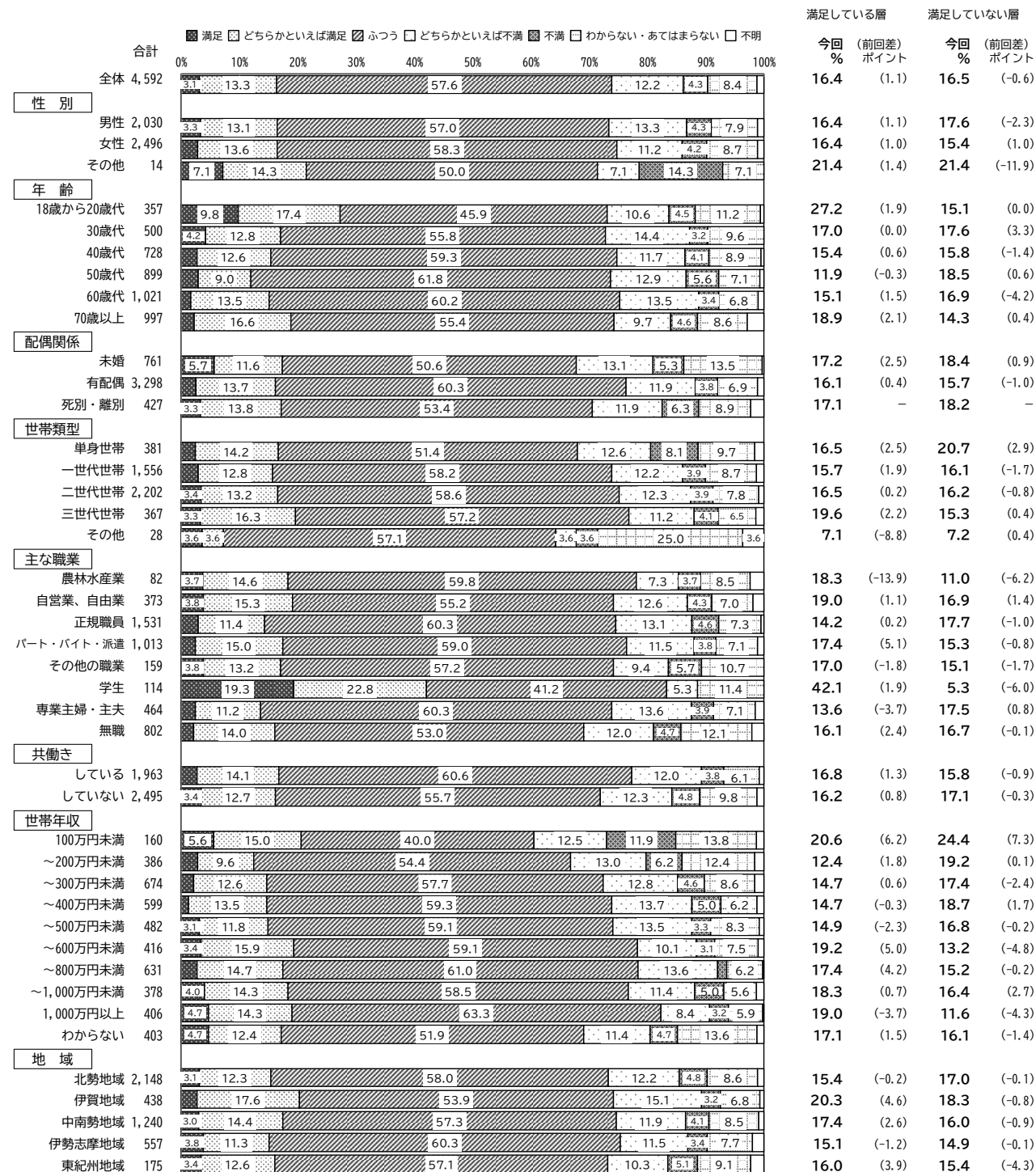
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が500万円未満で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、100万円未満の「満足していない層」の割合（24.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると7.3ポイント高くなっています。

【地域別】

- 北勢地域を除くすべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足している層」の割合（20.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると、4.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-19 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度（属性別）

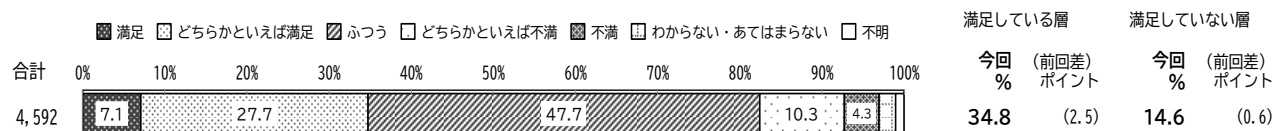


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 身のまわりの自然環境の満足度について

- 「満足している層」の割合が34.8%で、「満足していない層」の割合（14.6%）より20.2ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が2.5ポイント高く、「満足していない層」の割合が0.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-20 身のまわりの自然環境の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は、男性では1.9ポイント、女性では2.8ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合（43.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると、60歳代の「満足している層」の割合が6.0ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に有配偶の「満足している層」の割合（35.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると3.0ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足している層」の割合（37.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると、一世帯世帯の「満足している層」の割合が4.4ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（50.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、農林水産業の「満足している層」の割合が10.6ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が4.6ポイント高くなっています。

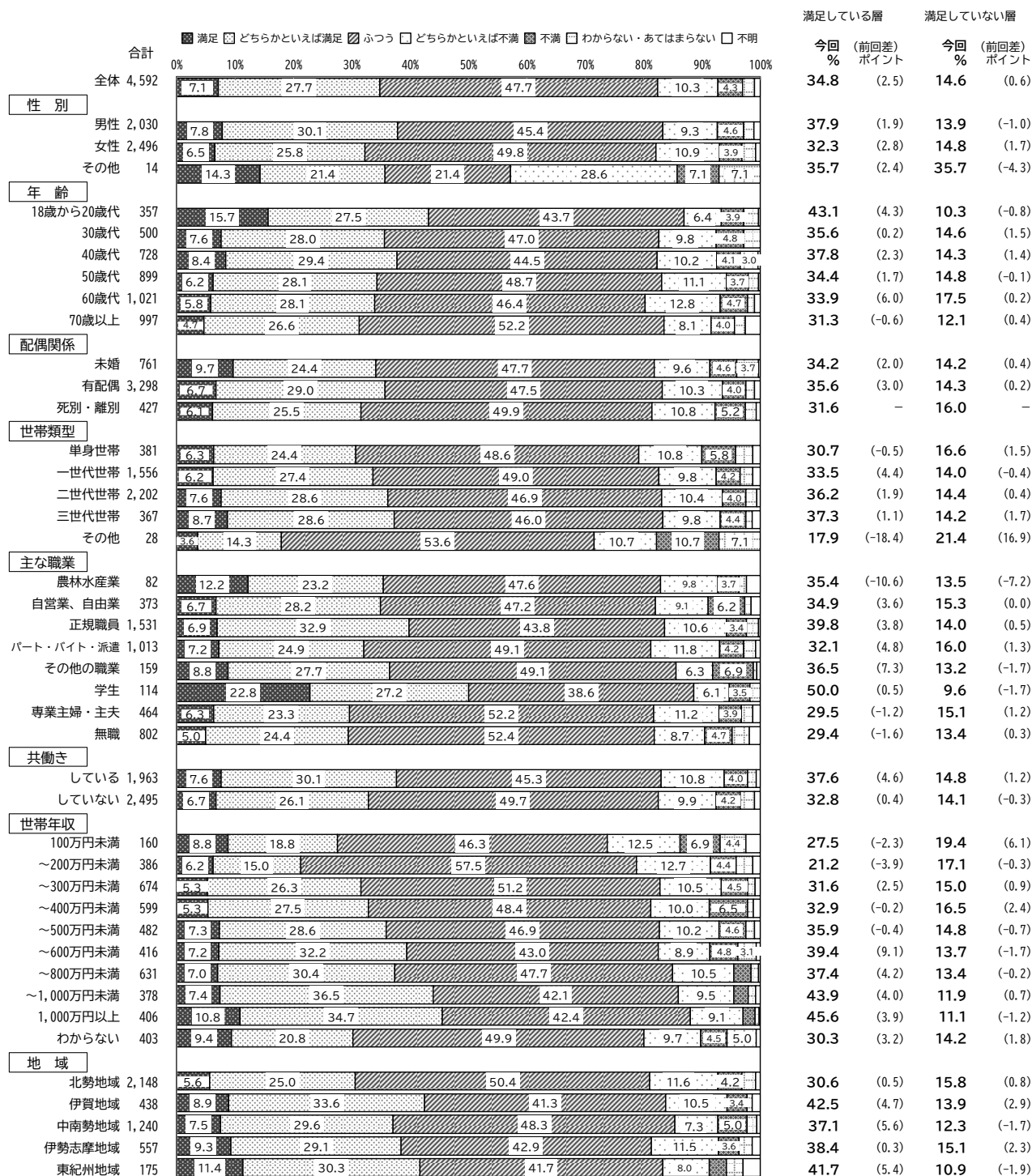
【世帯収入別】

- すべての世帯収入で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合（45.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると、500万円以上600万円未満の「満足している層」の割合が9.1ポイント高くなっています。

【地域別】

○ すべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足している層」の割合（42.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると、中南海地域の「満足している層」の割合が5.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-21 身のまわりの自然環境の満足度（属性別）

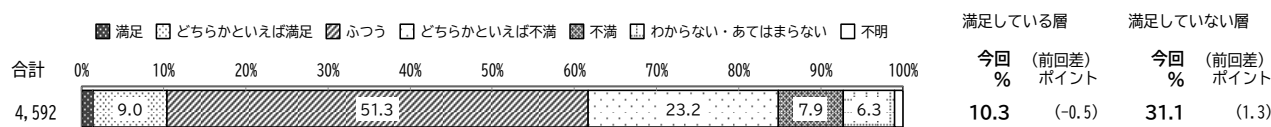


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 自然災害への備えの満足度について

- 「満足している層」の割合が10.3%で、「満足していない層」の割合（31.1%）より20.8ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.5ポイント低く、「満足していない層」の割合が1.3ポイント高くなっています。

図表 2-2-22 自然災害への備えの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では0.1ポイント、女性では1.9ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、60歳代の「満足していない層」の割合（36.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、18歳から20歳代の「満足している層」の割合が4.1ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、死別・離別の「満足していない層」の割合（33.7%）が高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（37.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると5.2ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、農林水産業の「満足していない層」の割合（32.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると、農林水産業の「満足している層」の割合が5.3ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしていない世帯の「満足していない層」の割合が1.5ポイント高くなっています。

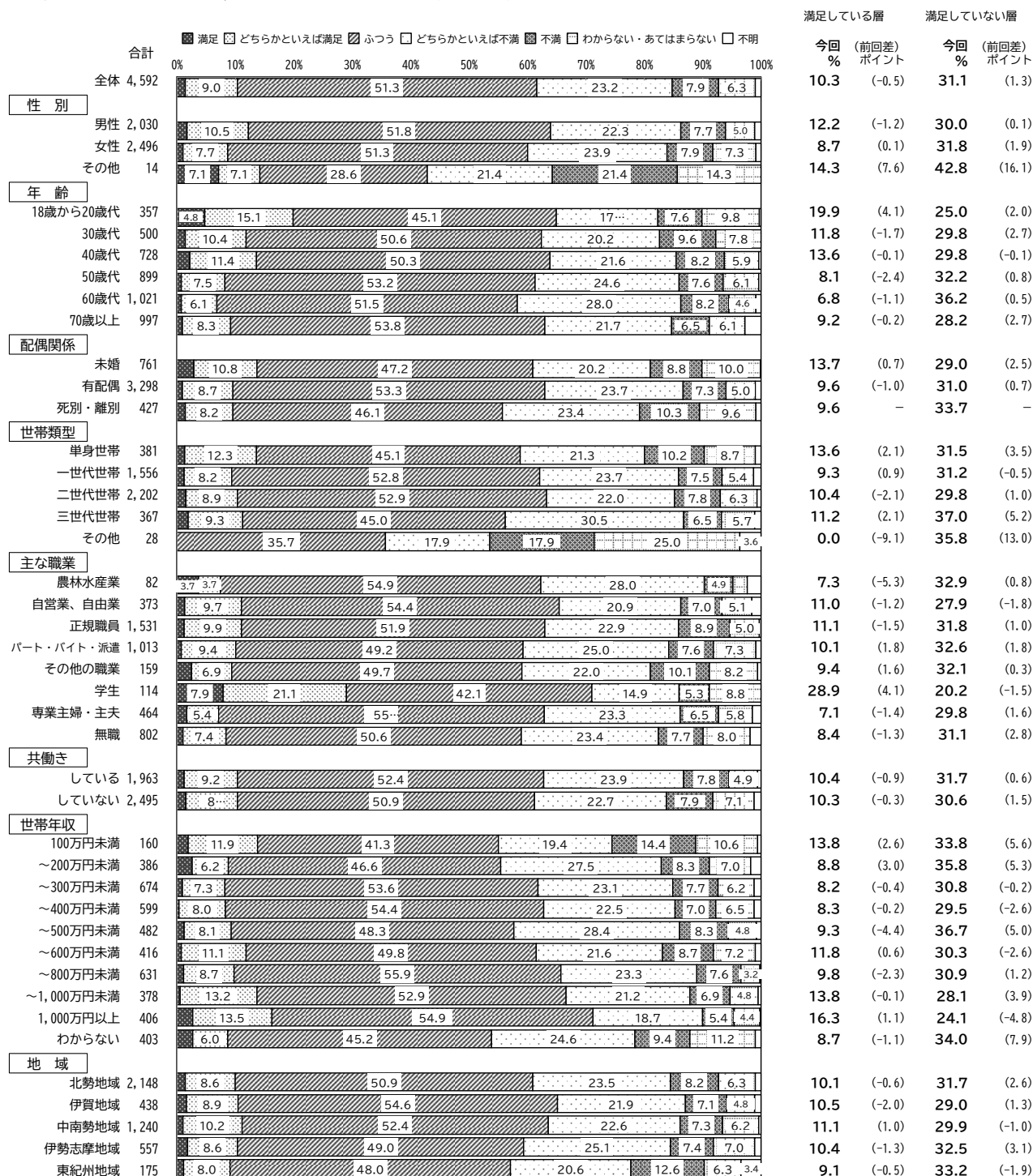
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、400万円以上500万円未満の「満足していない層」の割合（36.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、世帯年収がわからない世帯の「満足していない層」の割合が7.9ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（33.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、伊勢志摩地域の「満足していない層」の割合が3.1ポイント高くなっています。

図表 2-2-23 自然災害への備えの満足度（属性別）



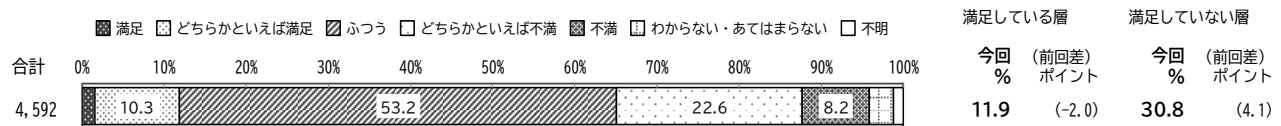
※本質問の回答割合（％）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出している。

※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度について

- 「満足している層」の割合が11.9%で、「満足していない層」の割合（30.8%）より18.9ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が2.0ポイント低く、「満足していない層」の割合が4.1ポイント高くなっています。

図表 2-2-24 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では1.8ポイント、女性では5.9ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- 18歳から20歳代を除くすべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、50歳代の「満足していない層」の割合（35.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、70歳以上の「満足していない層」の割合が5.8ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、有配偶の「満足していない層」の割合（31.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足していない層」の割合が4.5ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（33.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると8.7ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（34.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると、その他の職業で「満足していない層」の割合が7.4ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足していない層」の割合が4.4ポイント高くなっています。

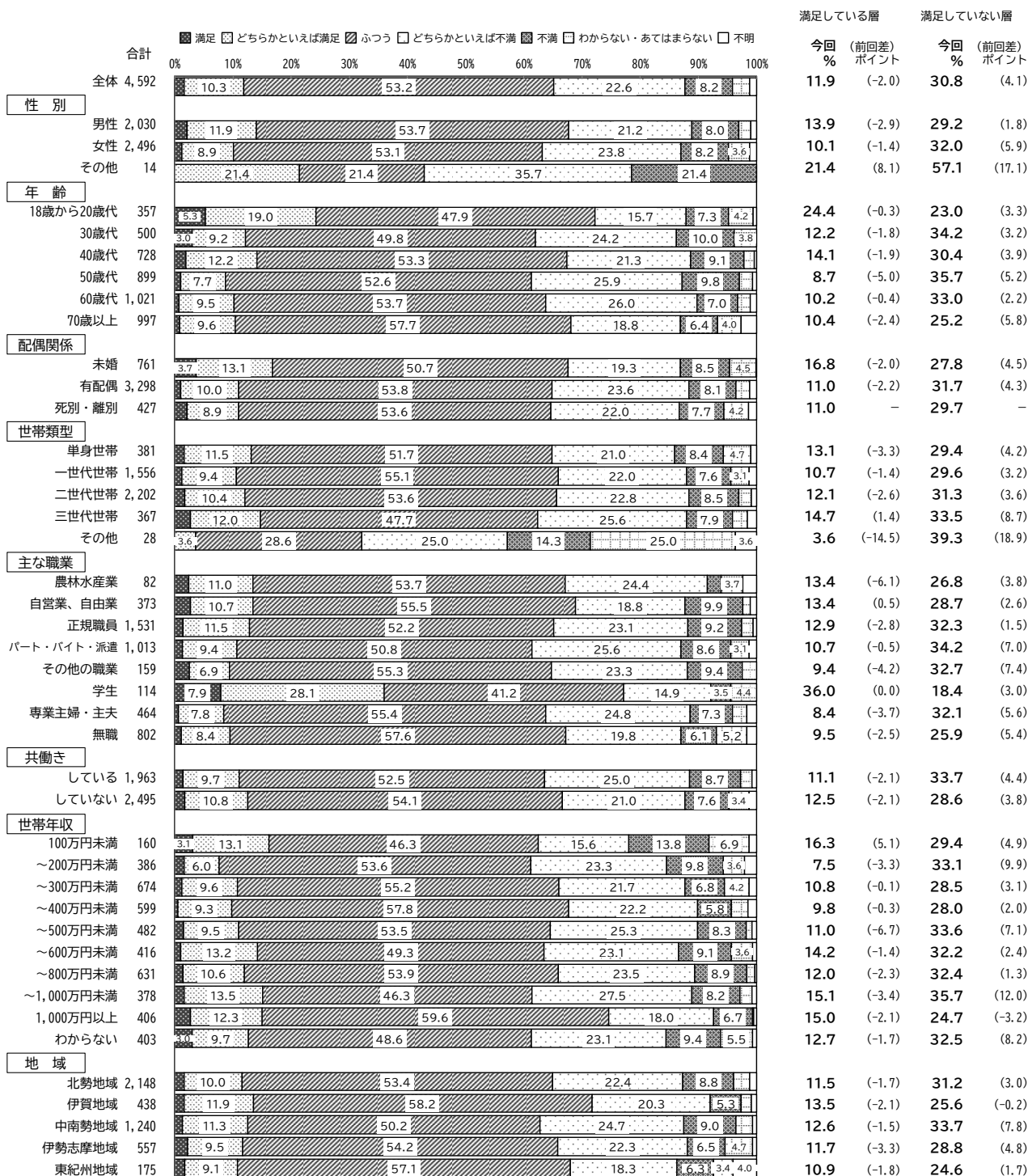
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、800万円以上1,000万円未満の「満足していない層」の割合（35.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると12.0ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、中南勢地域の「満足していない層」の割合（33.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると7.8ポイント高くなっています。

図表 2-2-25 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度（属性別）

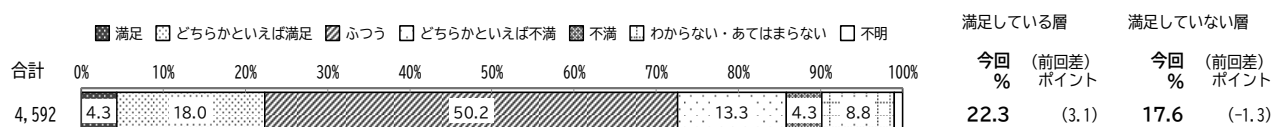


※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出している。
 ※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度について

- 「満足している層」の割合が22.3%で、「満足していない層」の割合（17.6%）より4.7ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が3.1ポイント高く、「満足していない層」の割合が1.3ポイント低くなっています。

図表 2-2-26 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は、男性では2.5ポイント、女性では3.4ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- 30歳代以下、60歳代以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合（39.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると、30歳代の「満足している層」の割合が8.0ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- 未婚、有配偶で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足している層」の割合（28.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると、未婚の「満足していない層」の割合が4.5ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- 三世帯世帯を除くすべての世帯構造で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足している層」の割合（23.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると、単身世帯の「満足していない層」の割合が6.6ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業を除くすべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（46.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると、その他の職業の「満足していない層」の割合が7.0ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしている世帯の「満足している層」の割合が3.7ポイント高くなっています。

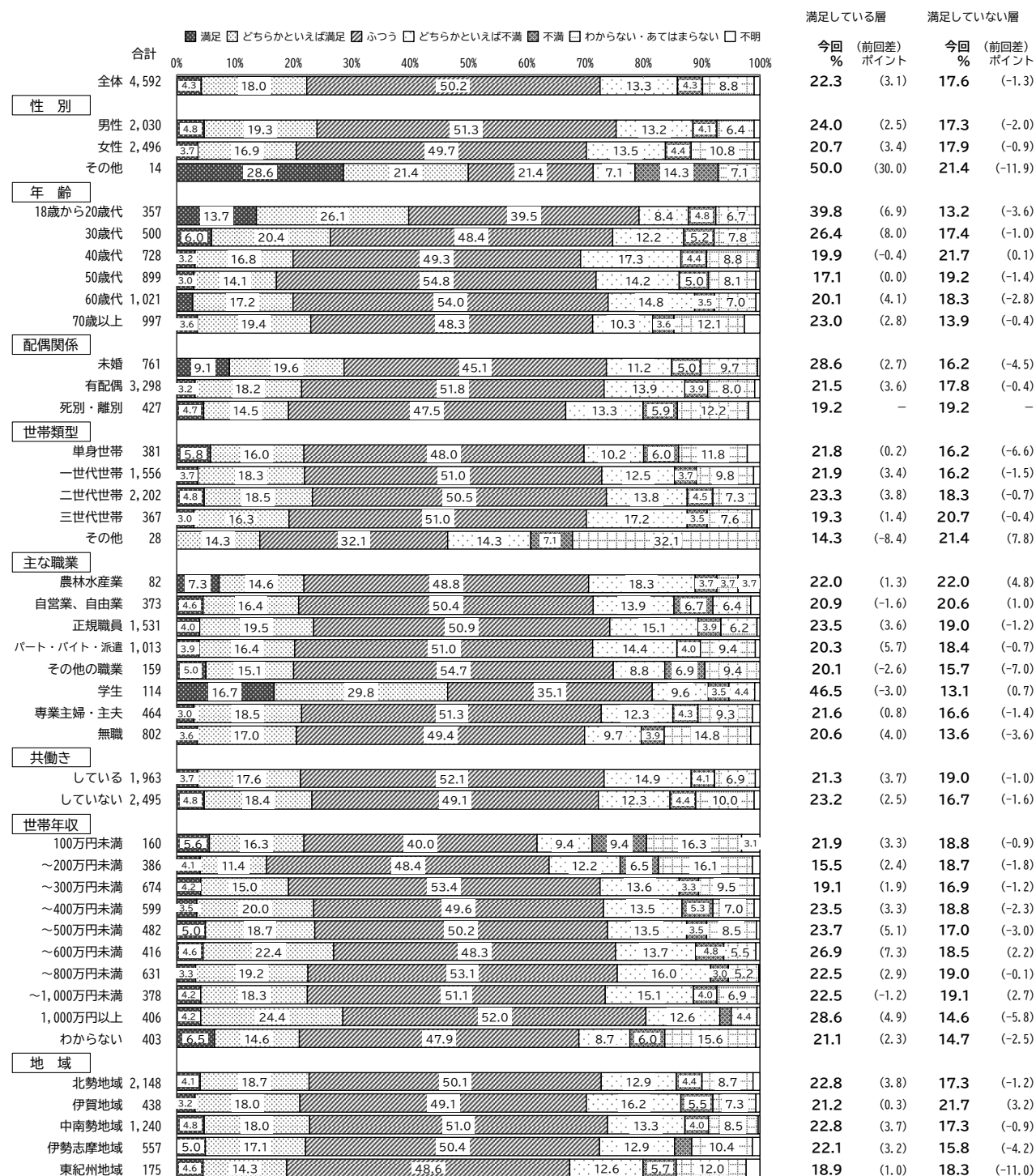
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が100万円以上200万円未満を除くすべての世帯年収で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合（28.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると、500万円以上600万円未満の「満足している層」の割合が7.3ポイント高くなっています。

【地域別】

- 伊賀地域を除くすべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、北勢地域、中南勢地域の「満足している層」の割合（22.8%）がともに高く、前回調査の割合と比較すると、東紀州地域の「満足していない層」の割合が11.0ポイント低くなっています。

図表 2-2-27 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度（属性別）



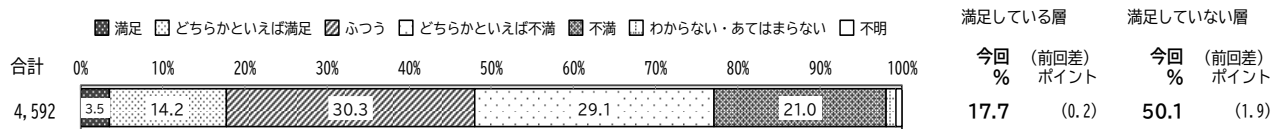
※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出している。

※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 移動手段、交通の便利さの満足度について

- 「満足している層」の割合が17.7%で、「満足していない層」の割合（50.1%）より32.4ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.2ポイント高く、「満足していない層」の割合が1.9ポイント高くなっています。

図表 2-2-28 移動手段、交通の便利さの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、「満足していない層」の割合は、男性では1.9ポイント、女性では1.6ポイント、それぞれ高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、50歳代の「満足していない層」の割合（56.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると4.2ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（53.6%）が高く、前回調査の割合と比較すると4.4ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（54.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、単身世帯の「満足していない層」の割合が5.7ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足していない層」の割合（57.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると、その他の職業の「満足している層」の割合が8.8ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、共働きをしていない世帯の「満足していない層」の割合が2.1ポイント高くなっています。

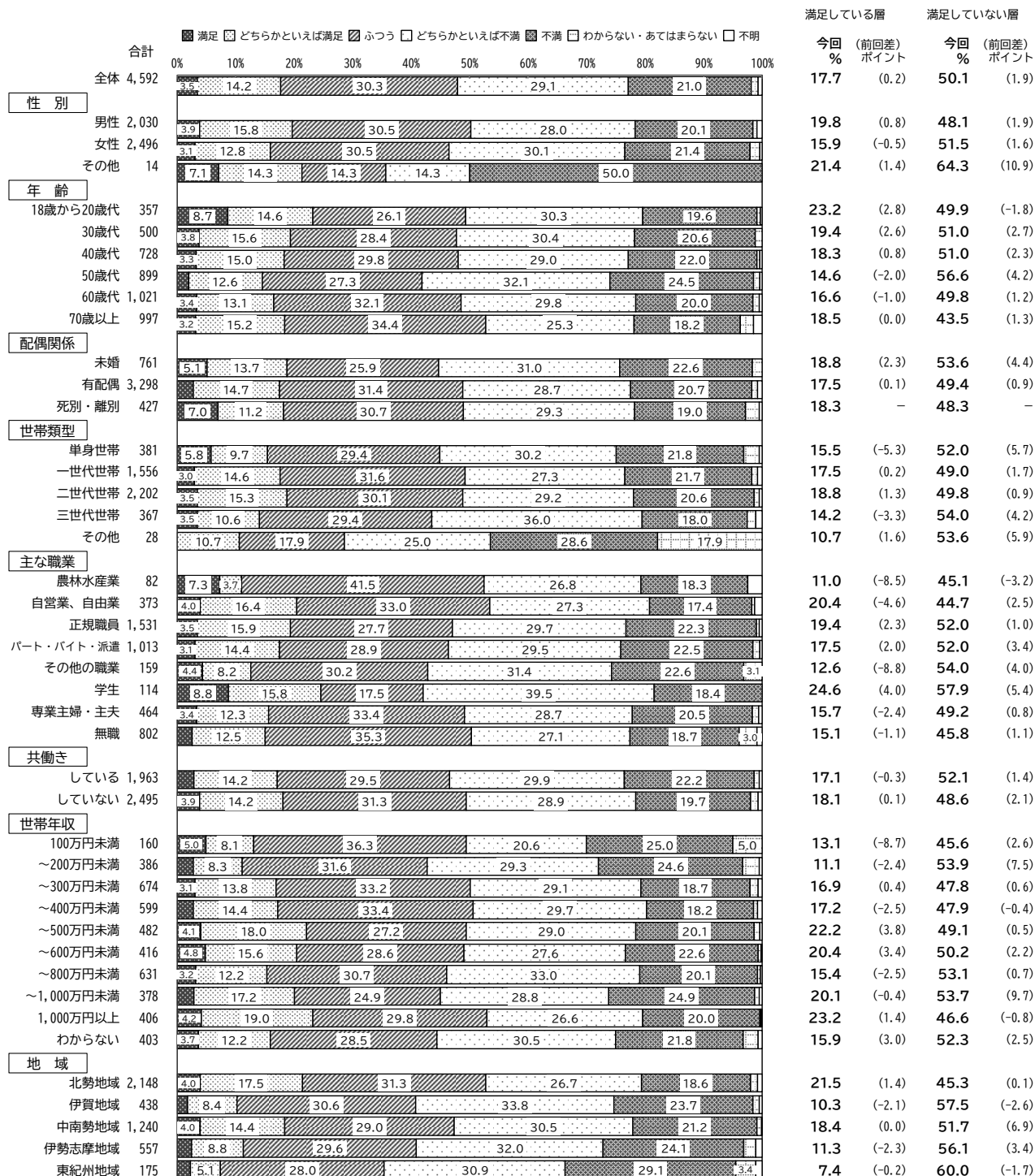
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、100万円以上200万円未満の「満足していない層」の割合（53.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると、800万円以上1,000万円未満の「満足していない層」の割合が9.7ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（60.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると、中南勢地域の「満足していない層」の割合が6.9ポイント高くなっています。

図表 2-2-29 移動手段、交通の便利さの満足度（属性別）



※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出している。

※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

Ⅱ 集計結果

3. 県が注力している取組 について

3. 県が注力している取組について

「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念の実現に向けて取組を一層加速させていかなければならないと考えられる課題を抽出し、積極果敢に対応していくため、県民の皆さんの実感や状況をみえ県民1万人アンケートでおききました。

問番号	質問文の概要	課題
問 3	「南海トラフ地震臨時情報」についてどの程度知っているか	災害について
問 3-2	「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったか	
問 3-3	「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはあったか	
問 9	ジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて今後どのようなことを進めていくべきと思うか	ジェンダーギャップの解消について
問 10	三重県で働く方を増やすために「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか	人材確保について
問 11	日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく社会についてどう思うか	共生社会について
問 12	県内各地で観光客が増えたと、どのような効果や影響があると思うか	観光について
問 13	行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか	デジタルの活用について
問 13-2	デジタルサービスを利用したことがない理由	
問 14-①	出かける際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】	公共交通について
問 14-②	出かける際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】	
問 15	タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地（地域のスーパーや病院等）まで送迎してくれるサービスを利用したいと思うか	公共ライドシェアについて

※「結婚について」、「子ども・子育て支援について」の集計結果は 67 ページから 81 ページに記載

➤ 県が注力している取組に関すること（項目ごとの集計結果）

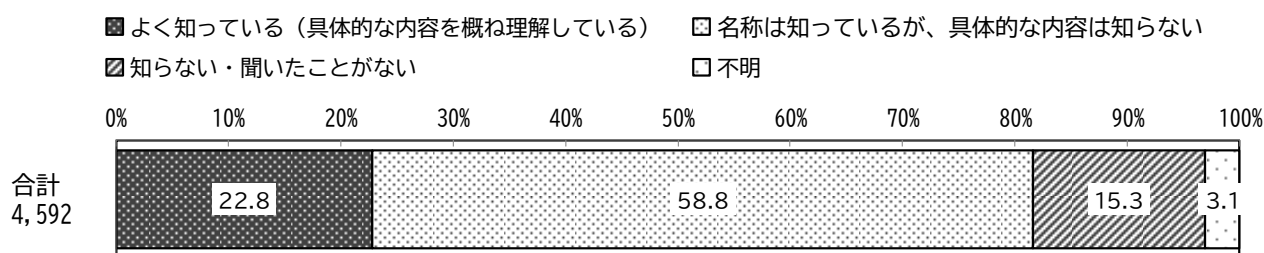
3.1 災害について

問3 南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では令和元年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報*」の運用を開始しており、今年8月8日に、運用を開始してから初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。あなたはこの情報について、どの程度知っていますか。

*南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報

- 「南海トラフ地震臨時情報」についてどの程度知っているかについて質問したところ、「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」が58.8%で最も高く、次いで「よく知っている（具体的な内容を概ね理解している）」（22.8%）、「知らない・聞いたことがない」（15.3%）となっています。

図表 2-3-1 「南海トラフ地震臨時情報」の認知度



※本質問の回答割合（%）は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」の割合が最も高くなっています。男性では「よく知っている（具体的な内容を概ね理解している）」の割合（26.8%）が女性と比較して高くなっています。

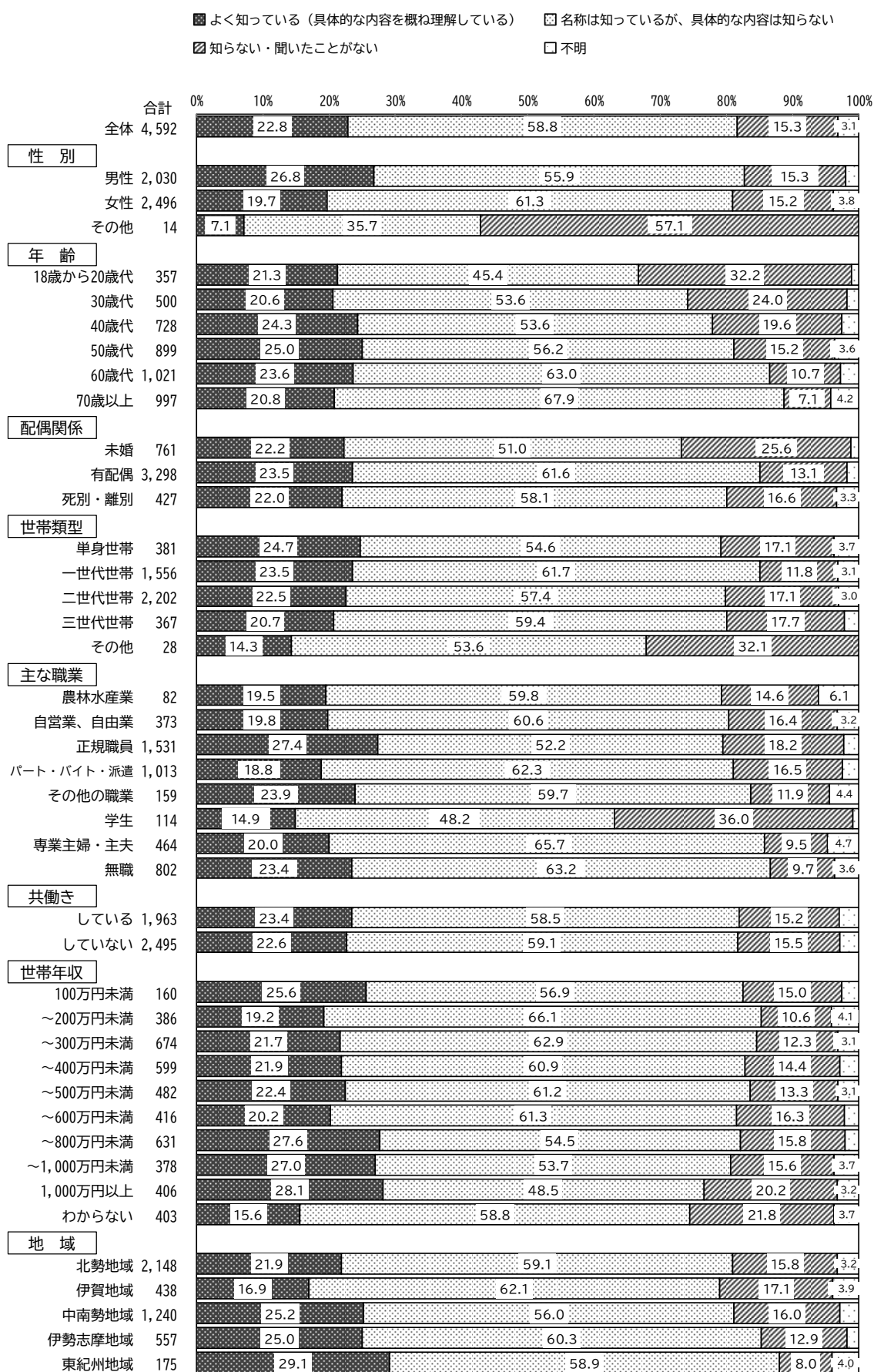
【年代別】

- すべての年代で「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」の割合が最も高くなっています。年代が高いほど「知らない・聞いたことがない」の割合が低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「名称は知っているが、具体的な内容は知らない」の割合が最も高くなっています。中南勢地域、伊勢志摩地域、東紀州地域では「よく知っている（具体的な内容を概ね理解している）」の割合が2割半ばを超え、県全体よりも高くなっています。

図表 2-3-2 「南海トラフ地震臨時情報」の認知度（属性別）

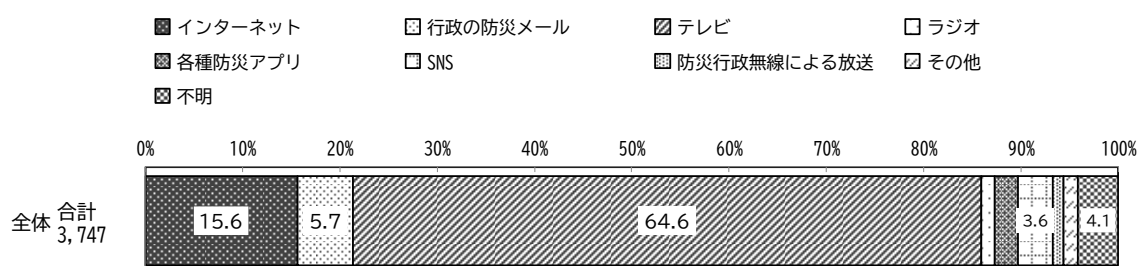


※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

問 3-2 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知りましたか。

- 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったかについて質問したところ、「テレビ」が64.6%で最も高く、次いで「インターネット」（15.6%）、「行政の防災メール」（5.7%）となっています。

図表 2-3-3 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったか



※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「テレビ」の割合が最も高くなっています。男性では「インターネット」の割合（20.2%）が女性と比較して高くなっています。

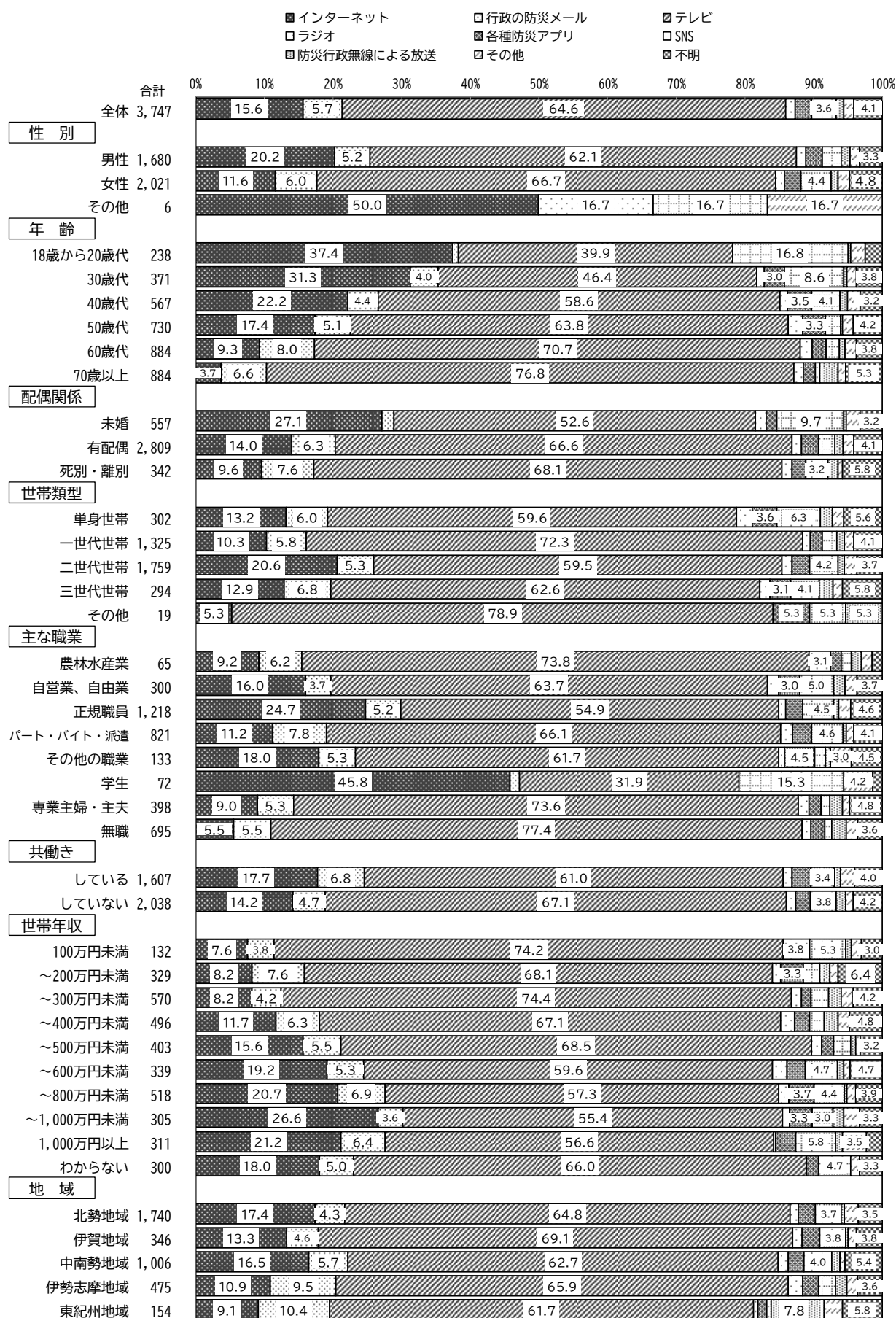
【年代別】

- すべての年代で「テレビ」の割合が最も高くなっています。年代が低いほど「インターネット」の割合が高く、30歳代以下では3割を超えています。

【地域別】

- すべての地域で「テレビ」の割合が最も高くなっています。「インターネット」と「行政の防災メール」の回答割合を比較した場合、北勢地域、伊賀地域、中南勢地域では「インターネット」の割合が1割を超え、伊勢志摩地域、東紀州地域では「インターネット」と「行政の防災メール」の割合がともに1割前後で同程度となっています。

図表 2-3-4 「南海トラフ地震臨時情報」の発表は主に何で知ったか（属性別）



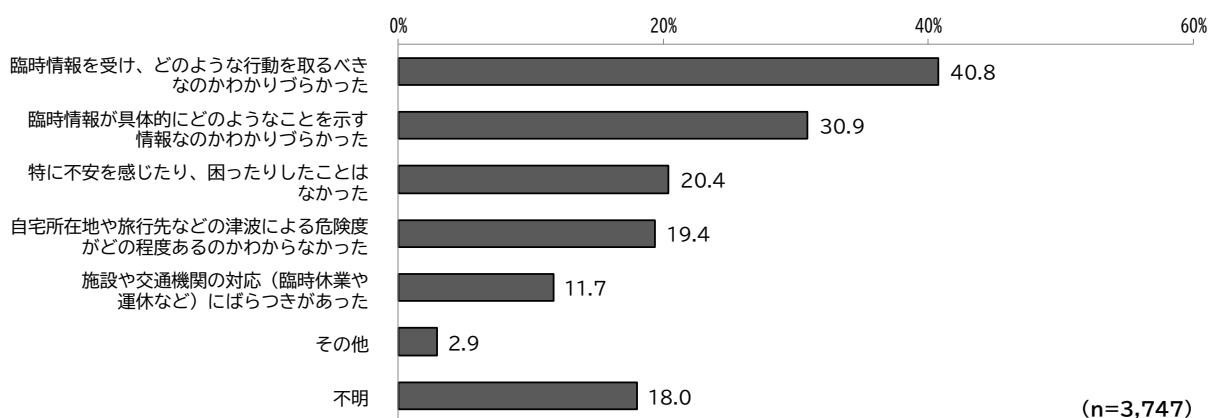
※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

問 3-3 問3で「1」「2」を選んだ方（「南海トラフ地震臨時情報」を知っている方）におききします。「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはありませんか。次の中から、あてはまるものを選んでください。

（○はいくつでも）

○ 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことがあったかについて質問したところ、「臨時情報を受け、どのような行動を取るべきなのかわかりづらかった」が40.8%で最も高く、次いで「臨時情報が具体的にどのようなことを示す情報なのかわかりづらかった」（30.9%）、「自宅所在地や旅行先などの津波による危険度がどの程度あるのかわからなかった」（19.4%）となっています。なお、「特に不安を感じたり、困ったりしたことはなかった」が20.4%となっています。

図表 2-3-5 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはあったか



※本質問の回答割合（%）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-6 「南海トラフ地震臨時情報」の発表を受けて、不安を感じたり、困ったりしたことはあったか（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）							
		合計	特に不安を感じたり、困ったりしたことはなかった	臨時情報が具体的にどのようなことを示す情報なのかわかりづらかった	臨時情報を受け、どのような行動を取るべきなのかわかりづらかった	自宅所在地や旅行先などの津波による危険度がどの程度あるのかわからなかった	施設や交通機関の対応（臨時休業や運休など）にばらつきがあった	その他	不明
全体		3,747	20.4	30.9	40.8	19.4	11.7	2.9	18.0
性別	男性	1,680	25.0	32.0	37.2	18.3	12.1	2.7	14.9
	女性	2,021	16.5	29.7	44.3	20.4	11.4	3.1	20.4
	その他	6	66.7	16.7	-	33.3	-	-	-
年齢	18歳から20歳代	238	22.3	30.3	35.7	23.1	14.3	2.5	9.2
	30歳代	371	19.7	29.4	43.9	19.7	13.2	2.7	12.9
	40歳代	567	19.6	27.0	44.4	18.2	10.8	4.1	13.4
	50歳代	730	16.7	32.7	41.6	18.6	10.7	3.8	17.4
	60歳代	884	19.9	33.7	45.0	19.8	14.6	2.1	19.0
	70歳以上	884	24.9	28.6	34.2	19.8	8.9	2.4	24.1
配偶関係	未婚	557	25.3	30.7	39.1	19.4	13.8	2.5	12.6
	有配偶	2,809	19.3	31.2	41.5	19.4	11.5	2.7	18.4
	死別・離別	342	27.6	28.9	37.7	19.3	9.9	5.6	27.6
世帯類型	単身世帯	302	26.5	28.1	38.7	20.2	10.9	4.6	17.2
	一世代世帯	1,325	20.6	29.1	37.1	19.4	11.7	3.0	22.0
	二世代世帯	1,759	19.4	32.7	43.6	19.5	11.9	2.6	15.0
	三世代世帯	294	20.7	29.3	46.3	18.7	11.9	2.7	15.6
	その他	19	15.8	26.3	26.3	21.1	10.5	-	36.8
主な職業	農林水産業	65	21.5	35.4	43.1	26.2	12.3	-	18.5
	自営業、自由業	300	20.3	33.0	35.0	17.3	9.3	3.7	18.7
	正規職員	1,218	19.8	32.3	43.2	17.6	13.5	3.2	13.1
	パート・バイト・派遣	821	17.8	30.3	45.2	21.9	12.3	3.5	17.2
	その他の職業	133	14.3	27.8	44.4	25.6	12.0	1.5	20.3
	学生	72	26.4	30.6	40.3	22.2	12.5	-	6.9
	専業主婦・主夫	398	19.3	29.1	41.0	20.6	10.6	2.8	24.9
	無職	695	25.8	28.5	34.2	18.3	9.4	2.2	23.5
共働き	している	1,607	17.1	32.7	44.5	19.9	12.5	3.0	15.1
	していない	2,038	22.9	29.2	38.5	19.2	11.3	2.7	20.0
世帯年収	100万円未満	132	27.2	27.3	38.6	20.5	12.9	3.8	27.2
	～200万円未満	329	21.9	32.2	35.6	22.8	8.2	3.3	23.4
	～300万円未満	570	21.4	27.4	37.5	20.0	11.1	2.6	24.4
	～400万円未満	496	27.6	32.7	37.3	16.9	10.3	2.4	18.8
	～500万円未満	403	20.1	31.5	42.2	21.3	12.2	3.5	14.6
	～600万円未満	339	16.2	37.2	44.5	19.2	12.1	5.3	14.7
	～800万円未満	518	27.4	27.2	43.8	15.8	11.8	2.3	14.7
	～1,000万円未満	305	17.0	32.5	44.6	19.7	12.5	2.0	15.7
	1,000万円以上	311	22.5	29.6	44.4	13.8	14.8	2.9	14.5
	わからない	300	19.3	32.3	41.7	25.7	12.0	2.3	15.3
地域	北勢地域	1,740	20.5	32.2	40.3	19.9	11.1	3.6	16.9
	伊賀地域	346	20.8	28.6	39.0	19.4	8.7	1.7	27.7
	中南勢地域	1,006	19.2	29.6	42.7	18.6	12.3	2.8	17.7
	伊勢志摩地域	475	20.0	32.0	42.5	19.4	13.9	1.9	17.7
	東紀州地域	154	27.9	24.7	33.1	19.5	13.6	3.2	22.1

※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

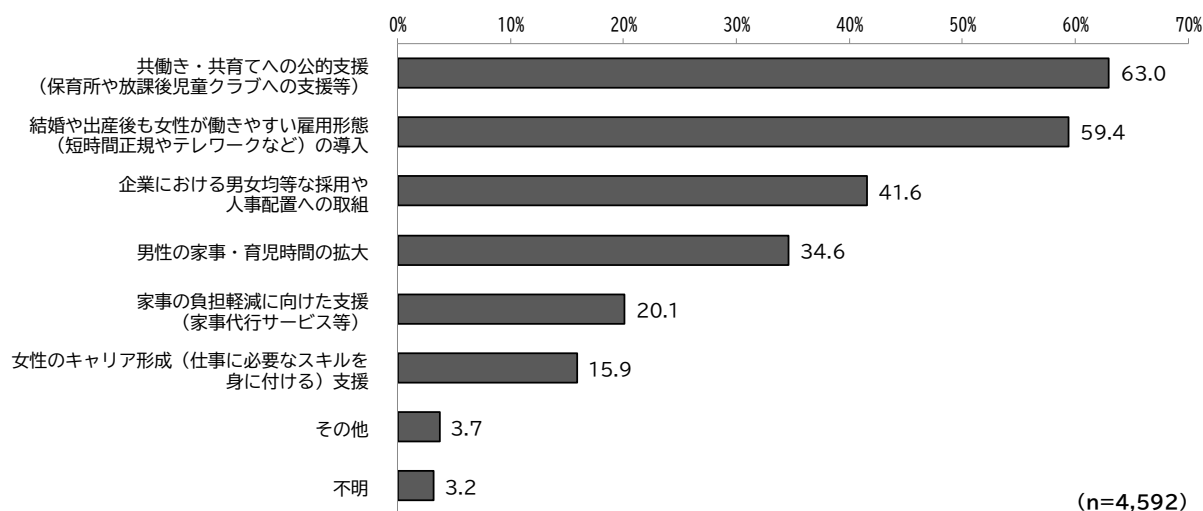
3.2 ジェンダーギャップの解消について

問 9 働く場などにおけるジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて、あなたは、今後どのようなことを進めていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

（○は3つまで）

- 働く場などにおけるジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきかについて質問したところ、「共働き・共育てへの公的支援（保育所や放課後児童クラブへの支援等）」の割合が 63.0%で最も高く、次いで「結婚や出産後も女性が働きやすい雇用形態（短時間正規やテレワークなど）の導入」（59.4%）、「企業における男女均等な採用や人事配置への取組」（41.6%）となっています。

図表 2-3-7 ジェンダーギャップの解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきか



※本質問の回答割合（%）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-8 ジェンダーギャップの解消に向けて、今後どのようなことを進めていくべきか（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）										
		合計	企業における男女均等な採用や人事配置への取組	結婚や出産後も女性が働きやすい雇用形態（短時間正規やテレワークなど）の導入	男性の家事・育児時間の拡大	女性のキャリア形成（仕事に必要なスキルを身に付ける）支援	共働き・子育てへの公的支援（保育所や放課後児童クラブへの支援等）	家事の負担軽減に向けた支援（家事代行サービス等）	その他	不明
全体		4,592	41.6	59.4	34.6	15.9	63.0	20.1	3.7	3.2
性別	男性	2,030	46.7	53.3	32.1	16.7	61.3	19.0	4.6	2.5
	女性	2,496	37.7	64.5	36.8	15.1	64.9	21.0	2.9	3.6
	その他	14	42.9	35.7	35.7	14.3	50.0	35.7	28.6	
年齢	18歳から20歳代	357	37.3	56.6	42.9	17.4	61.1	21.0	5.0	0.8
	30歳代	500	31.0	59.2	43.0	14.8	69.0	26.6	4.6	0.6
	40歳代	728	35.2	58.0	40.8	14.7	63.7	25.5	5.2	1.5
	50歳代	899	41.4	54.8	37.6	15.8	59.4	22.6	3.7	1.2
	60歳代	1,021	49.5	65.9	31.0	15.5	67.2	18.2	2.3	2.2
	70歳以上	997	45.0	59.7	24.4	17.0	60.9	12.7	3.4	8.8
配偶関係	未婚	761	41.7	52.4	36.1	18.9	56.0	22.7	5.0	2.2
	有配偶	3,298	41.9	62.0	35.1	15.1	65.8	19.7	3.4	2.5
	死別・離別	427	39.6	53.6	28.3	17.8	57.4	19.2	4.0	8.0
世帯類型	単身世帯	381	42.8	51.7	32.8	19.7	52.5	19.4	3.7	6.0
	一世代世帯	1,556	46.2	61.6	32.6	15.7	63.3	16.6	3.2	3.4
	二世帯世帯	2,202	37.7	58.9	37.1	15.4	64.8	23.0	3.8	2.5
	三世帯世帯	367	43.9	63.2	31.1	14.4	66.5	18.5	5.2	2.2
	その他	28	57.1	53.6	28.6	17.9	53.6	17.9	10.7	7.1
主な職業	農林水産業	82	42.7	64.6	25.6	9.8	70.7	11.0	1.2	4.9
	自営業、自由業	373	36.7	52.3	30.6	18.2	56.8	25.7	5.6	3.2
	正規職員	1,531	40.2	54.5	39.2	17.0	64.2	23.6	4.0	1.0
	パート・バイト・派遣	1,013	42.6	64.4	37.5	14.7	65.6	19.6	2.5	2.1
	その他の職業	159	44.7	61.6	36.5	17.6	64.2	15.1	4.4	2.5
	学生	114	35.1	60.5	47.4	16.7	58.8	21.9	5.3	0.9
	専業主婦・主夫	464	39.9	69.2	31.5	12.3	62.7	19.0	3.2	5.2
	無職	802	46.9	59.7	25.1	16.1	61.5	14.1	4.1	7.4
共働き	している	1,963	38.8	59.9	39.7	15.3	66.9	21.5	3.6	1.5
	していない	2,495	44.3	59.8	30.8	16.5	60.9	19.2	3.9	3.7
世帯年収	100万円未満	160	41.9	50.0	35.6	17.5	50.0	15.6	3.8	9.4
	～200万円未満	386	42.5	54.7	29.3	15.5	53.9	19.9	5.2	8.0
	～300万円未満	674	47.5	62.9	30.1	17.2	60.8	15.9	3.4	4.2
	～400万円未満	599	45.4	62.1	30.2	16.0	65.4	17.2	3.2	3.7
	～500万円未満	482	42.1	60.2	33.4	16.0	67.6	20.5	2.3	1.5
	～600万円未満	416	42.3	61.3	37.3	13.7	61.3	22.8	4.3	1.9
	～800万円未満	631	37.7	59.0	40.7	15.2	66.9	23.9	3.2	1.0
	～1,000万円未満	378	39.2	58.5	35.7	17.2	67.5	22.0	5.6	0.5
	1,000万円以上	406	34.5	57.6	41.6	18.5	66.3	23.6	3.9	0.7
	わからない	403	41.2	60.8	36.0	13.4	62.0	18.9	4.0	3.5
地域	北勢地域	2,148	41.5	59.6	34.2	16.1	63.5	20.1	3.5	2.7
	伊賀地域	438	44.5	58.4	37.0	17.8	60.0	19.9	3.4	4.3
	中南勢地域	1,240	41.1	60.0	36.4	15.8	64.2	21.8	4.2	1.9
	伊勢志摩地域	557	40.8	59.6	31.2	15.8	64.5	18.7	4.5	5.0
	東紀州地域	175	42.9	57.1	32.0	12.6	56.0	13.7	2.9	8.6

※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

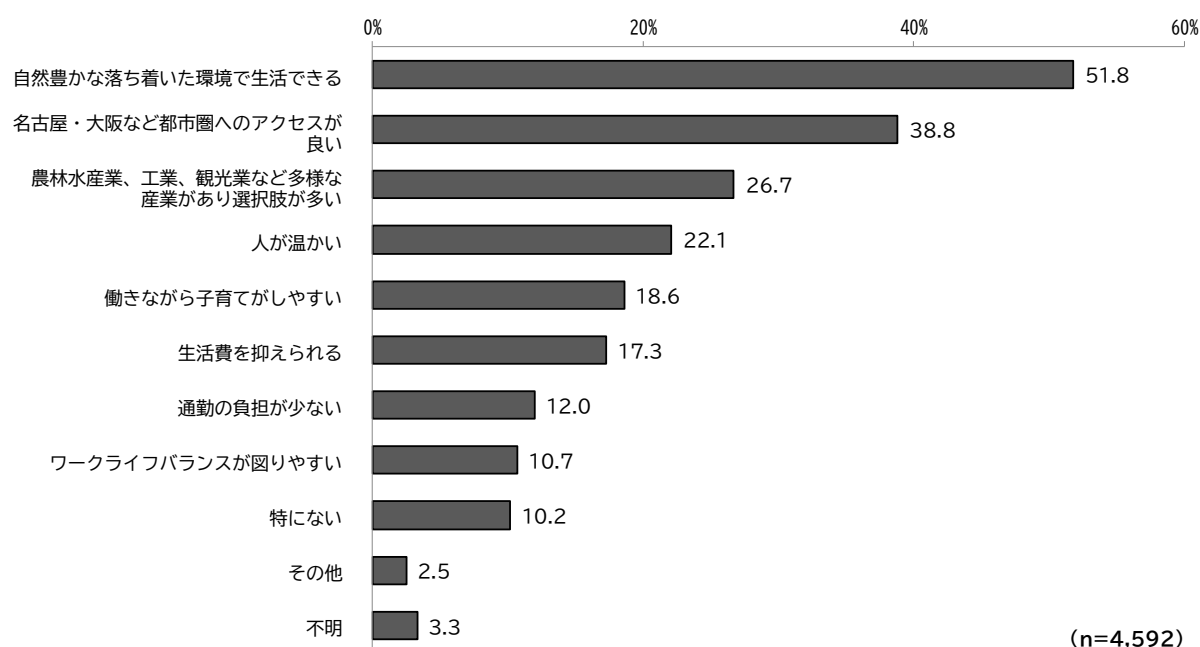
3.3 人材確保について

問10 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

- 三重県で働く方を増やすために、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うかについて質問したところ、「自然豊かな落ち着いた環境で生活できる」が51.8%で最も高く、次いで「名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い」(38.8%)、「農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い」(26.7%)となっています。

図表 2-3-9 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-10 「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思うか（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）											
		合計	自然豊かな 落ち着いた 環境で生活 できる	名古屋・大 阪など都市 圏へのアク セスが良い	農林水産 業、工業、 観光業など 多様な産業 があり選択 肢が多い	ワークライ フバランス が図りやす い	人が温かい	働きながら 子育てがし やすい	生活費を抑 えられる	通勤の負担 が少ない	特にない	その他	不明
全体		4,592	51.8	38.8	26.7	10.7	22.1	18.6	17.3	12.0	10.2	2.5	3.3
性別	男性	2,030	51.3	40.2	29.8	12.7	21.8	18.6	19.2	13.0	9.4	3.3	2.9
	女性	2,496	52.6	37.5	24.2	9.1	22.4	18.7	16.0	11.1	10.7	1.6	3.4
	その他	14	27.4	50.0	7.1	7.1	7.1	14.3	28.6	27.4	27.4	27.4	-
年齢	18歳から20歳代	357	45.4	47.6	20.7	13.2	19.3	12.3	20.2	10.1	12.9	2.8	1.7
	30歳代	500	41.8	42.6	21.8	12.8	18.0	17.2	21.2	10.2	12.4	3.0	2.0
	40歳代	728	47.3	36.3	22.1	15.4	20.5	18.1	20.2	12.0	12.6	3.6	1.9
	50歳代	899	50.9	38.7	26.0	10.2	19.4	17.0	15.8	11.0	12.0	2.0	2.6
	60歳代	1,021	58.6	38.0	30.7	11.4	23.6	21.4	17.2	12.9	7.7	2.1	2.7
	70歳以上	997	56.6	36.7	31.5	5.3	27.8	20.6	14.3	13.6	7.0	1.9	6.1
配偶関係	未婚	761	46.9	42.4	22.7	12.9	20.4	12.2	20.4	12.0	12.4	2.8	2.5
	有配偶	3,298	53.3	38.1	27.5	10.4	22.3	20.3	17.3	11.9	9.6	2.4	2.9
	死別・離別	427	48.7	37.7	26.2	9.4	22.7	16.6	12.2	12.9	11.7	2.8	6.6
世帯類型	単身世帯	381	48.8	38.1	24.9	10.8	21.0	14.4	17.6	11.3	10.8	2.1	5.8
	一世代世帯	1,556	54.2	38.8	27.6	8.8	23.0	20.2	17.5	12.6	8.5	2.8	3.5
	二世代世帯	2,202	50.8	39.3	25.8	12.0	21.1	18.1	17.9	12.1	11.3	2.1	2.5
	三世代世帯	367	53.4	36.8	29.2	10.9	25.9	20.2	13.6	9.5	10.4	1.9	2.5
	その他	28	39.3	25.0	25.0	14.3	21.4	17.9	21.4	14.3	7.1	14.3	10.7
主な職業	農林水産業	82	62.2	34.1	50.0	8.5	20.7	13.4	14.6	4.9	12.2	1.2	3.7
	自営業、自由業	373	51.2	36.7	24.1	8.6	24.1	19.3	15.3	11.8	11.8	4.6	3.5
	正規職員	1,531	50.4	42.3	25.5	14.6	19.3	18.4	20.0	11.2	9.6	2.6	1.7
	パート・バイト・派遣	1,013	49.8	37.3	26.2	9.7	22.1	17.0	15.7	13.4	12.0	0.9	3.2
	その他の職業	159	54.7	35.2	23.9	15.1	23.3	18.9	19.5	12.6	10.1	4.4	3.8
	学生	114	45.6	43.9	19.3	16.7	23.7	14.9	25.4	11.4	8.8	2.6	0.9
	専業主婦・主夫	464	56.0	35.8	26.7	6.7	22.0	21.8	16.4	9.5	9.1	1.7	3.9
	無職	802	54.6	36.9	29.9	6.5	26.4	20.0	15.1	13.8	8.9	3.1	5.4
共働き	している	1,963	51.8	38.7	25.4	12.3	21.2	19.2	18.0	11.8	10.7	2.5	1.9
	していない	2,495	52.3	39.0	27.9	9.5	22.8	18.4	17.2	12.0	9.7	2.4	3.7
世帯年収	100万円未満	160	53.1	36.3	28.1	1.9	25.0	15.6	14.4	10.0	10.0	3.1	9.4
	～200万円未満	386	53.1	30.1	22.0	8.8	23.8	21.5	17.4	13.0	11.9	2.3	6.5
	～300万円未満	674	54.0	37.2	29.7	8.2	27.4	16.9	14.1	14.5	9.2	2.4	4.2
	～400万円未満	599	55.1	40.2	31.6	9.7	24.4	19.4	14.4	12.5	7.8	2.5	2.8
	～500万円未満	482	51.7	37.6	29.0	11.6	18.7	20.1	19.3	12.0	10.4	3.1	2.5
	～600万円未満	416	52.6	39.2	26.4	10.8	21.2	18.8	16.1	11.5	7.9	2.4	3.6
	～800万円未満	631	51.0	40.7	24.7	11.4	20.3	19.3	18.2	10.5	11.9	2.5	1.4
	～1,000万円未満	378	52.1	43.4	27.0	14.0	20.4	18.5	24.1	10.8	8.2	2.9	1.3
	1,000万円以上	406	47.5	45.1	26.8	16.7	19.5	20.0	24.4	13.3	8.6	2.0	0.7
	わからない	403	45.2	38.5	20.6	10.2	19.6	15.1	13.2	9.2	17.4	2.0	2.7
地域	北勢地域	2,148	45.5	47.1	28.3	11.0	18.1	18.2	17.2	13.2	10.5	2.1	2.7
	伊賀地域	438	53.9	47.7	23.7	10.5	16.2	18.9	14.8	9.6	9.4	2.5	4.1
	中南勢地域	1,240	56.0	35.3	26.6	11.0	24.1	18.1	18.3	11.5	10.3	2.8	2.4
	伊勢志摩地域	557	60.0	16.9	25.7	9.3	33.2	19.7	17.4	9.5	10.2	2.3	5.2
	東紀州地域	175	68.0	11.4	19.4	9.1	36.6	24.6	19.4	12.0	7.4	4.6	5.7

※凡例： 第1位 第2位 第3位

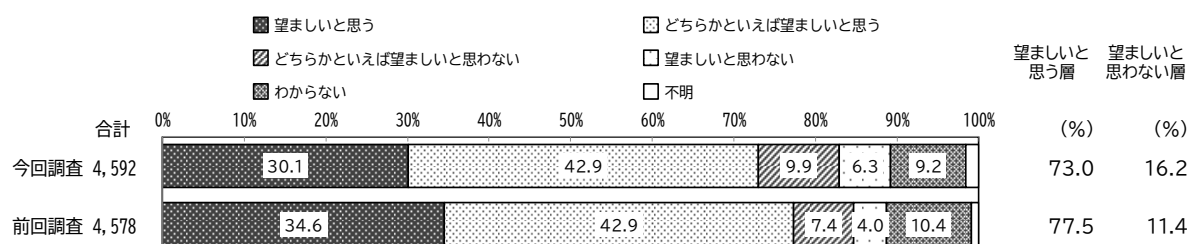
※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.4 共生社会について

問 11 あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく社会についてどう思いますか。

- 共生社会についてどう思うかについて質問したところ、「望ましいと思う層」の割合が 73.0% で、「望ましいと思わない層」の割合（16.2%）より 56.8 ポイント高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「望ましいと思う層」が 4.5 ポイント減少し、「望ましいと思わない層」が 4.8 ポイント増加しています。

図表 2-3-11 共生社会についてどう思うか



※「望ましいと思う層」の割合・・・「望ましいと思う」と「どちらかといえば望ましいと思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「望ましいと思わない層」の割合・・・「望ましいと思わない」と「どちらかといえば望ましいと思わない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合（%）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。

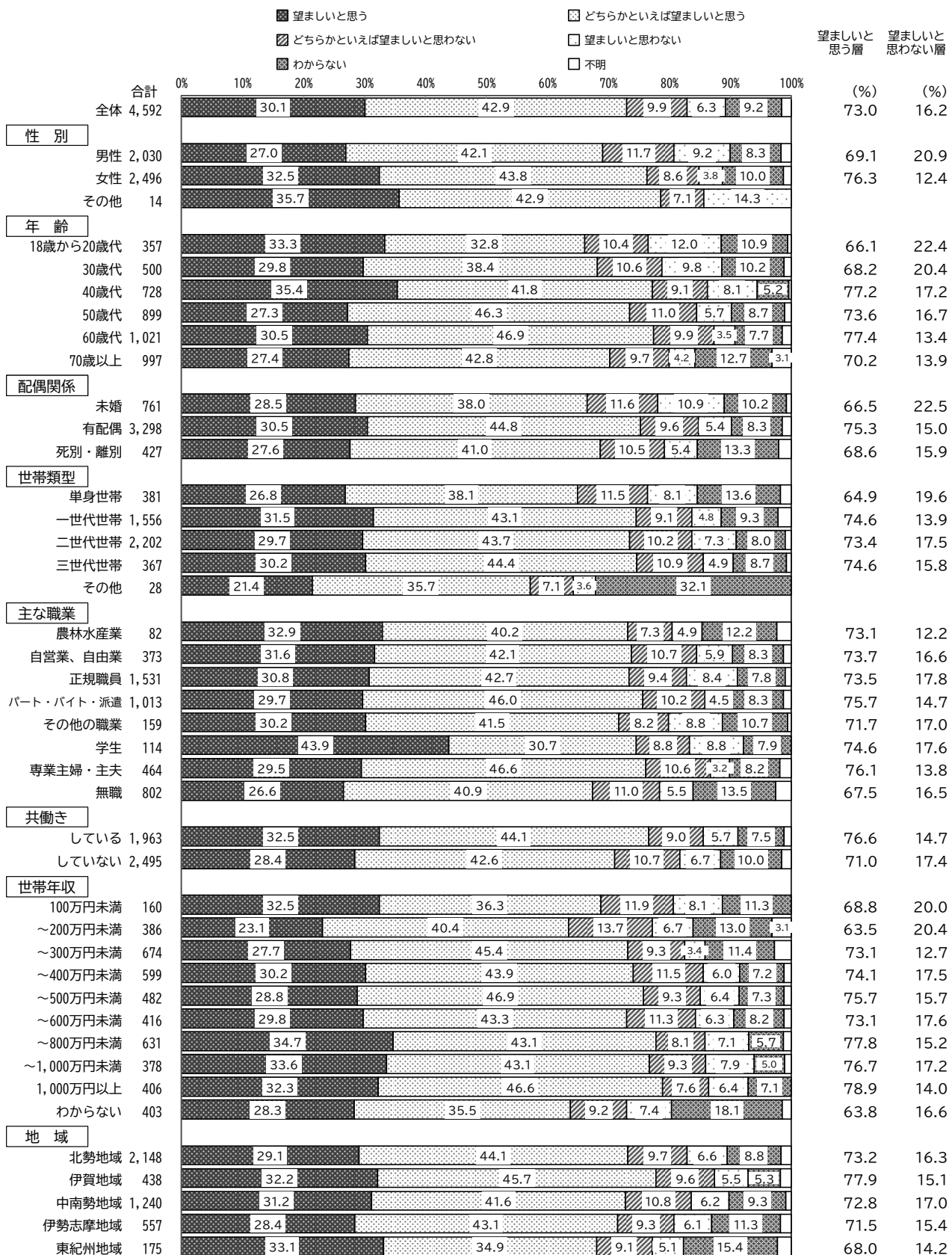
【年代別】

- すべての年代で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が高いのは 60 歳代（77.4%）、40 歳代（77.2%）で、最も低いのは 18 歳から 20 歳代（66.1%）となっています。

【地域別】

- すべての地域で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が最も高いのは伊賀地域（77.9%）で、最も低いのは東紀州地域（68.0%）となっています。

図表 2-3-12 共生社会についてどう思うか（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

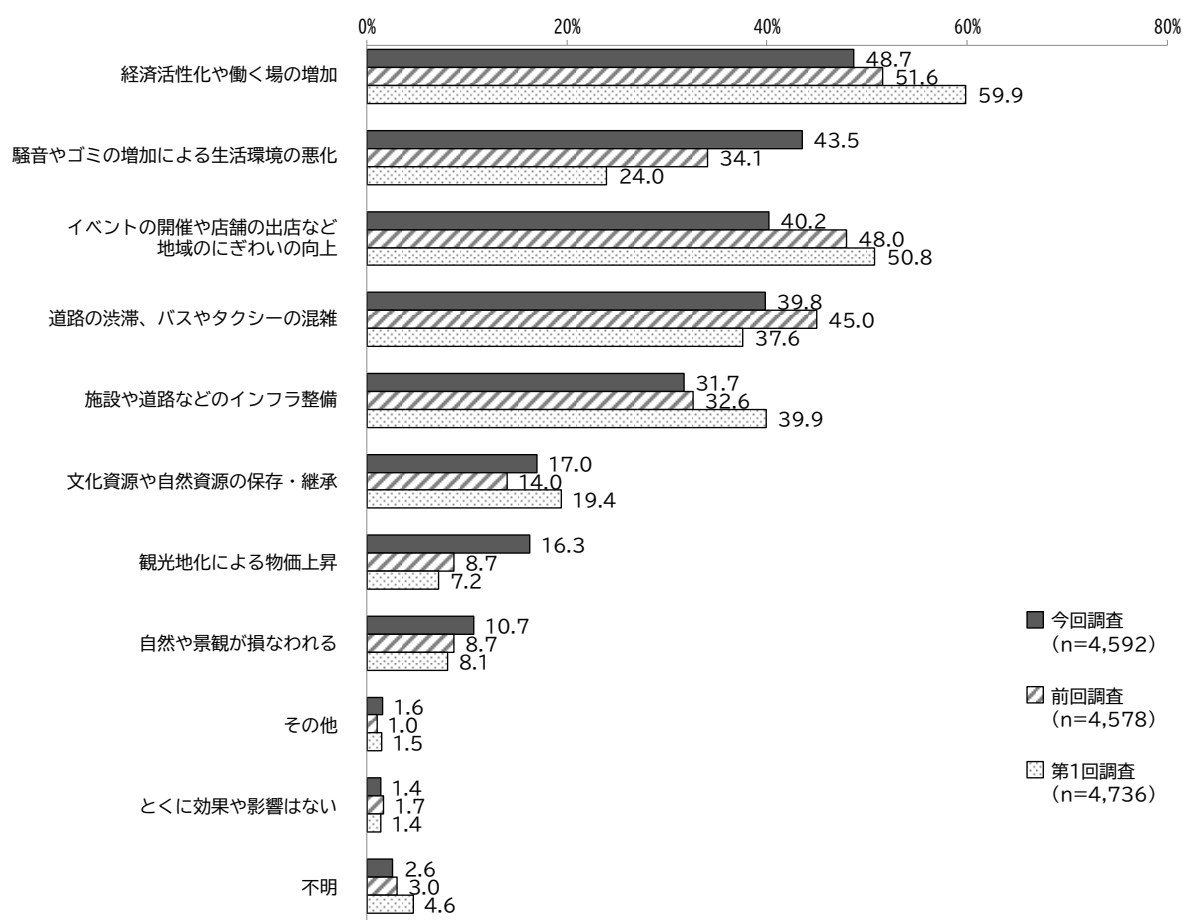
3.5 観光について

問 12 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

- 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うかについて質問したところ、「経済活性化や働く場の増加」が48.7%で最も高く、次いで「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(43.5%)、「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(40.2%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、主に「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(43.5%)、「観光地化による物価上昇」(16.3%)が増加し、「経済活性化や働く場の増加」(48.7%)、「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(40.2%)、「施設や道路などのインフラ整備」(31.7%)が減少しています。

図表 2-3-13 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-14 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）											
		合計	イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上	経済活性化や働く場の増加	施設や道路などのインフラ整備	文化資源や自然資源の保存・継承	騒音やゴミの増加による生活環境の悪化	道路の渋滞、バスやタクシーの混雑	自然や景観が損なわれる	観光地化による物価上昇	とくに効果や影響はない	その他	不明
全体		4,592	40.2	48.7	31.7	17.0	43.5	39.8	10.7	16.3	1.4	1.6	2.6
性別	男性	2,030	40.7	45.5	34.6	17.7	46.3	39.6	12.3	16.1	1.5	2.2	2.4
	女性	2,496	39.9	51.4	29.4	16.3	41.4	40.2	9.6	16.5	1.2	1.0	2.6
	その他	14	35.7	42.9	64.3	14.3	50.0	35.7	7.1	7.1	-	7.1	-
年齢	18歳から20歳代	357	46.8	40.3	26.9	11.5	46.5	40.3	12.0	21.8	2.2	1.7	1.4
	30歳代	500	45.4	49.6	28.8	9.0	44.6	45.6	8.6	18.2	0.8	2.0	1.0
	40歳代	728	46.2	51.9	31.2	12.6	47.3	47.8	8.9	18.1	0.3	1.8	1.2
	50歳代	899	39.9	51.8	32.3	12.5	42.8	45.1	9.7	16.4	0.4	1.8	2.1
	60歳代	1,021	37.4	51.3	34.5	21.2	43.4	40.6	12.0	14.8	1.1	1.0	2.0
	70歳以上	997	35.7	43.6	32.0	25.8	40.5	26.2	12.3	13.5	3.2	1.6	5.5
配偶関係	未婚	761	40.6	41.3	28.4	12.1	48.8	40.9	13.7	20.0	1.4	2.6	2.0
	有配偶	3,298	40.9	50.3	32.6	18.2	42.8	40.6	9.9	15.6	1.3	1.2	2.2
	死別・離別	427	36.5	47.5	30.7	16.4	41.7	34.7	11.5	16.2	1.9	1.9	4.9
世帯類型	単身世帯	381	42.3	47.0	28.3	19.7	40.4	32.5	10.2	17.3	1.8	2.4	3.7
	一世代世帯	1,556	39.4	49.2	32.6	19.2	40.9	37.5	10.7	14.1	1.9	1.5	3.0
	二世代世帯	2,202	40.1	49.8	31.8	15.1	45.6	42.8	10.9	17.6	1.0	1.5	1.9
	三世代世帯	367	43.9	44.4	31.6	15.0	45.8	40.9	11.2	15.8	0.8	1.1	3.0
	その他	28	32.7	32.7	21.4	17.9	46.4	35.7	10.7	25.0	-	3.6	7.1
主な職業	農林水産業	82	36.6	50.0	30.5	19.5	35.4	31.7	8.5	9.8	6.1	1.2	4.9
	自営業、自由業	373	41.6	52.8	32.4	20.1	37.5	32.2	10.5	15.3	1.3	2.1	3.2
	正規職員	1,531	43.8	51.2	33.1	13.2	44.6	45.9	9.8	16.9	0.7	1.9	1.2
	パート・バイト・派遣	1,013	38.8	50.8	30.9	16.2	44.9	42.7	9.6	15.8	0.9	0.8	2.6
	その他の職業	159	40.3	47.2	35.8	13.2	43.4	37.1	8.8	20.1	0.6	2.5	2.5
	学生	114	50.9	43.0	28.9	11.4	45.6	36.0	9.6	23.7	1.8	1.8	0.9
	専業主婦・主夫	464	37.7	49.4	28.9	21.8	39.7	40.3	11.4	15.9	0.9	1.3	2.4
	無職	802	35.4	40.4	31.4	22.1	45.8	30.0	14.6	15.3	3.2	1.7	4.6
共働き	している	1,963	42.9	53.7	33.2	15.2	42.0	43.4	8.5	16.3	0.7	1.2	1.8
	していない	2,495	38.5	45.2	30.9	18.3	45.1	37.8	12.5	16.5	1.8	1.9	2.6
世帯年収	100万円未満	160	46.9	42.5	27.5	17.5	46.9	27.5	20.0	13.8	1.3	1.9	3.1
	～200万円未満	386	33.7	39.4	30.1	17.6	45.1	31.1	13.7	18.4	2.6	2.3	6.2
	～300万円未満	674	37.5	44.8	31.3	21.1	40.4	33.1	11.0	15.6	2.2	2.1	3.7
	～400万円未満	599	39.7	51.3	33.4	20.0	42.4	35.6	9.8	16.2	1.2	1.7	2.3
	～500万円未満	482	38.0	49.6	33.0	17.8	43.4	39.4	12.4	17.2	0.8	2.1	1.7
	～600万円未満	416	37.5	47.1	34.1	16.6	44.7	44.7	10.8	14.4	0.5	1.9	2.4
	～800万円未満	631	44.8	53.1	32.5	12.2	43.3	46.3	8.2	16.3	1.0	1.0	1.6
	～1,000万円未満	378	46.6	54.5	30.7	15.1	41.8	51.1	7.9	15.6	0.5	1.1	1.1
	1,000万円以上	406	44.1	60.3	37.7	17.2	39.2	43.8	7.4	15.5	0.7	0.5	0.5
	わからない	403	39.7	40.7	25.1	14.4	51.9	41.4	12.2	18.9	2.7	1.2	2.5
地域	北勢地域	2,148	37.3	46.9	30.9	16.5	45.5	44.0	11.0	16.8	1.4	1.5	2.5
	伊賀地域	438	41.8	48.4	34.5	22.8	40.2	34.2	11.2	17.1	0.9	0.9	2.7
	中南勢地域	1,240	43.7	49.6	31.6	16.6	44.6	37.4	10.6	14.5	1.0	1.9	1.9
	伊勢志摩地域	557	42.5	53.1	32.0	13.5	37.9	40.9	10.2	19.9	1.3	1.4	3.2
	東紀州地域	175	44.6	52.6	36.0	25.1	36.0	15.4	8.0	12.6	4.6	2.3	5.7

※凡例： 第1位 第2位 第3位

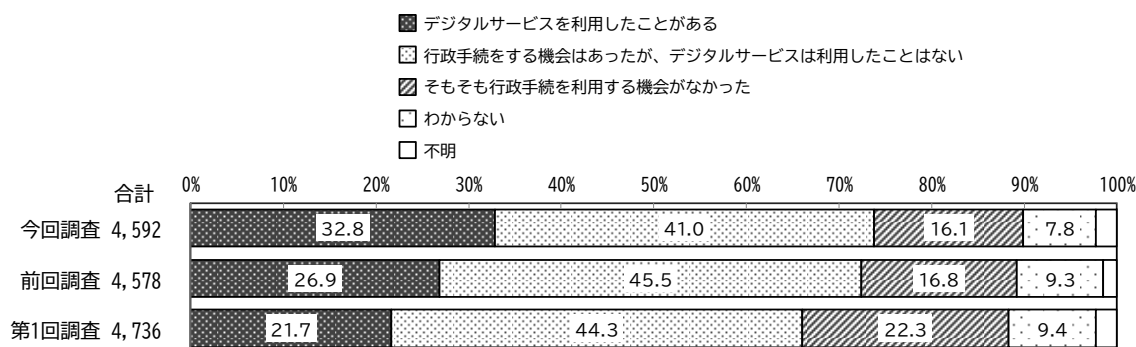
※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.6 デジタルの活用について

問13 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

- 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるかについて質問したところ、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が41.0%で最も高く、次いで「デジタルサービスを利用したことがある」(32.8%)、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.1%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、「デジタルサービスを利用したことがある」(32.8%)は第1回調査から増加傾向にあり、第2回調査からは5.9ポイント増加しています。「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」(41.0%)は第2回調査から4.5ポイント減少、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.1%)は0.7ポイント減少しています。

図表 2-3-15 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか



※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。男性では「デジタルサービスを利用したことはある」(38.0%)の割合が女性と比較して高くなっています。

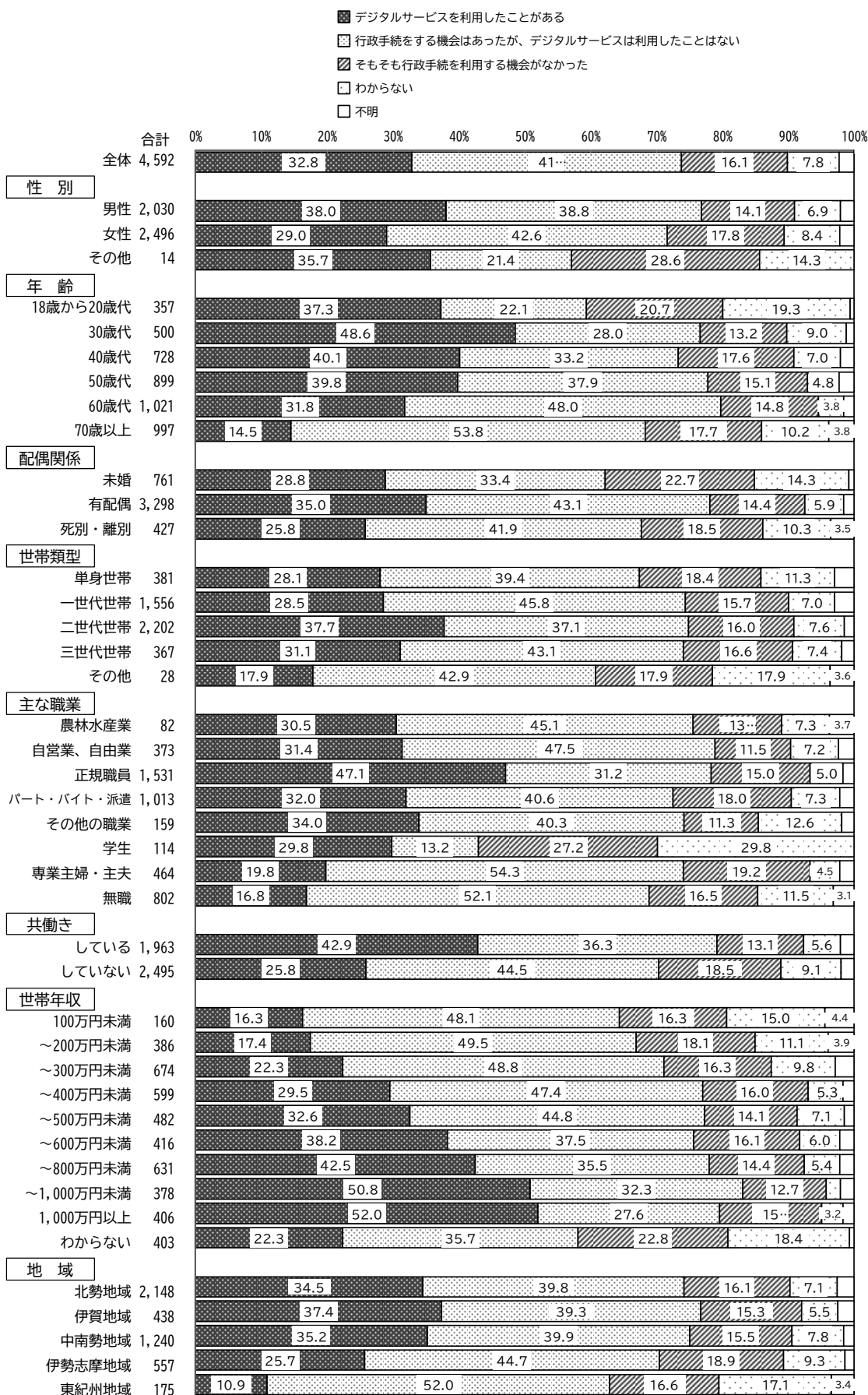
【年代別】

- 60歳代以上で「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。それ以外の年代では「デジタルサービスを利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。特に、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高い地域は東紀州地域(52.0%)で、最も低い地域は伊賀地域(39.3%)となっています。

図表 2-3-16 行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか（属性別）

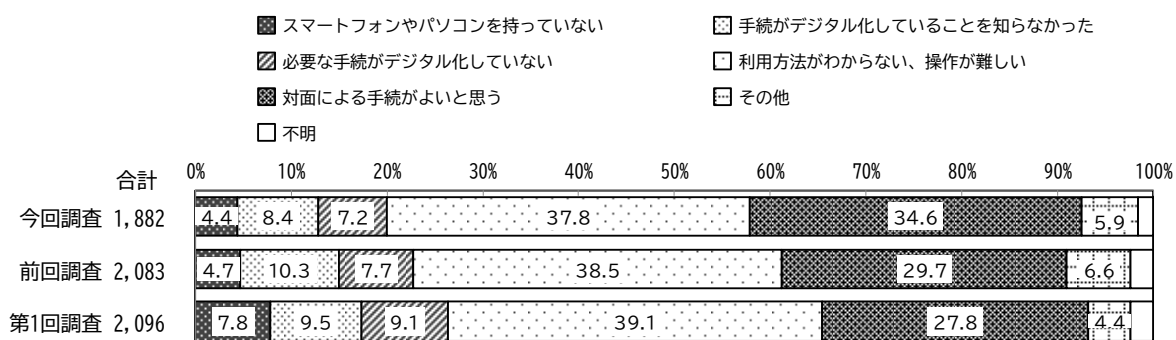


※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

問 13-2 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由は何ですか。

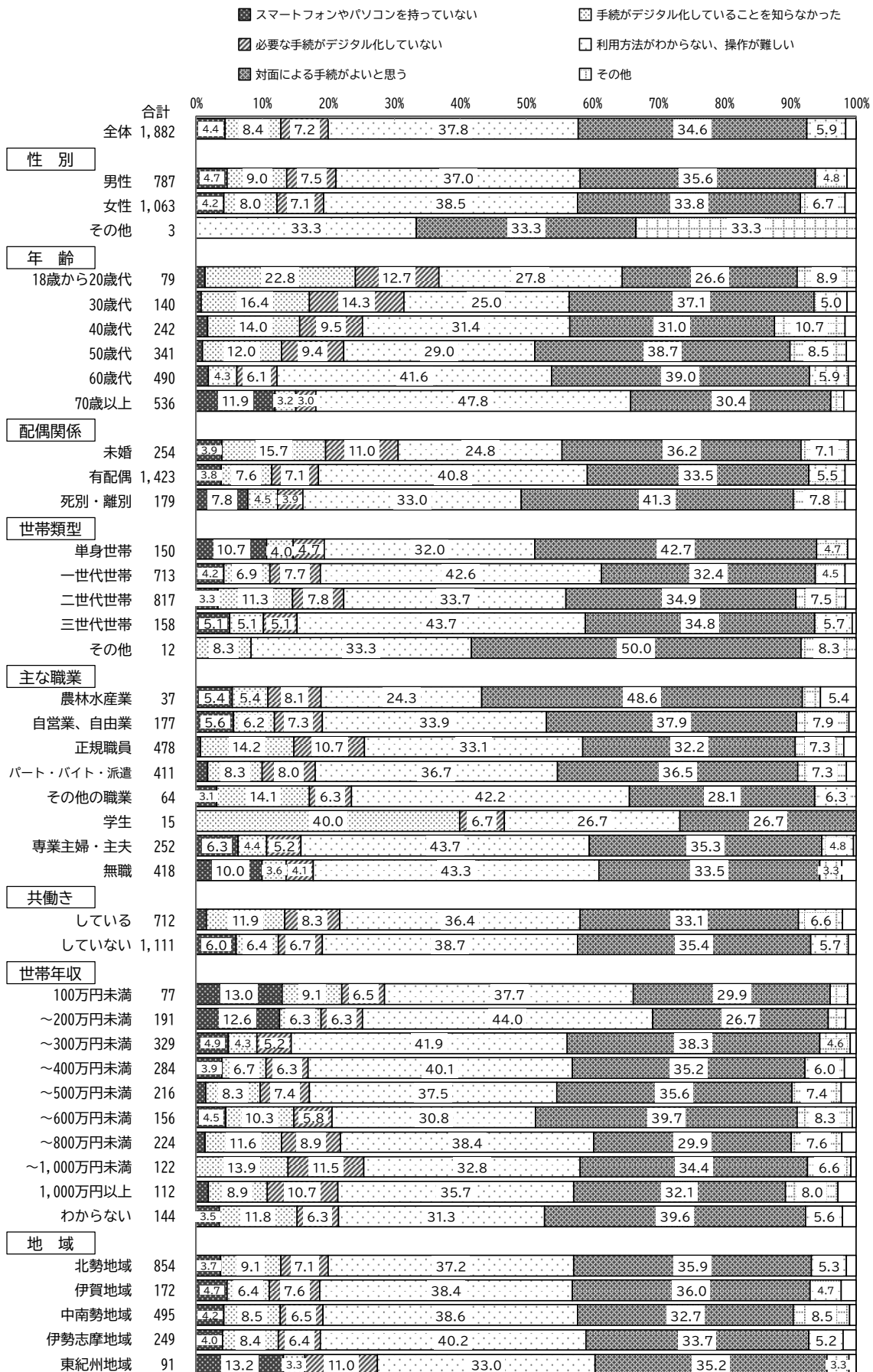
- 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由について質問したところ、「利用方法がわからない、操作が難しい」の割合が37.8%で最も高く、次いで「対面による手続きがよいと思う」(34.6%)、「手続きがデジタル化していることを知らなかった」(8.4%)となっています。
- 過去の調査と比較すると、「対面による手続きがよいと思う」(34.6%)は第1回調査より増加傾向にあり、第2回調査からは4.9ポイント増加しています。「利用方法がわからない、操作が難しい」(37.8%)は第1回調査より微減傾向にあります。

図表 2-3-17 行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 2-3-18 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由（属性別）



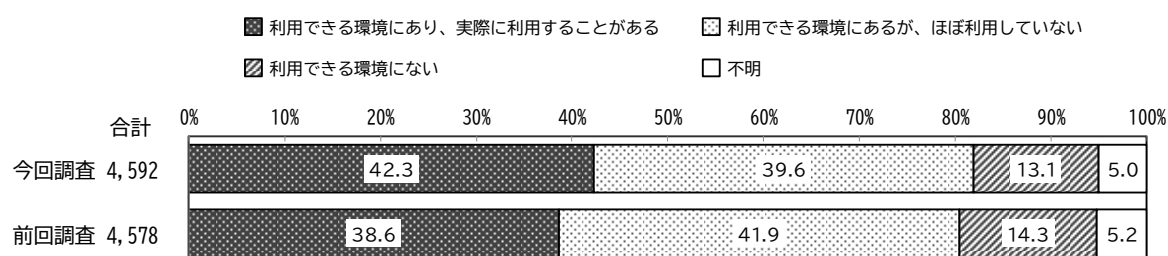
※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.7 公共交通について

問 14 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。

- お出かけの際に、鉄道を利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」が42.3%で最も高く、次いで「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(39.6%)、「利用できる環境にない」(13.1%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(42.3%)は3.7ポイント増加しています。「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(39.6%)は2.3ポイント減少しています。

図表 2-3-19 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合が最も高くなっています。男性では「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合(41.1%)が女性と比較して2.2ポイント高くなっています。

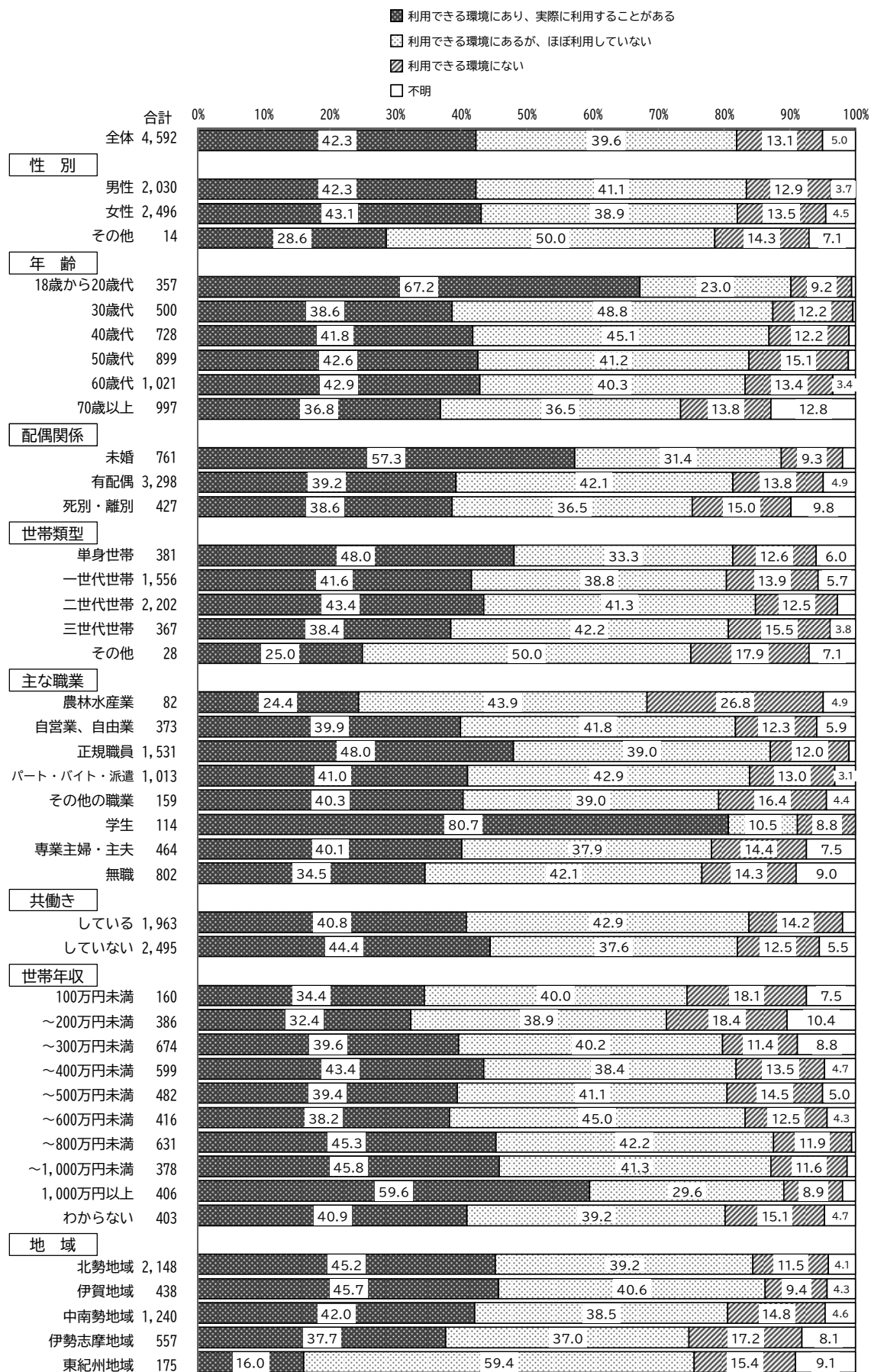
【年代別】

- 18歳から20歳代、および50歳代以上で「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合が最も高くなっています。30歳代、40歳代では「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高くなっています。

【地域別】

- 「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合は伊賀地域(45.7%)が最も高く、東紀州地域(16.0%)が最も低くなっています。

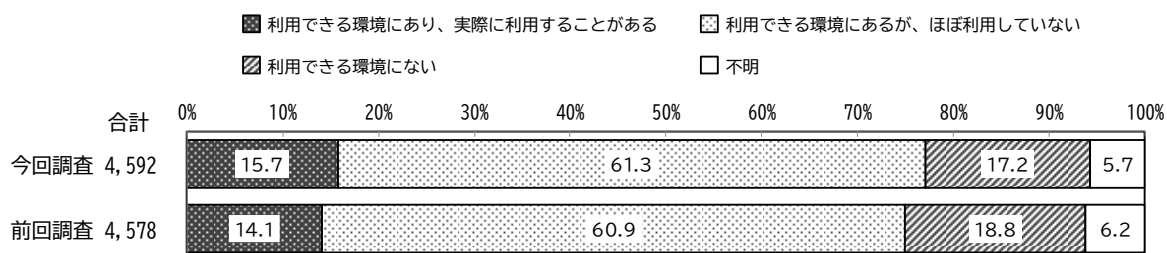
図表 2-3-20 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

- お出かけの際に、バスを利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」が61.3%で最も高く、次いで「利用できる環境にない」(17.2%)、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(15.7%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」(61.3%)が引き続き最も高くなっています。「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(15.7%)は1.6ポイント増加、「利用できる環境にない」は1.6ポイント減少しています。

図表 2-3-21 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】



※本質問の回答割合(%)は、不明(未記入など)も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高く、次いで「利用できる環境にない」「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」となっており、3項目いずれも男女でほとんど差はみられません。

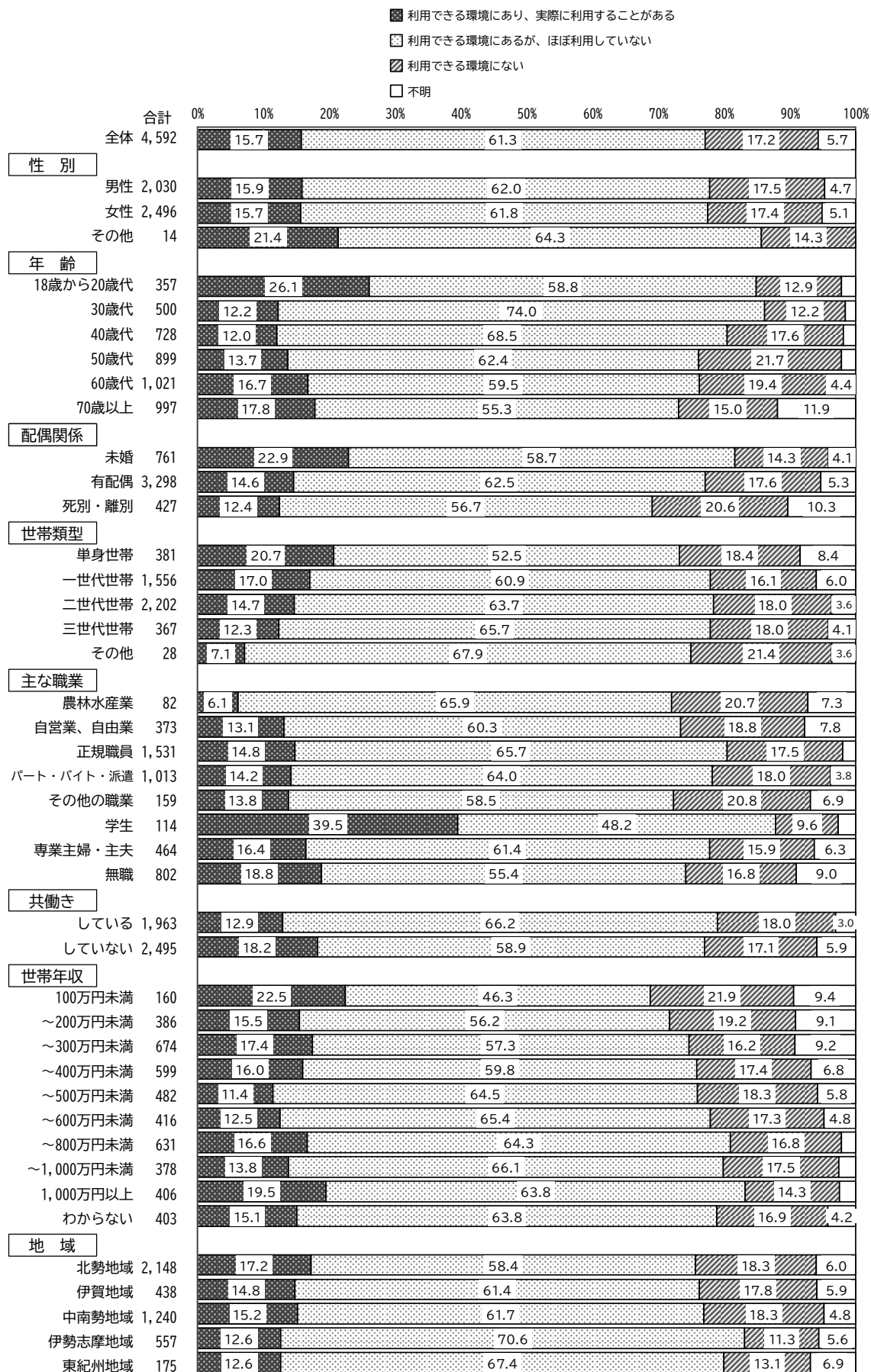
【年代別】

- すべての年代で「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が高くなっています。また、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高いのは30歳代(74.0%)で、最も低いのは70歳以上(55.3%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高くなっています。また、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高い地域は伊勢志摩地域(70.6%)で、最も低い地域は北勢地域(58.4%)となっています。

図表 2-3-22 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】(属性別)



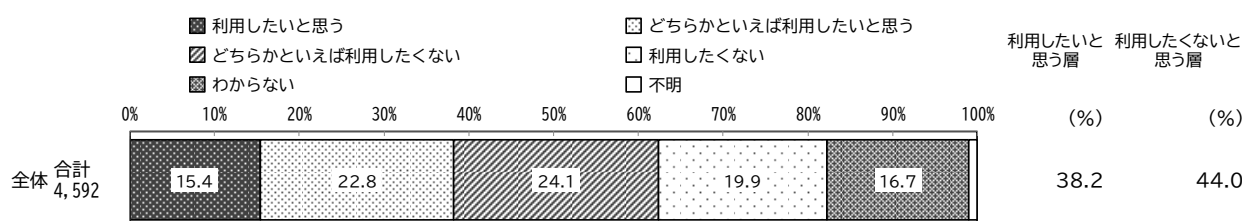
※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

3.8 公共ライドシェアについて

問 15 あなたは、お住まいの市町が、タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地（地域のスーパーや病院等）まで送迎してくれるサービスを実施した場合、利用したいと思いますか。

- タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地まで送迎してくれるサービスを利用したいと思うかについて質問したところ、「利用したいと思う層」の割合が 38.2%で、「利用したいと思わない層」の割合（44.0%）より 5.8 ポイント低くなっています。

図表 2-3-23 公共ライドシェアサービスの利用意向



※「利用したいと思う層」の割合・・・「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「利用したいと思わない層」の割合・・・「利用したいと思わない」と「どちらかといえば利用したいと思わない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 性別にかかわらず「利用したいと思わない層」の割合が高く、男女による差はほとんどみられません。男性では「利用したいと思う層」の割合（39.6%）が女性より 2.1 ポイント高くなっています。

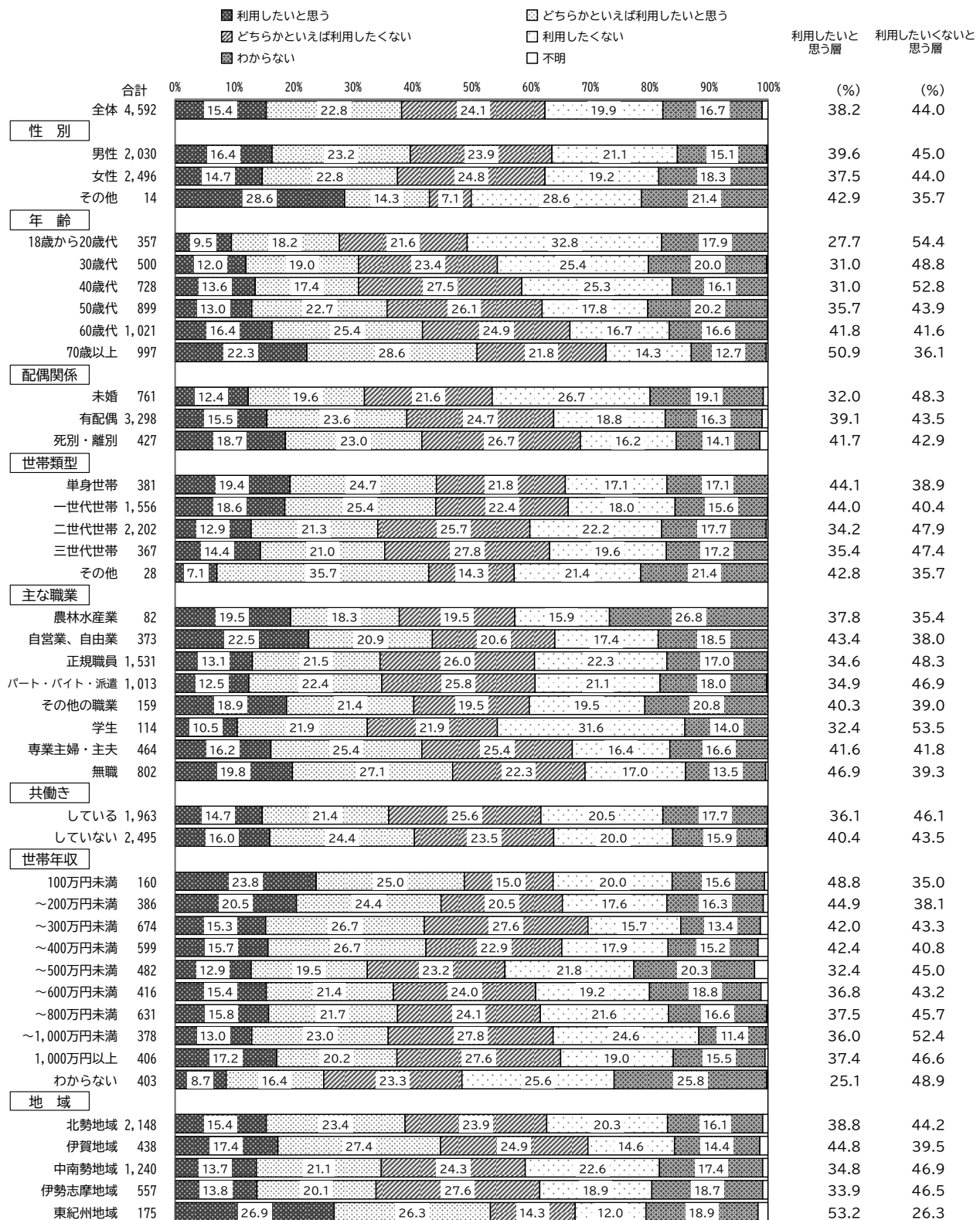
【年代別】

- 60 歳代以上で「利用したいと思う層」の割合が高く、70 歳以上（50.9%）で最も高くなっています。また、「利用したいと思わない層」の割合が最も高いのは 18 歳から 20 歳代（54.4%）で、次いで 40 歳代（52.8%）となっています。

【地域別】

- 伊賀地域、東紀州地域で「利用したいと思う層」の割合が高く、東紀州地域（53.2%）で最も高くなっています。また、「利用したいと思わない層」の割合が最も高いのは中南勢地域（46.9%）で、次いで伊勢志摩地域（46.5%）となっています。

図表 2-3-24 公共ライドシェアサービスの利用意向（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「わからない」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

Ⅱ 集計結果

4. 結婚や子ども・子育て について

4. 結婚や子ども・子育てについて

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていく必要があります。

ここでは、「結婚に対する考え方」や「子ども・子育て」などの集計結果について記載しています。

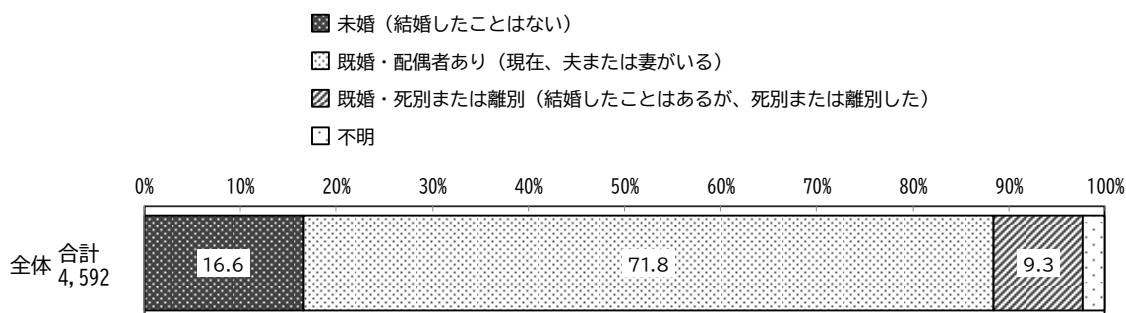
項目	質問文の概要
結婚経験 (問4)	これまでに結婚をしたことがあるか
結婚に対する 考え方 (問4-2)	(問4で「未婚」と回答した方へ) 今後の人生を通して考えた場合、結婚に対する考えは、次のうちどちらか (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない
結婚していない理由 (問4-3)	現在、結婚していない理由は何か
結婚相手を探すための方法 (問4-4)	結婚相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはありますか
理想の子どもの人数 (問5)	子どもを何人くらいほしいか、あるいは、ほしかったか
実際の子どもの人数 (問6)	子どもの有無
地域社会の見守りの中で の子育て (問7)	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか
子育てと仕事の両立について (問8)	子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思うか

4.1 結婚について

問4 あなたは、これまでに結婚したことはありますか。

- 回答者の配偶関係は、「未婚」が16.6%、「有配偶」が71.8%、「死別または離別」9.3%となっています。

図表 2-4-1 配偶関係



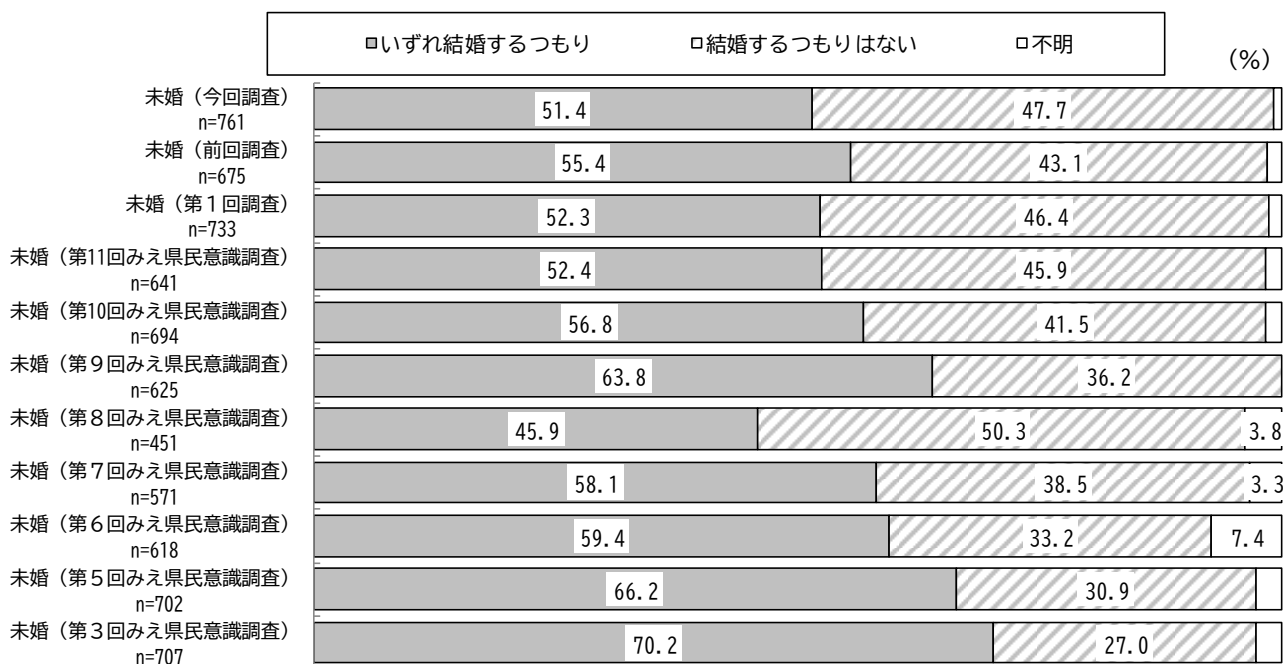
※本質問の回答割合（%）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

問4-2 これまでに結婚したことがない方（問4で「未婚」を選んだ方）におきします。

今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

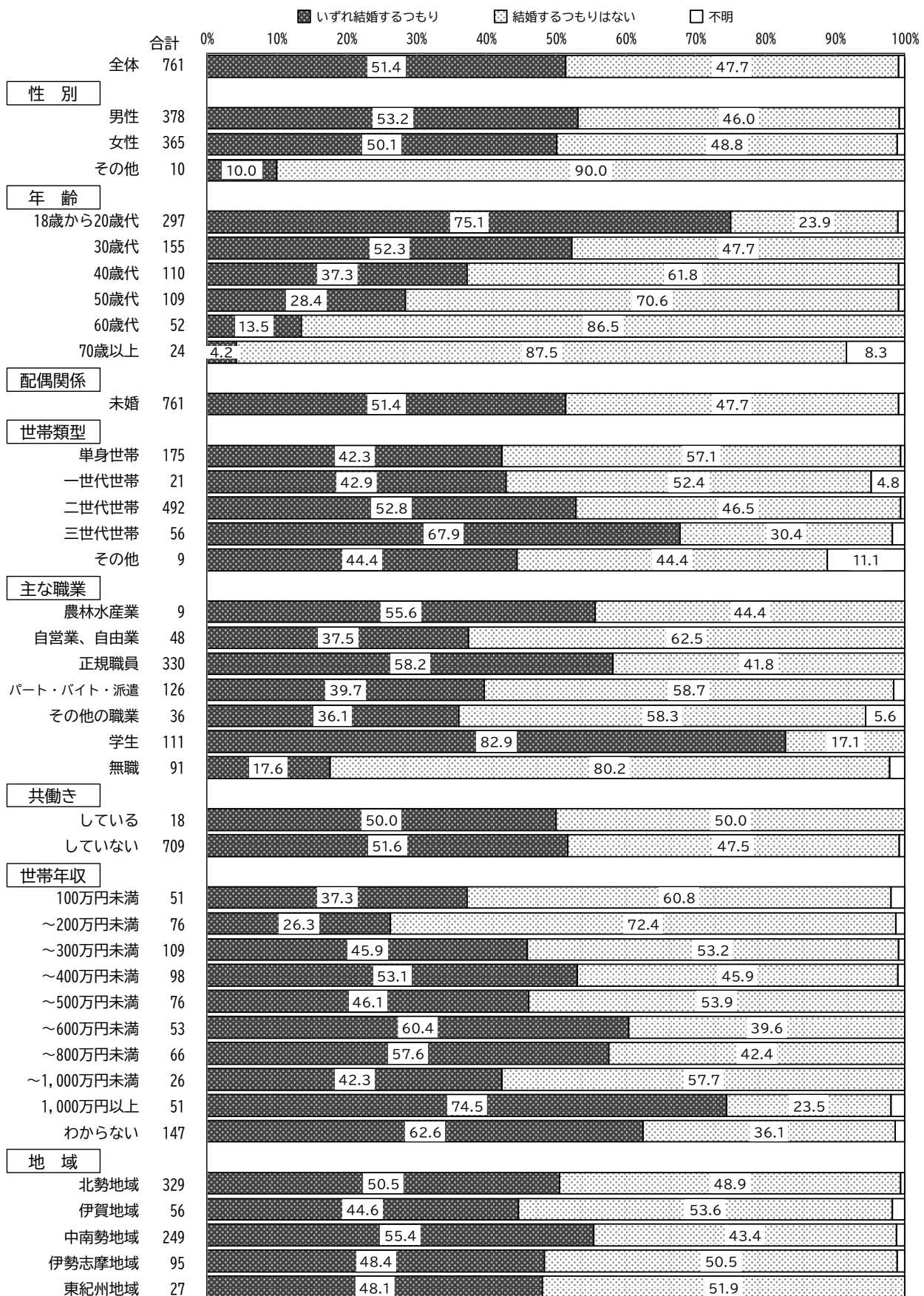
- 結婚に対する考え方について、未婚の方は「いずれ結婚するつもり」が51.4%、「結婚するつもりはない」が47.7%となっています。

図表 2-4-2 未婚の方の結婚に対する考え方



※本質問の回答割合（%）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 2-4-3 未婚の方の結婚に対する考え方（属性別）



※本質問の回答割合（％）は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

※グラフのない項目は、該当がないかサンプル数が10未満のため、公表を差し控えたものです。

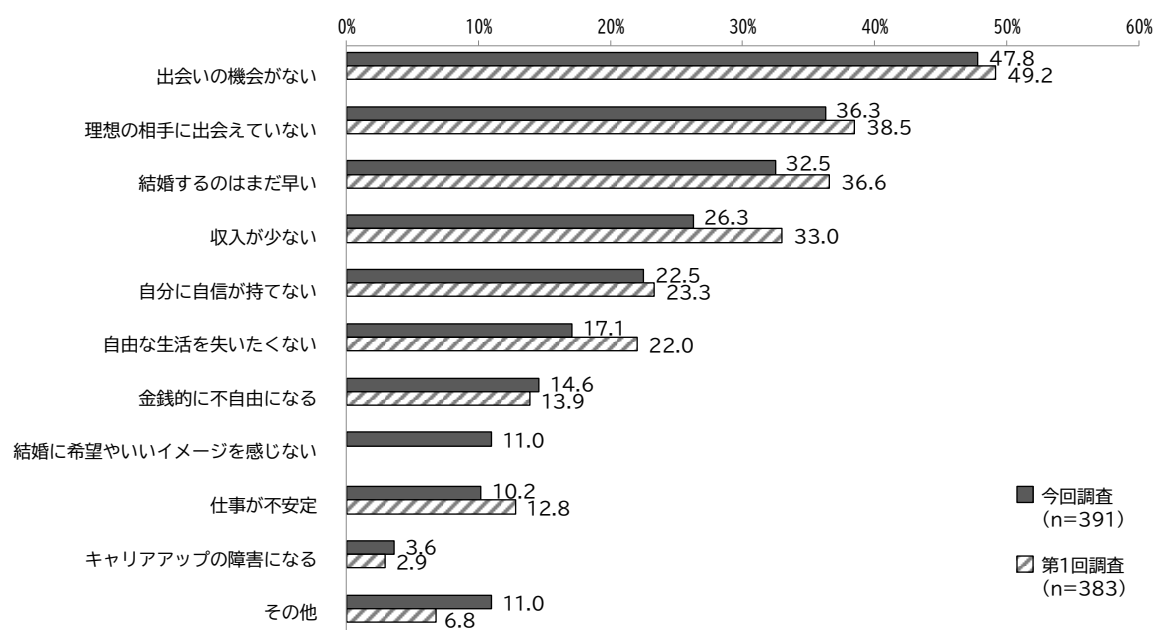
問4-3 問4で「いずれ結婚するつもり」を選んだ方におききします。

現在、結婚していない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- 現在、結婚していない理由について、「出会いの機会がない」が47.8%、「理想の相手に出会えていない」が36.3%となっています。

図表 2-4-4 現在、結婚していない理由



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

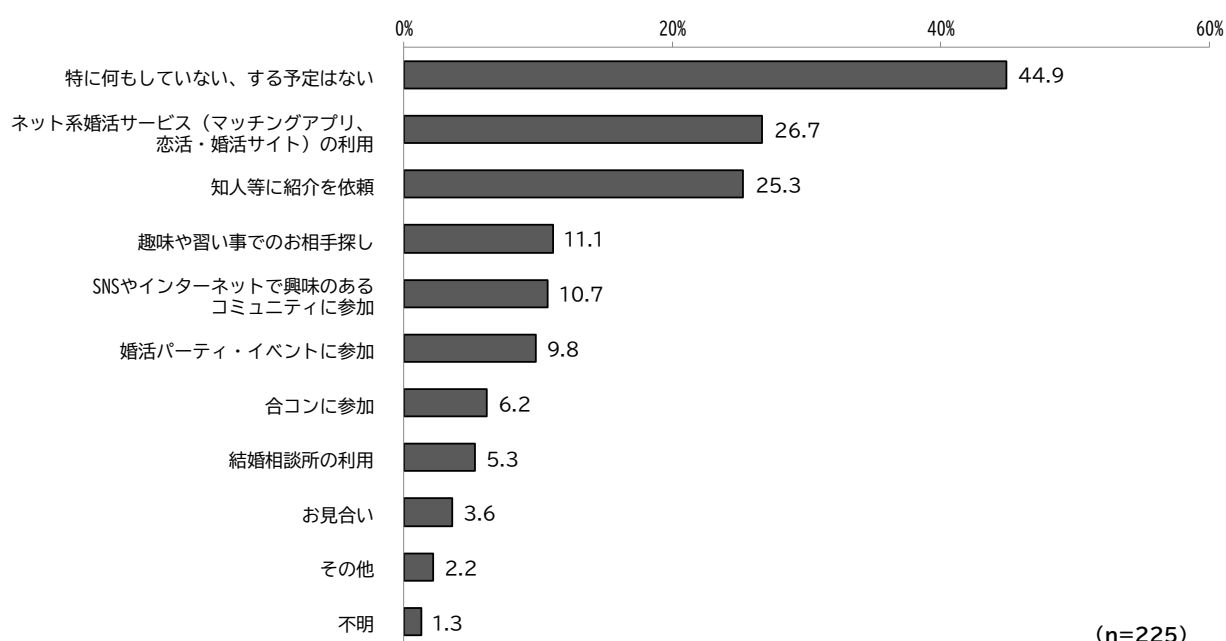
問4-4 問4-3で「出会いの機会がない」または「理想の相手に出会えていない」を選んだ方におきします。

ご自身がお相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはありますか。

(〇はいくつでも)

- 結婚相手を探すための方法について、「特に何もしていない、する予定はない」が44.9%、「ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用」が26.7%となっています。

図表 2-4-5 結婚相手を探すための方法



※本質問の回答割合（%）は、「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

4.2 子ども・子育て支援について

問5 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子ども的人数をお答えください。

➤ 子どもを希望する割合

○ 子どもを希望を質問したところ、「ほしい・ほしかった」の割合は72.8%で、前回調査より0.1ポイント低くなっています。

図表 2-4-6 子どもを希望する割合

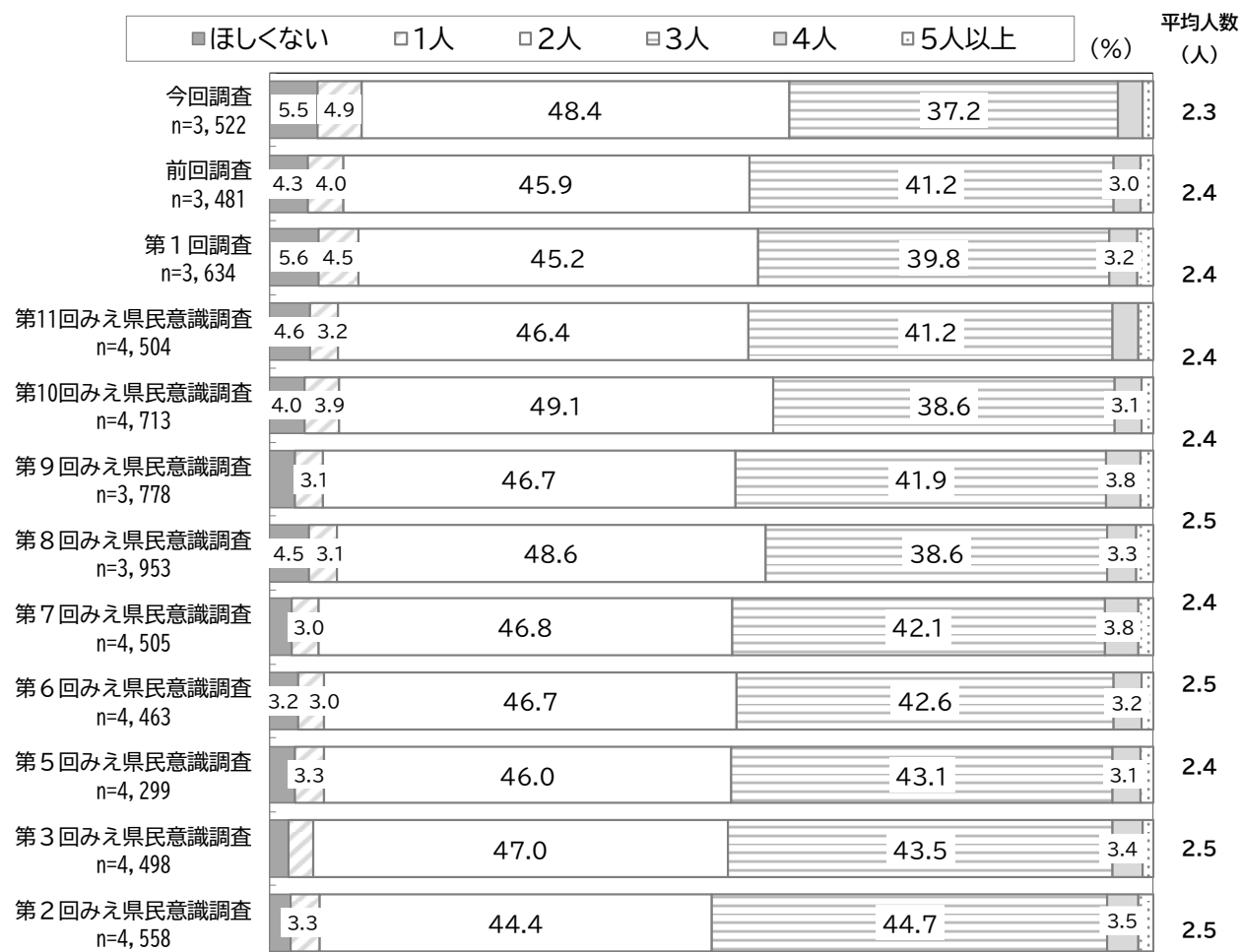


※第11回みえ県民意識調査以前は「わからない」と「不明」を合算し、「わからない」で計上

➤ 理想の子ども数

- 理想の子ども数について、「2人」の割合が48.4%で最も高く、次いで「3人」(37.2%)となっています。前回調査と比較すると「2人」の割合は2.5ポイント高く、「3人」の割合は4.0ポイント低くなっています。

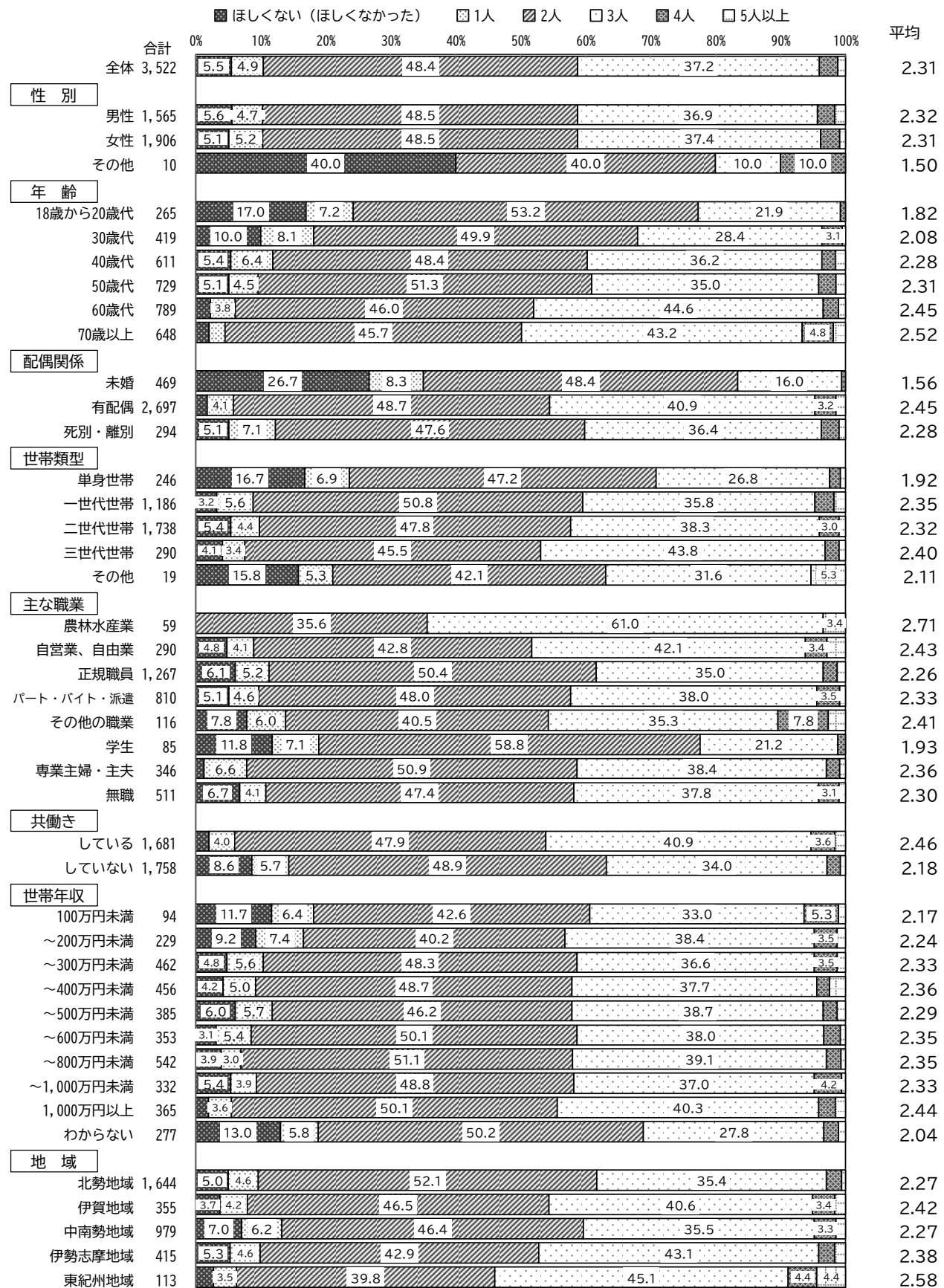
図表 2-4-7 理想の子ども数の推移



※理想の子ども人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

図表 2-4-8 理想の子ども数（属性別）



※理想の子ども数の人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

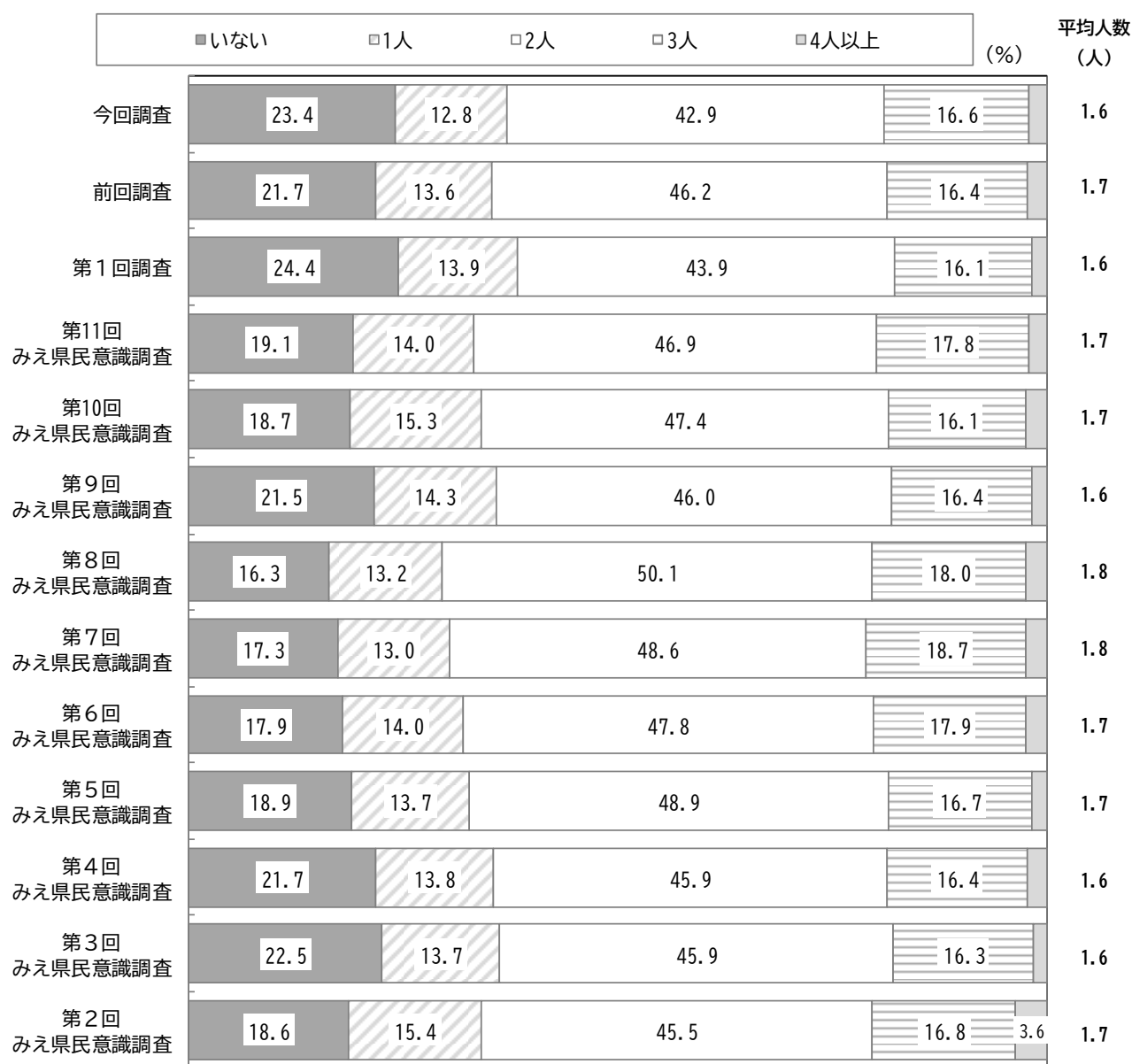
問6 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

➤ 子どもの数

○ 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が42.9%、「いない」が23.4%、「3人」が16.6%、「1人」が12.8%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.6人で、前回調査より0.1ポイント低くなっています。

図表 2-4-9 子どもの数

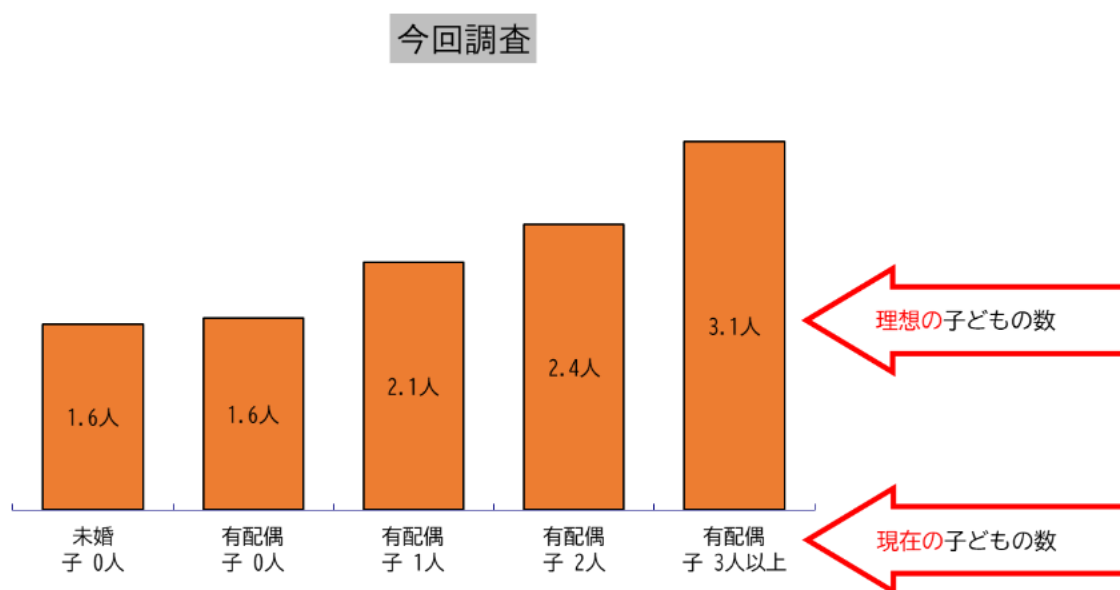


※「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出

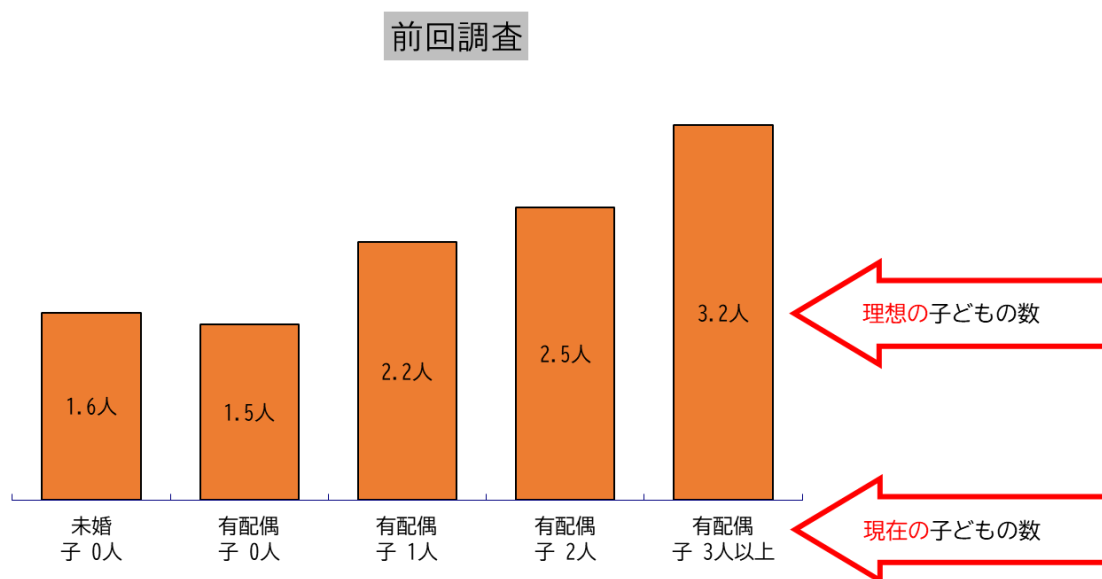
子どもの数の理想と現実のギャップ（参考集計）

- 18歳以上から40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもがいない層と有配偶で子どもがいない層で1.6人、有配偶で子ども1人の層は2.1人、有配偶で子ども2人の層は2.4人で、実際の子どもの数は理想の数より少なくなっています。また、前回調査と比べると、理想の子どもの数は、有配偶で子どもがいない層で0.1人増加し、有配偶で子どもがいる層でそれぞれ0.1人減少しています。

図表 2-4-10 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（今回調査）



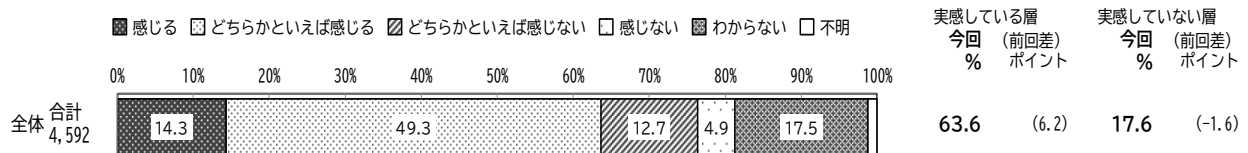
図表 2-4-11 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（前回調査）



問7 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

- 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるかについて質問したところ、「実感している層」が63.6%で、「実感していない層」(17.6%)より46.0ポイント高くなっています。

図表 2-4-12 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「実感している層」の割合が高くなっています。また、男性と比較して女性では「実感している層」の割合(64.8%)が高くなっています。

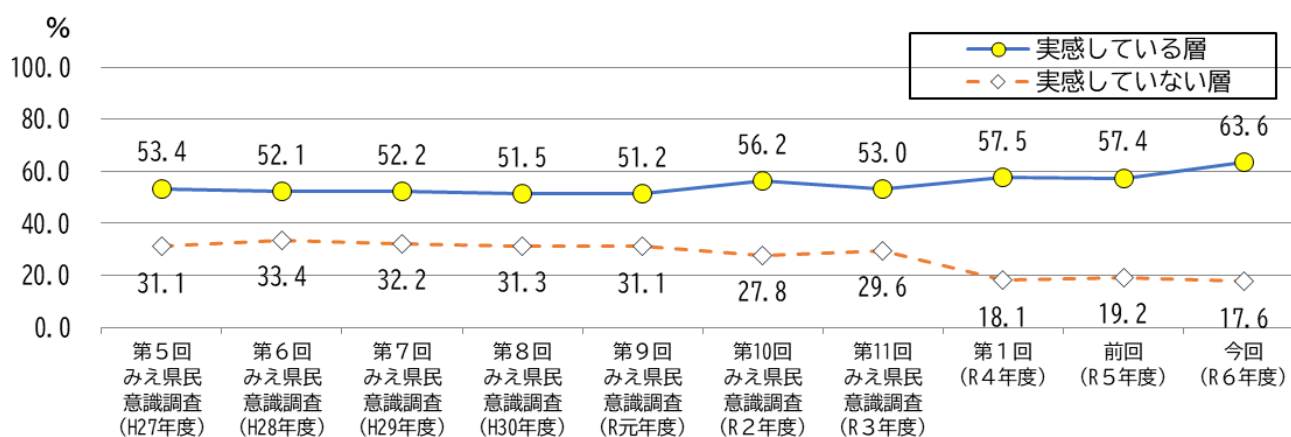
【年代別】

- すべての年代で「実感している層」の割合が高くなっています。また、「実感している層」の割合が最も高いのは、40歳代(67.5%)で、最も低いのは18歳から20歳代(56.0%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「実感している層」の割合が高くなっています。また、「実感している層」の割合が最も高いのは東紀州地域(67.4%)で、最も低いのは北勢地域(63.2%)となっています。

図表 2-4-13 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



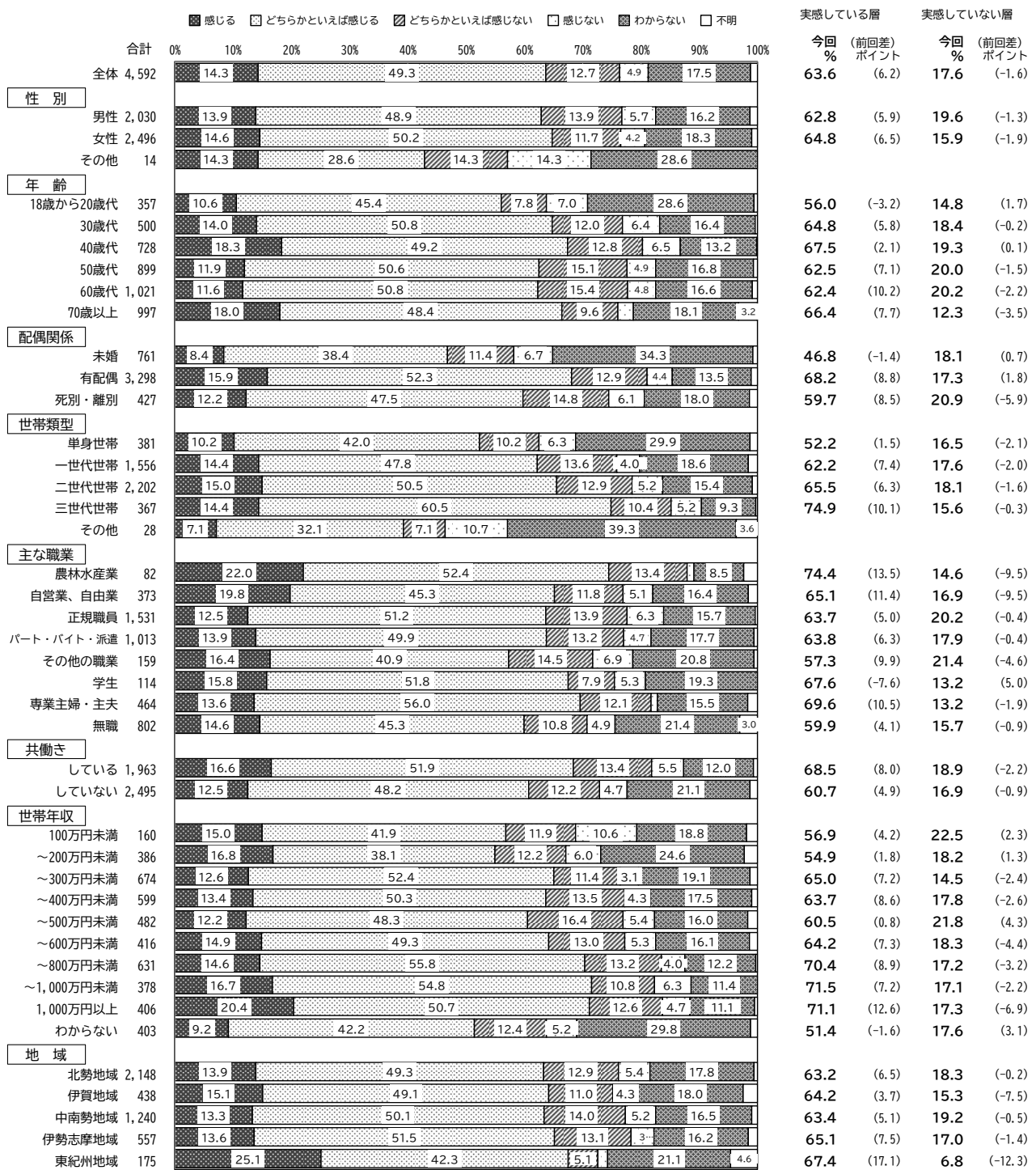
※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

- 「実感している層」の割合は、前回調査より 6.2 ポイント高く、「実感していない層」の割合は 1.6 ポイント低くなっています。

図表 2-4-14 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか（属性別）



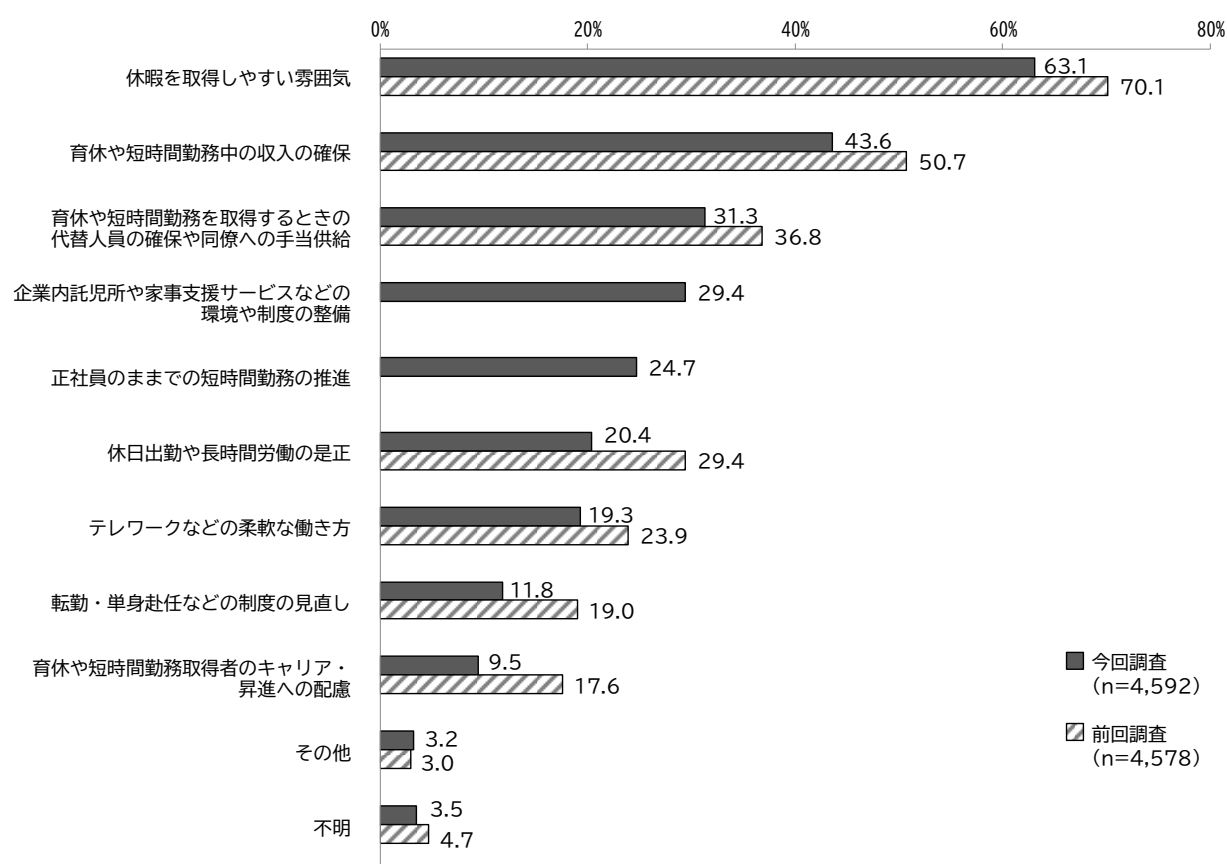
※本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問8 あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

- 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策について質問したところ、「休暇を取得しやすい雰囲気」の割合が63.1%で最も高く、次いで「育休や短時間勤務中の収入の確保」(43.6%)、「育休や短時間勤務を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当供給」(31.3%)となっています。

図表 2-4-15 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

図表 2-4-16 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策（属性別）

		合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）											
		合計	休暇を取得しやすい雰囲気	育児や短時間勤務中の収入の確保	育児や短時間勤務を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当供給	テレワークなどの柔軟な働き方	正社員のままでの短時間勤務の推進	転勤・単身赴任などの制度の見直し	育児や短時間勤務取得者のキャリア・昇進への配慮	休日出勤や長時間労働の是正	企業内託児所や家事支援サービスなどの環境や制度の整備	その他	不明
全体		4,592	63.1	43.6	31.3	19.3	24.7	11.8	9.5	20.4	29.4	3.2	3.5
性別	男性	2,030	59.8	43.3	29.7	19.0	23.2	16.1	9.0	25.0	24.6	3.9	3.0
	女性	2,496	65.8	43.8	32.6	19.7	26.0	8.5	9.9	16.7	33.5	2.6	3.8
	その他	14	64.3	35.7	57.1	14.3	21.4	-	35.7	14.3	21.4	14.3	-
年齢	18歳から20歳代	357	68.9	58.3	28.0	23.0	21.6	6.7	15.7	21.3	20.2	4.2	1.4
	30歳代	500	62.4	52.4	42.4	24.6	26.4	9.8	9.8	18.8	24.2	2.8	0.8
	40歳代	728	66.3	46.0	34.3	20.9	26.0	9.3	9.2	20.7	27.9	4.9	1.2
	50歳代	899	62.0	43.4	36.4	20.4	27.0	10.2	9.7	18.0	30.9	2.7	1.3
	60歳代	1,021	63.9	42.2	32.0	18.3	25.5	13.9	9.5	21.1	35.7	2.3	2.4
	70歳以上	997	59.0	34.1	20.2	13.9	21.5	15.3	7.7	22.3	30.7	3.4	10.1
配偶関係	未婚	761	64.1	46.6	35.7	20.5	21.6	10.1	10.6	22.3	23.0	3.3	2.9
	有配偶	3,298	63.6	43.9	31.0	19.5	25.3	12.4	9.1	20.6	31.0	3.2	2.9
	死別・離別	427	58.8	36.5	26.0	16.9	27.2	10.3	10.8	18.5	28.8	3.0	7.5
世帯類型	単身世帯	381	61.9	39.6	31.2	17.1	21.3	11.5	10.0	22.8	27.6	2.1	5.8
	一世代世帯	1,556	61.8	42.3	27.9	19.5	24.3	13.1	9.4	20.4	30.3	3.5	4.2
	二世世代世帯	2,202	63.7	44.1	34.7	19.7	25.8	11.2	9.6	19.9	30.3	3.0	2.6
	三世世代世帯	367	65.1	48.8	30.2	19.6	24.5	10.9	9.8	21.0	23.4	4.6	2.7
	その他	28	71.4	57.1	25.0	7.1	21.4	7.1	10.7	21.4	25.0	7.1	3.6
主な職業	農林水産業	82	61.0	39.0	26.8	8.5	22.0	13.4	7.3	23.2	35.4	2.4	4.9
	自営業、自由業	373	56.3	37.8	23.1	20.6	23.3	10.2	7.8	20.6	30.3	8.6	4.6
	正規職員	1,531	62.2	49.2	36.9	22.9	28.7	11.0	10.5	20.6	24.6	2.3	0.7
	パート・バイト・派遣	1,013	69.4	45.9	35.9	17.3	24.3	9.9	8.3	17.3	34.9	2.2	2.0
	その他の職業	159	59.1	49.7	28.3	21.4	25.2	12.6	9.4	17.6	27.7	6.9	4.4
	学生	114	75.4	56.1	23.7	23.7	15.8	9.6	20.2	21.1	15.8	4.4	0.9
	専業主婦・主夫	464	64.7	40.1	30.2	19.4	22.6	12.1	9.7	20.0	35.7	1.9	4.3
	無職	802	58.4	32.2	22.1	14.8	21.3	16.6	9.1	24.2	30.0	3.6	9.5
共働き	している	1,963	64.4	47.6	33.9	19.3	26.8	10.9	9.7	18.8	30.6	3.3	1.4
	していない	2,495	62.5	40.9	29.9	19.6	23.1	12.7	9.7	21.6	29.0	3.1	4.3
世帯年収	100万円未満	160	55.6	42.5	21.3	13.1	18.8	11.9	6.3	25.6	24.4	3.8	12.5
	～200万円未満	386	60.9	37.8	27.5	15.3	22.5	12.7	6.5	18.7	29.5	3.4	8.0
	～300万円未満	674	64.7	40.5	26.7	16.3	23.3	11.6	9.3	22.6	30.4	4.2	4.9
	～400万円未満	599	64.8	41.2	29.4	17.5	24.5	13.0	10.2	21.9	29.2	4.2	3.5
	～500万円未満	482	65.8	44.2	33.4	18.3	26.3	10.4	9.5	21.0	32.8	2.9	1.5
	～600万円未満	416	63.0	49.5	29.1	17.8	30.5	10.3	7.9	23.6	30.3	2.9	2.2
	～800万円未満	631	67.8	49.4	38.0	17.9	25.0	11.7	9.8	16.8	28.8	2.2	1.1
	～1,000万円未満	378	59.3	48.1	37.0	26.2	25.4	13.5	10.6	19.3	30.2	1.9	-
	1,000万円以上	406	60.1	39.7	38.4	29.8	23.2	12.8	12.1	18.7	28.1	3.0	0.5
	わからない	403	62.3	43.9	27.0	20.3	25.3	10.2	10.4	19.9	25.8	3.7	5.5
地域	北勢地域	2,148	63.1	43.1	30.7	20.9	24.4	11.9	9.6	19.6	29.6	3.4	2.7
	伊賀地域	438	61.9	42.9	29.5	18.0	27.4	13.7	11.9	17.6	27.6	1.8	5.7
	中南勢地域	1,240	64.9	46.9	34.0	19.4	23.6	11.9	8.5	22.2	31.0	3.1	2.5
	伊勢志摩地域	557	62.1	40.8	31.8	14.5	27.6	9.0	10.4	22.4	27.5	3.2	5.4
	東紀州地域	175	58.9	37.7	30.9	15.4	20.0	12.0	6.9	21.1	24.0	6.9	8.6

※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

Ⅲ その他

Ⅲ その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 4,592 人のうち、1,680 人の方から自由意見が寄せられました。

➤ みえ県民 1 万人アンケートに関する御意見

今後もできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などに努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

① 目的や活用に関すること

- ・ アンケート結果をしっかりと有効活用してほしい。
- ・ アンケートの質問内容が長層的で県が何をどうしていこうとしていきたいのか、わかりにくい。
- ・ このようなアンケートをされているのを、今回初めて知った。アンケートの結果をどのような形で知ることができるのか、アンケートを受け取った者として結果が知りたい。
- ・ このアンケート結果がどう反映されるのかがわからない。
- ・ このアンケート実施の意図などはよく伝わったが、150 万人以上いるうちの 1 万人という対象者数は少ないと思う。
- ・ アンケートを通して、県民の意見を反映しようとする試みは素晴らしい。今後も、取り組みを行い、県の繁栄に力を入れてほしい。

② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ もっと単刀直入に聞いたほうが参考になりうる意見が集まるのではないかな。
- ・ アンケート調査票を 3 つ折にする必要があるのでアンケート用紙に印をつけてほしい。（折目の位置）
- ・ アンケートの内容が分かりにくい。
- ・ 選択肢にネガティブ・ポジティブ両方とれるものがあり、県が何を進めていきたいのかわかりづらい。
- ・ 三重県の場合は、特に地域差が大きいように思うため、地域別に集計することで、地域間格差が明確になるのではないかな。

③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ 世代ごとに絞ったアンケートの方がより鮮明になると思う。
- ・ アンケートの結果が知りたい。
- ・ アンケート回答者に対して何かしらのクーポン券などがあれば良いと思った。

※自由意見の内容は誤字脱字を修正しているため、原文とは一部異なります。

（参考）標本誤差と調査の精度

母集団の一部を標本として抽出し、その回答からもとの母集団全体について推定する標本調査では、“真の値”（全数調査を行えば把握できるであろう値）との差が発生することが避けられません。この“標本誤差”は、次のような手順で見積もることができます。

まず、今回のように大きな母集団から標本を無作為抽出する調査では、ある選択肢が選ばれた比率（回答比率） p の“標準誤差”（回答比率の標準偏差）が次のように求められます。

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{p(100-p)}{n}} \quad n : \text{回答者数（人）} \quad p : \text{回答比率（\%）}$$

標本誤差はこの標準誤差と、結果に求める“信頼度”から見積もります。例えば、信頼度を、最も広く使われる95%（間違える確率が5%）とすると、標本誤差は次の式のように求めることになります。

$$\text{標本誤差} = 2 \times \text{標準誤差}$$

ここで、右辺第1項の2（厳密には1.96）は、想定する信頼度によって統計学的に決まる値です。回答比率プラスマイナス標本誤差の範囲が信頼区間と呼ばれるもので、信頼度95%の場合、真の値（母集団における比率）が95%の確率で、次の範囲におさまると考えることができます。これが、標本調査の精度です。

$$\text{回答比率} - \text{標本誤差} \sim \text{回答比率} + \text{標本誤差}$$

今回の調査では、10,000人の標本から4,592人の有効回答が得られました。回答者全員を対象とする集計結果の標本誤差を、上の式から具体的に計算すると、例えば回答比率が50%の場合は、1.5%、同20%では1.2%となります。このことから、三重県民（18歳以上）全体の意識を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。

次表は、いくつかの n （回答者数）と p （回答比率）の組み合わせについて、信頼度95%の標本誤差を計算した早見表です。

標本誤差の早見表

回答比率(p) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

なお、標本誤差の計算は、特定の属性区分（例えば性別が女性など）の回答者 n 人とその回答比率 p という組み合わせについても同様です。上の表は、そのような標本誤差の早見表としてもご覧ください。

第3回 みえ県民1万人アンケート 調査票

所要時間は15分程度です。

ご回答は専用ウェブサイトか、この調査票(郵送)のいずれかからお願いします。
それぞれの回答方法は、下記を参照ください。

回答締切日:令和7年1月10日(金)

専用ウェブサイトでご回答いただく場合

※パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも可能です。

※インターネットでご回答いただいた方は調査票の返送は不要です。

[1] URL を直接ご入力、または二次元コードからアクセス

<https://tsrsurvey.jp/mie>



[2] ログイン画面が表示されましたら、以下に記載のIDを入力してください。

あなたのID : ※ 0 は数字のゼロです

パスワード :

IDは調査票からの回答とウェブサイトからの回答の重複を防ぐものであり、
回答者様個人を特定するものではありません。

[3] アンケート画面が表示されますので、ご回答ください。

調査票(郵送)でご回答いただく場合

[1] 調査票に記入



- ◆回答は順番に、番号に○をつけるか、回答欄に数字等を記入してください。
- ◆ご記入は、ボールペン又は鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- ◆アンケートは、次ページの問1からご回答ください。

[2] 同封の返信用封筒へ



- ◆記入を終えられましたら、
同封の返信用封筒(切手不要)に
調査票を入れ、郵便ポストに投かんしてください。

[3] ポストへ投かん



はじめに、生活の満足度についておききします

問 1 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を 10 点、「全く満足していない」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。（数字を1つだけ○）

非常に満足している ←————→ 全く満足していない										
10 点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0 点

問 2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	5 満足	4 どちらか に満足	3 ふつう	2 どちらか に不満	1 不満	0 あては まらない・ わからない
① 家計と資産	5	4	3	2	1	0
② あなた自身の給料や報酬・賃金	5	4	3	2	1	0
③ 仕事のやりがいや生活とのバランス	5	4	3	2	1	0
④ 健康状態	5	4	3	2	1	0
⑤ 医療サービス	5	4	3	2	1	0
⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ	5	4	3	2	1	0
⑦ 子育てのしやすさ	5	4	3	2	1	0
⑧ 子どもの教育	5	4	3	2	1	0
⑨ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	5	4	3	2	1	0
⑩ 身のまわりの自然環境	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然災害への備え	5	4	3	2	1	0
⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全	5	4	3	2	1	0
⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい	5	4	3	2	1	0
⑭ 移動手段、交通の便利さ	5	4	3	2	1	0

【結婚について】

問4 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--|----------|
| 1 未婚（結婚したことはない） | ⇒ 問4-2 へ |
| 2 既婚・配偶者あり（現在、夫または妻がいる） | ⇒ 問5 へ |
| 3 既婚・死別または離別
（結婚したことはあるが、死別または離別した） | ⇒ 問5 へ |

問4-2 問4で「1」を選んだ方（これまで結婚したことがない方）におききします。

今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------|----------|
| 1 いずれ結婚するつもり | ⇒ 問4-3 へ |
| 2 結婚するつもりはない | ⇒ 問5 へ |

問4-3 問4-2で「1」を選んだ方におききします。

現在、結婚していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 結婚するのはまだ早い | |
| 2 出会いの機会がない | ⇒ 問4-4 へ |
| 3 理想の相手に出会えていない | ⇒ 問4-4 へ |
| 4 収入が少ない | |
| 5 自分に自信が持てない | |
| 6 自由な生活を失いたくない | ※「2」と「3」を
選ばなかった方は問5へ |
| 7 仕事が不安定 | |
| 8 金銭的に不自由になる | |
| 9 キャリアアップの障害になる | |
| 10 結婚に希望やいいイメージを感じない | |
| 11 その他（ | ） |

問4-4 問4-3で「2」「3」を選んだ方におききします。ご自身がお相手を探すためにしていること、もしくはしようとしていることはありますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 知人等に紹介を依頼 |
| 2 | ネット系婚活サービス（マッチングアプリ、恋活・婚活サイト）の利用 |
| 3 | 結婚相談所の利用 |
| 4 | SNS やインターネットで興味のあるコミュニティに参加 |
| 5 | 婚活パーティ・イベントに参加 |
| 6 | お見合い |
| 7 | 趣味や習い事でのお相手探し |
| 8 | 合コンに参加 |
| 9 | 特に何もしていない、する予定はない |
| 10 | その他（ ） |

【子ども・子育て支援について】

問5 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は()に人数も記入してください)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | () 人くらいほしい (ほしかった) |
| 2 | ほしくない (ほしくなかった) |
| 3 | わからない |

問6 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は()に人数も記入してください)

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 子どもが () 人いる |
| 2 | 子どもはいない |

問7 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。
(○は1つだけ)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない
- 5 わからない

問8 あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
(○は3つまで)

- 1 休暇を取得しやすい雰囲気
- 2 育休や短時間勤務中の収入の確保
- 3 育休や短時間勤務を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当供給
- 4 テレワークなどの柔軟な働き方
- 5 正社員のままでの短時間勤務の推進
- 6 転勤・単身赴任などの制度の見直し
- 7 育休や短時間勤務取得者のキャリア・昇進への配慮
- 8 休日出勤や長時間労働の是正
- 9 企業内託児所や家事支援サービスなどの環境や制度の整備
- 10 その他 ()

【ジェンダーギャップの解消について】

問9 働く場などにおけるジェンダーギャップ（男女の違いにより生じる格差）の解消に向けて、あなたは、今後どのようなことを進めていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

- 1 企業における男女均等な採用や人事配置への取組
- 2 結婚や出産後も女性が働きやすい雇用形態（短時間正規やテレワークなど）の導入
- 3 男性の家事・育児時間の拡大
- 4 女性のキャリア形成（仕事に必要なスキルを身に付ける）支援
- 5 共働き・共育てへの公的支援（保育所や放課後児童クラブへの支援等）
- 6 家事の負担軽減に向けた支援（家事代行サービス等）
- 7 その他（ ）

※都道府県版ジェンダーギャップ指数（経済分野）：三重県４６位（ワースト２位）
（「地域からジェンダー平等研究会」公表）

【人材確保について】

問 10 三重県で働く方を増やすために、あなたは、「三重県で働く魅力」をどのようにアピールしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

- 1 自然豊かな落ち着いた環境で生活できる
- 2 名古屋・大阪など都市圏へのアクセスが良い
- 3 農林水産業、工業、観光業など多様な産業があり選択肢が多い
- 4 ワークライフバランスが図りやすい
- 5 人が温かい
- 6 働きながら子育てがしやすい
- 7 生活費を抑えられる
- 8 通勤の負担が少ない
- 9 特にない
- 10 その他（ ）

【共生社会について】

問 1 1 あなたは、日本人と外国人が互いの文化的差異を認め合い、地域で共に生きていく社会についてどう思いますか。（○は1つだけ）

- 1 望ましいと思う
- 2 どちらかといえば望ましいと思う
- 3 どちらかといえば望ましくないと思う
- 4 望ましくないと思う
- 5 わからない

【観光について】

問 1 2 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

- 1 イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上
- 2 経済活性化や働く場の増加
- 3 施設や道路などのインフラ整備
- 4 文化資源や自然資源の保存・継承
- 5 騒音やゴミの増加による生活環境の悪化
- 6 道路の渋滞、バスやタクシーの混雑
- 7 自然や景観が損なわれる
- 8 観光地化による物価上昇
- 9 とくに効果や影響はない
- 10 その他（ ）

【デジタルの活用について】

問 1 3 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|---|-----------------------------------|--------------|
| 1 | デジタルサービスを利用したことがある | ⇒問 1 4 へ |
| 2 | 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない | ⇒問 1 3 - 2 へ |
| 3 | そもそも行政手続を利用する機会がなかった | ⇒問 1 4 へ |
| 4 | わからない | ⇒問 1 4 へ |

問 1 3 - 2 問 1 3 で「2」を選んだ方におききします。

その主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | スマートフォンやパソコンを持っていない |
| 2 | 手続がデジタル化していることを知らなかった |
| 3 | 必要な手続がデジタル化していない |
| 4 | 利用方法がわからない、操作が難しい |
| 5 | 対面による手続がよいと思う |
| 6 | その他 () |

【公共交通について】

問 1 4 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	1 実際に利用できる環境にあり、 利用している環境がある	2 利用できる環境にあるが、 ほぼ利用していない	3 利用できる環境にない
①鉄道	1	2	3
②バス	1	2	3

【公共ライドシェアについて】

問 1 5 あなたは、お住まいの市町が、タクシー運転手でない一般のドライバーが、有料で目的地（地域のスーパーや病院等）まで送迎してくれるサービスを実施した場合、利用したいと思いますか。

(○は1つだけ)

1	利用したいと思います
2	どちらかといえば利用したいと思います
3	どちらかといえば利用したくない
4	利用したくない
5	わからない

さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、お一人おひとりについて、以下の情報が欠かせません。
無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので、個人の情報が特定されることは
一切ありません。ぜひご協力ください。

問 1 6 あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

問 1 7 あなたは現在、おいくつ（満年齢）ですか。

満 歳

問 1 8 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。（○は1つだけ）

- 1 単身世帯（ひとり暮らしなど）
- 2 一世代世帯（夫婦のみなど）
- 3 二世代世帯（親と子など）
- 4 三世代世帯（親と子と孫など）
- 5 その他（ ）

問 1 9 あなたの主な職業は何ですか。（○は1つだけ）

- 1 農林水産業（家族従事者も含みます）
- 2 自営業、自由業（家族従事者も含みます）
- 3 企業、役所、団体などの正規の社員・職員
- 4 パート、アルバイト、派遣社員など
- 5 その他、収入のある仕事
- 6 学生（アルバイトなどをしている方も含みます）
- 7 専業主婦、専業主夫
- 8 無職

問 2 0 あなたは配偶者の方と共働きをしていますか。（○は1つだけ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 2 1 あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。
（○は1つだけ）

- | | |
|----|-------------------|
| 1 | 100 万円未満 |
| 2 | 100 万円～200 万円未満 |
| 3 | 200 万円～300 万円未満 |
| 4 | 300 万円～400 万円未満 |
| 5 | 400 万円～500 万円未満 |
| 6 | 500 万円～600 万円未満 |
| 7 | 600 万円～800 万円未満 |
| 8 | 800 万円～1,000 万円未満 |
| 9 | 1,000 万円以上 |
| 10 | わからない |

問 2 2 あなたのお住まいの市町はどちらですか。

「1」～「29」のお住まいの市町に○をつけてください。（○は1つだけ）

北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1.桑名市 2.いなべ市 3.四日市市 4.鈴鹿市 5.亀山市 6.木曽岬町 7.東員町 8.菰野町 9.朝日町 10.川越町	11.伊賀市 12.名張市	13.津市 14.松阪市 15.多気町 16.明和町 17.大台町	18.伊勢市 19.鳥羽市 20.志摩市 21.玉城町 22.度会町 23.大紀町 24.南伊勢町	25.尾鷲市 26.熊野市 27.紀北町 28.御浜町 29.紀宝町

今後、三重県に特に力を入れてほしい取組*や、本アンケート調査に対する感想、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

*県の取組については、同封の依頼状裏面の『「みえ元気プラン」の主な取組』も参考にしてください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、令和7年1月10日（金）までに郵便ポストに投かんしてください。

第3回みえ県民1万人アンケート集計結果報告書

三 重 県 政 策 企 画 部 企 画 課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話 059-224-2025

FAX 059-224-2069

E-mail : kikakuk@pref.mie.lg.jp